

平成28年度

岩手県農業研究センター 年報

平成29年10月

目 次

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 6
(3) 企画運営会議、全体会議	I - 6
(4) 委員会等の運営	I - 9
ア ほ場管理委員会	
イ 研究報告等企画編集委員会	
ウ 参観デー等企画運営委員会	
エ 特許審査委員会	
オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
カ 環境美化委員会	
キ 職員衛生委員会	
ク 原種等生産管理委員会	
ケ その他	
(5) その他会議	I - 12
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
カ 東北農業試験研究推進会議	
キ 東北地域研究・普及連絡会議	
ク 県内で開催された関係学会	
ケ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議	

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進	II - 2

3 研究室・課の動き	II- 4
(1) プロジェクト推進室	II- 4
(2) 企画管理部	II- 4
(3) 技術部	II- 6
(4) 環境部	II- 8
(5) 病害虫防除部	II- 9
(6) 畜産研究所	II- 10
(7) 県北農業研究所	II- 12
4 平成27年度試験研究課題	II- 14
(1) 細目課題分類	II- 14
(2) 試験研究課題一覧	II- 15
(3) 平成28年度試験研究を要望された課題とその措置一覧	II- 22
5 共同研究等の推進	II- 24
(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業	II- 24
(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II- 24
(3) 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業	II- 25
(4) 研究成果最適展開支援事業	II- 26
(5) その他独法等からの委託	II- 27
(6) 民間委託試験	II- 27
(7) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	II- 28
(8) 他の公設試との共同研究	II- 28
(9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会	II- 28
(10) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)	II- 28
(11) その他共同研究	II- 29
(12) 産学官連携	II- 29
6 現地試験の実施	II- 30

III 試験研究の成果

1 試験研究成果	III- 1
(1) 平成28年度成果数	III- 1
(2) 平成28年度成果名一覧	III- 2
2 追跡評価	III- 5
(1) 評価視点	III- 5
(2) 追跡評価の調査方法	III- 5
(3) 追跡評価の結果	III- 5
3 東北農業試験研究成果	III- 8
(1) 研究成果数	III- 8
(2) 研究成果名	III- 8

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物	IV- 1
2 研究レポート	IV- 2
3 岩手県農業研究センター研究報告	IV- 4
4 学会等研究報告	IV- 6
(1) 学術論文	IV- 6
(2) 学会発表	IV- 8

5 雑誌等掲載	IV- 13
(1) 専門雑誌等	IV- 13
(2) 月刊農業普及	IV- 13
(3) 岩手の畜産	IV- 13
(4) 岩手りんごタイムス	IV- 14
(5) その他の雑誌等	IV- 14
6 新聞等掲載	IV- 16
7 テレビ・ラジオ放送	IV- 20
(1) テレビ	IV- 20
(2) ラジオ	IV- 20
8 指導資料等掲載	IV- 21
9 図書資料収集・提供	IV- 23
10 ホームページ	IV- 23

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応	V- 1
2 現地指導・研修会等への講師派遣	V- 3
3 視察者、見学者の受け入れ状況	V- 14
4 春季一般公開及び参観デー	V- 14
5 技術セミナー等の開催	V- 14
6 一日子供農業研究員	V- 14
7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者	V- 15
8 研修生の受け入れ	V- 16
(1) 海外研修	V- 16
(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)	V- 16
(3) 短期研修生	V- 16
(4) 体験学習の受け入れ	V- 16
ア 小中学校の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
ウ インターンシップ等に対応したもの	
9 協議会、委員会等委員	V- 18

VI 職員研修

1 大学院派遣	VI- 1
2 海外派遣・研修	VI- 1
3 国内研修への派遣	VI- 1
(1) 依頼研究員	VI- 1
(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)	VI- 1
(3) 農林水産関係研究リーダー研修	VI- 1
(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	VI- 1
(5) 農林水産関係研究者研修	VI- 1
(6) その他	VI- 2
4 所内研修等	VI- 10
(1) 岩手県総務部人事課主催研修	VI- 10
(2) 岩手県農林水産部主催研修	VI- 12
(3) 所内研修	VI- 12
5 所内セミナー等	VI- 13

VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種	VII- 1
(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産	VII- 1
(2) その他原々種種子の生産	VII- 1
2 作物の原種の採種	VII- 2
(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産	VII- 2
(2) その他原種種子の生産	VII- 2
3 種苗等の配布	VII- 3
(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布	VII- 3
(2) その他種苗の配布	VII- 4
4 県有種雄牛の精液の供給	VII- 5
(1) 黒毛和種	VII- 5
(2) 日本短角種	VII- 5
5 種豚、種鶏等の配布	VII- 6
(1) 種豚の配布	VII- 6
(2) 銘柄鶏の配布	VII- 6
6 寄託放牧	VII- 6
(1) 牛	VII- 6
(2) 馬	VII- 6

VIII 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算	VIII- 1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII- 2
(1) 建物・用地の面積	VIII- 2
(2) 飼養家畜頭数	VIII- 2
3 種苗登録、特許等	VIII- 3
(1) 種苗登録	VIII- 3
(2) 特許、実用新案	VIII- 5
(3) 一般に公開しているプログラム等	VIII- 6
4 表彰	VIII- 7
5 職員名簿	VIII- 10

IX 東日本大震災津波への対応

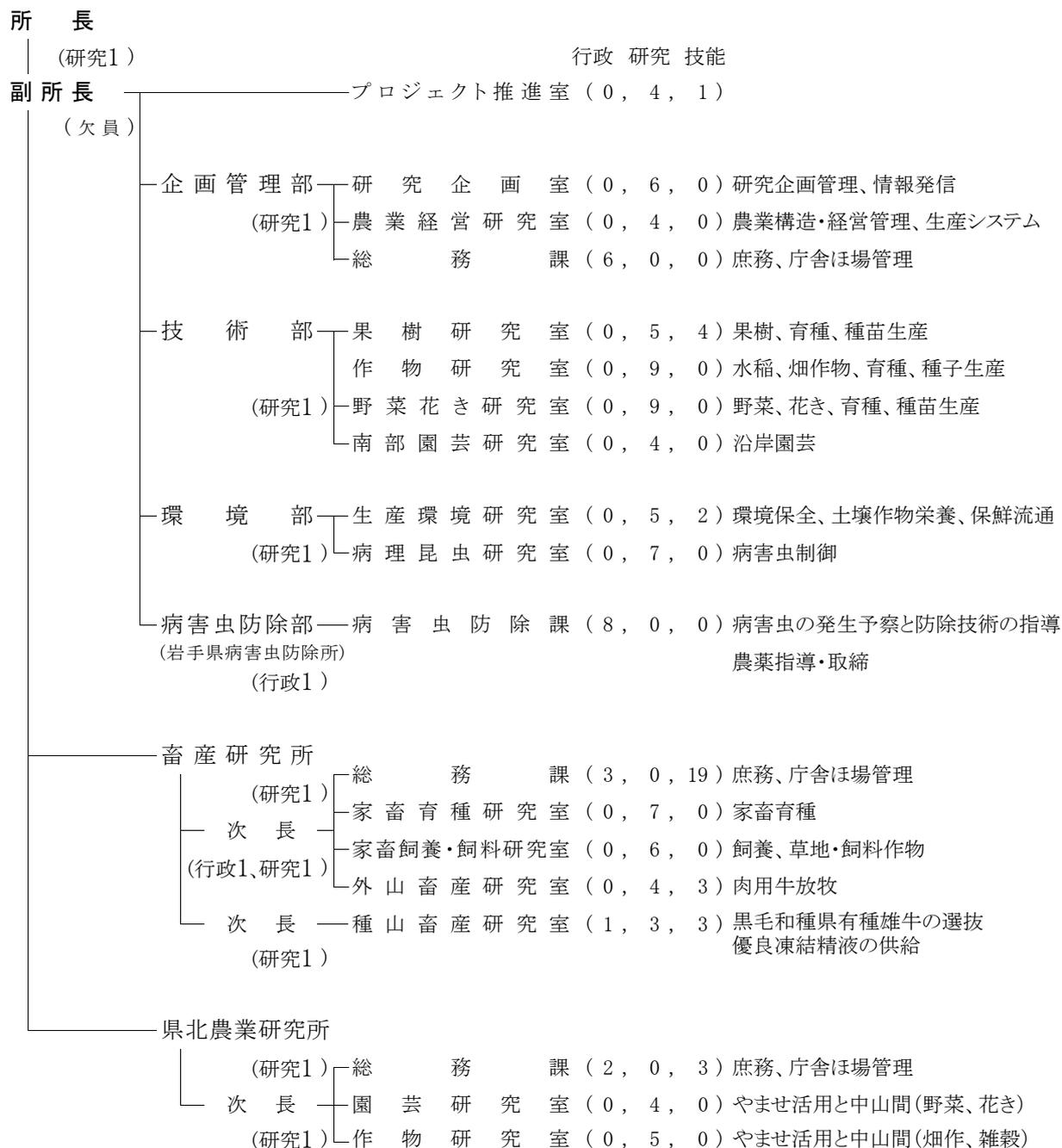
1 農業研究センター復興加速プロジェクトチームの活動	IX- 1
(1) チーム会議の開催	IX- 1
(2) 研修会、セミナーの開催	IX- 1
(3) 復興支援業務の実施	IX- 1
2 農畜産物の放射性物質測定に係る活動	IX- 2

X 沿革	X- 1
------	------

I 農業研究センターの概要

I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数 ※実数



〈職員数〉 ※定数

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山区)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	57	4	15	4	4	11	95
技能	7	0	19	3	3	3	35
合計	79	4	38	7	8	16	152

※1 欠員3名(副所長1、プロジェクト推進室1、生産環境研究室1)

※2 任期付き研究員1名を総務部管理定数として配置(定数に含む。南部園芸研究室1)

2 会議、委員会、部会等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 新規試験研究課題の評価と選定

(ア) 第1回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		H28.8.2(火)	H28.8.3(水)	H28.8.1(月)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	農業大学校	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○

b 協議事項

- (a) 平成29年度試験研究を要望された課題とその措置案について
- (b) 平成29年度新規試験研究課題案について
- (c) 試験研究課題計画の変更について

(イ) 第1回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		園芸部会	畜産部会
開催日		H28.9.12(月)	H28.9.13(火)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○
	東北農政局岩手支局	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○
	岩手県植物防疫協会	○	○
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○
	岩手県農業公社	○	○
	岩手県農業機械協会	○	○
	岩手県畜産協会	-	○

注) 農産部会は議案がなく開催しなかった。

b 協議事項等

- (a) 平成29年度新規試験研究課題案について

(ア) 第1回評価調整会議

a 開催日 平成28年9月26日(月) 13:00～

b 協議事項等

- (a) 平成29年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (b) 平成29年度新規試験研究課題(案)について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

イ 試験研究成果の採択
(ア)第2回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸部会	畜産部会
開催日		H28.12.5(月)	H28.12.7(水)	H28.12.9(金)
参集範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	-
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○
	各家畜保健衛生所	-	-	○
	農業大学校	-	-	○
各農業改良普及センター		○	○	○

b 協議事項

- (a)平成28年度試験研究成果案について
(b)その他

(イ)第2回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会 (水稲)	農産部会 (畑作)	園芸部会 (果樹)	園芸部会 (野菜花き)	畜産部会
開催日		H29.1.13(金)	H29.1.12(木)	H29.1.16(月)	H29.1.16(月)	H29.1.11(水)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○	○	○
	東北農政局岩手支局	○	○	○	○	○
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○	○	○
	岩手県農業共済組合	○	○	○	○	○
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○	○	○
	岩手県植物防疫協会	○	○	○	○	○
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○	○	○
	岩手県農業公社	○	○	○	○	○
	岩手県農業機械協会	○	○	○	○	○
	岩手県畜産協会	-	-	-	-	○

b 協議事項

- (a)平成28年度試験研究成果案について
(b)その他

(ウ)第2回評価調整会議

a 開催日 平成29年1月30日(月) 13:00～

b 協議事項

- (a)平成28年度試験研究成果(案)について
(b)その他

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア) 第3回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産部会	園芸	県北	畜産
開催日		H29.2.28(火)	H29.3.1(水)	H29.3.6(月)	H29.3.3(金)
参集 範囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	○	—
	農林水産部農政関係各室課	○	○	○	○
	各広域振興局農政担当部及び農林振興センター	○	○	○	○
	各家畜保健衛生所	-	-	-	○
	農業大学校	-	-	-	○
	各農業改良普及センター	○	○	○	○

b 協議事項

(a) 平成29年度試験研究課題(新規、変更課題)の試験設計について

(b) 平成28年度終了課題の報告について

(イ) 第3回評価調整会議

a 開催日 平成29年3月17日(金) 15:00～

b 協議事項

(a) 試験研究評価について

(b) 平成29年度新規試験研究課題(案)について

(c) 平成28年度追跡調査の結果について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

エ 岩手県農業技術開発会議

(ア) 第1回

a 開催日 平成29年2月10日(金) 15:15～

b 報告・協議事項

(a) 農業研究センターにおける技術開発について

(b) 生工研センターにおける技術開発について

(c) 農業研究センターにおける試験研究推進計画の進捗状況について

(d) その他

c 参集範囲

(公財)岩手生物工学研究センター

農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校、中央農業改良普及センター

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、各研究所次長、プロジェクト推進室長

オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	出席	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部・准教授	-	
	大谷 隆二	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産基盤研究領域 研究領域長	-	
	五日市 亮一	岩手県農業農村指導士農事組合法人金田一営農組合 組合長	-	○
	菅原 久耕	有限会社ファーム菅原・代表	-	
	佐竹 雅之	全農岩手県本部米穀部・次長	-	○
農産 (畑作)	西田 瑞彦	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 水田作研究領域(大仙研究拠点) 水田環境グループ グループ長	-	
	熊谷 匡章	有限会社下館農産・代表取締役	-	○
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程・教授		○
	阿部 和幸	農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 リンゴ育種ユニット ユニット長		○
	上野 高典	岩手県果樹協会・理事		○
	富山 司	岩手県農業農村指導士		○
	高野 寛子	岩手県農業農村指導士		○
園芸 (野菜)	加藤 一幾	岩手大学農学部・准教授	○	
	永坂 厚	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 生産環境研究領域 病害虫グループ 主任研究員	○	○
	三浦 正美	岩手県農業農村指導士		
	橋本 正成	(株)銀河農園・代表取締役		
	川村 千伸	全農岩手県本部園芸部・次長	○	○
園芸 (花き)	稲本 勝彦	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構野菜花き研究部門 栽培生理ユニット長		○
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー・会長兼CEO	○	○
	阿部 潤	八幡平市花き研究開発センター・主任技師	○	○
	千葉 欣哉	岩手県農業農村指導士	○	○
畜産	山田 明央	農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 畜産飼料作研究領域 領域長	○	○
	吉田 勝栄	(一社)岩手県畜産協会 経営支援部 部長	○	○
	築城 幹典	岩手大学農学部農学生命課程・教授		○
	小原 克也	全農岩手県本部畜産酪農部・次長	○	
	分部 喜久男	(独)家畜改良センター岩手牧場・場長	○	○
	中村 鉄男	岩手県農業農村指導士		
	澤口 松男	岩手県農業農村指導士		○
			10 名	19 名

(2) 機関評価委員会

- ア 開催日・場所 平成28年11月18日(金) 岩手県農業研究センター 畜産研究所(滝沢市)
- イ 議題 (ア) 視察調査(畜産研究所飼養施設)
(イ) 平成27年度機関評価への対応状況説明、意見交換
(ウ) 委員講評
- ウ 機関評価委員
(ア) 外部評価(5人) 大黒 正道 氏(東北農業研究センター企画管理部長)
高畑 義人 氏(岩手大学農学部教授)※欠席
新田 義修 氏(岩手県立大学地域連携本部副本部長)
高橋 明 氏(県農業農村指導士協会会長)
照井 勝也 氏(全農県本部副本部長)
- (イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

(3) 企画運営会議、全体会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
28.4.5(火)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成28年度業務方針(案)について (2)平成29年度農業研究センター全体会議について 2 連絡・報告事項 (1)平成28年度当初予算(試験研究費)について (2)平成28年度競争的研究資金応募課題等について (3)連携プロジェクトチームについて (4)各部長・研究所長からの情報提供 等 (5)4～5月の行事予定
28.4.8(金)	大会議室	(全体会議) ○第1部 次長、室課長、室課員(実務担当者) (1)試験研究推進に係る留意事項 ・諸規定Q&A、外部資金研究(応募手続き、経理、不正防止、研究倫理)等 (2)経理事務等に係る留意事項 ・物品購入、旅費、契約事務、物品管理、事務ミスが多い事項 等 (3)その他の留意事項 ・情報セキュリティ、苦情対応、労働安全 等 ○第2部 全職員 (1)機関評価について (2)平成27年度機関評価結果及び対応方針 (3)平成28年度業務方針について ア 組織のプロフィール、基本方針、職員の資質向上、組織運営課題 イ 各部・研究所の取り組み基本方針及び重点事項について (ア) 企画管理部 (イ) 技術部 (ウ) 環境部 (エ) 病害虫防除部 (オ) 畜産研究所 (カ) 県北農業研究所 (キ) プロジェクト推進室 (4) その他

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
28.5.30(月)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成28年度機関評価の進め方について 2 連絡・報告事項 (1)平成28年度競争的研究資金応募課題採否状況等について (2)「第59回東北農業試験研究発表会」発表課題応募状況について (3)いわてサイエンスシンポジウムについて (4)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (5)各部長・研究所長からの情報提供 等 (6)6～7月の行事予定
28.7.25(月)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成28年度追跡評価の実施について (2)次期プロジェクト研究課題(特定課題)について (3)平成28年度職員表彰について (4)研究報告第16号の編集について 2 連絡・報告事項 (1)平成28年度機関評価の実施について (2)平成28年度第1回内部検討会議について (3)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (4)各部長・研究所長からの情報提供 等 (5)8～9月の行事予定
28.9.26(月)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(内部評価結果)について (2)機関評価(外部評価委員会)について (3)次期プロジェクト研究課題(特定課題)について 2 連絡・報告事項 (1)参観デーの実績について (2)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)10月の行事予定
28.12.5(月)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)研究活動の不正行為への対応要領について (2)特定課題(プロジェクト課題)の取組について 2 連絡・報告事項 (1)機関評価の実施状況について (2)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (3)各部長・研究所長からの情報提供 等 (4)11～1月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
29.1.30(月)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(総括評価)案について (2)研究活動の不正行為への対応要領について (3)特定課題(プロジェクト課題)の取組について 2 連絡・報告事項 (1)農業技術開発会議(2/10)への対応について (2)第3回内部検討会議(設計等)の開催について (3)年報及び研究報告の作成について (4)農食事業・経営体強化プロ等への応募に向けた状況について (5)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)計画・実績について (6)各部長・研究所長からの情報提供 等 (7)2～3月の行事予定
29.3.17(金)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成29年度業務方針(案)について (2)平成29年度農業研究センター全体会議の開催について 2 連絡・報告事項 (1)平成29年度競争的研究資金への応募状況等について (2)依頼研究員の派遣について (3)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)実績について (4)各部長・研究所長からの情報提供 等 (5)3～4月の行事予定

(4) 委員会等の運営

ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
28.4.12	本部ほ場管理委員会	○ほ場利用調整、作業機械の点検・整備について ○その他センター全体に関わるほ場の管理について
28.4.19	技術部ほ場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わるほ場の管理について
28.5.31	技術部ほ場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わるほ場の管理について
28.7.5	技術部ほ場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わるほ場の管理について
28.8.1	技術部ほ場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わるほ場の管理について
28.9.8	技術部ほ場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わるほ場の管理について
28.10.12	技術部ほ場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わるほ場の管理について

イ 研究報告等企画編集委員会

(ア) 委員会

開催月日	場所	内 容
28.7.26	特別会議室	研究報告第16号の編集について

(イ) 幹事会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

ウ 参観デー等企画運営委員会

(ア) 委員会

開催月日	場所	内 容
28.5.20	本部所長室	平成28年度参観デーの開催方針について
28.9.26	本部特別会議室	平成28年度参観デーの開催実績について

(イ) 幹事会等

(本部関係)

開催月日	場所	内 容
28.6.9	本部1階中会議室	(1) 平成28年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画について ア 平成27年度の開催状況・反省点について イ 平成28年度の参観デー開催計画について ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他

開催月日	場所	内 容
28.7.14	本部1階中会議室	(1) 平成28年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画について ア イベント実施計画について イ 開催打診を受けているイベント等について ウ 協賛会等について エ 広報について オ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
28.7.28	本部1階中会議室	(1) 平成28年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画について ア イベント実施計画について イ 協賛会について ウ 動員計画について エ チラシについて オ 今後のスケジュールについて (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
28.8.24	本部1階小会議室	(1) 平成28年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デー開催計画(マニュアル等)について (2) 生物工学研究センター公開デーについて (3) その他
28.9.29	本部1階中会議室	(1) 平成28年度岩手県農業研究センター本部及び中央農業改良普及センター 合同参観デーの実施結果と反省点について (2) 平成29年度の開催について (3) その他

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
28.8.1	セミナー室	岩手県全国農業機械実演展示会に併せて開催 (1) 展示内容について (2) 準備、当日の対応者について

(県北農業研究所関係)

開催月日	場所	内 容
28.6.8	中会議室	(1)平成27年度の反省事項について (2)平成28年度の開催内容案について (3)今後の進め方及びスケジュールについて
28.6.29	中会議室	(1)開催内容の確認と進捗状況について (2)今後の予定等について (3)広報、文書発送について
28.7.15	中会議室	(1)実施計画の確認(予定)について(全体説明会) (2)人員の配置と人数等について (3)今後の予定について
27.8.24	中会議室	(1)実施計画の確認(確定)について(全体説明会) (2)準備役割分担の最終確認について (3)今後の準備作業の最終確認について

エ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
28.7.15	(書面協議)	(1)水稲品種「岩手118号」の勤務発明審査について
28.9.29	(書面協議)	(1)りんどう品種「いわてEB-2号」及び「いわてMB-2号」の勤務発明審査について

オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
28.5.17	農業科学博物館	(1)農業科学博物館入館者の状況について (2)平成27年度事業報告について (3)平成28年度事業計画について (4)農業ふれあい公園のあり方の基本方向について

カ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
28.4.14	1階小会議室	(1)平成27年度環境美化事業報告について (2)平成28年度環境美化事業計画(案)について (3)その他

キ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
28.7.14	特別会議室	(1)平成27年度事業実績について (2)平成28年度事業計画について (3)その他
29.2.22	特別会議室	(1)平成28年度定期健康診断結果について (2)事業実施状況について (3)その他

ク 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
28.7.14~15	新潟県農業総合研究所作物研究センター(長岡市)JA越後中央、新潟市西浦(水稲委託原種現地)	平成28年度東北六県主要農作物原種・原々種生産に係わる情報交換会参加(1名) (1)各県生産状況・意見交換 (2)現地視察
28.8.1,5,8,22	E地区水田圃場及び紫波町、県北研	第1回外部審査 (1)水稲原種・原々種外部審査(出穂期)
28.9.5,8,9,12	E地区水田圃場及び紫波町、県北研	第2回外部審査 (1)水稲原種・原々種外部審査(糊熟期)
29.2.10	2階第2小会議室	第3回外部審査 (1)水稲および大豆原種・原々種外部審査(生産物)
29.3.17	特別会議室	(1)生産・出荷実績および生産計画・課題について (2)水稲原種・原原種生産マニュアルの改定について (3)主要農産物原種生産委託に係る業務取扱要領の改正について (4)原種等生産管理委員会設置要領の改正について (5)原種乾燥調製施設整備について

(5) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
28.6.23	東京都港区 (三会堂ビル 9階 石垣記念ホール)	全国農業関係試験研究場所長会総会 1 平成28年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 2 平成28年度研究功労者表彰式 (県北農業研究所 首席専門研究員兼作物研究室長 高橋好範 受賞)

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
28.6.30 ～7.1	山形県山形市 (山形県郷土館「文翔 館」他)	1 協議・検討事項(7/1) (1) 平成29年度概算予算要求について (2) 将来「核となる技術」の開発について 「革新的技術開発・緊急展開事業」への取組について 2 現地調査(6/30) (1) 山形県農業総合研究センター(山形市) (2) 農事組合法人 村木沢あじさい営農組合(山形市) (3) 山形県園芸試験場(寒河江市)

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
28.6.14	東京都文京区 (全国家電会館)	1 協議 (1)平成27年度事業報告及び収支決算について (2)平成28年度事業計画及び収支予算について (3)平成28年度会費の額及び徴収方法について 2 畜産研究功労者表彰

エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
28.9.15～16	山形県天童市ホテル王将	1 重点研究課題について 2 連携(共同)研究アンケート調査について 3 平成28年度場所長会における意見交換会の企画案について 4 国・独立行政法人に対する提案事項について 5 畜産研究功労者表彰候補者の推薦について 6 優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 7 その他(農総研機構畜草研イベント、次期開催地等)

オ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
28.9.5	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 作成に係る基本方針の周知等
28.11.8～9	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催): 防除機指針の原案及び要望事項の検討
28.12.15～16	北上市 (農業研究センター)	平成29年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催): チェック結果の妥当性の検討
29.2.1	盛岡市 (県庁)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 防除指針(案)の決定

カ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
【作物生産推進部会】		
28.9.1～2	福島県郡山市ほか (福島県農業総合センター)	○東北地域水稲品種・系統立毛検討会
29.1.30～31	盛岡市 (東北農業研究センター)	○稲栽培研究会 1 研究成果情報候補課題の検討 2 研究会「東北地域における密播苗や疎植等の省力低コスト移植栽培技術」 3 ICT活用の取り組みについて
29.1.30～31	盛岡市 (アイーナ)	○稲品種検討会 1 品種の作付動向と要望される品種 2 奨励品種決定基本調査関係の検討 3 成果情報(稲品種)の検討 4 育種関係情報交換 I 5 その他 6 育種関係情報交換 II
29.1.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○直播研究会 研究会「水稲直播栽培における病害虫問題と防除対策の最近の動向」 1 岩手県における鉄コーティング湛水直播水稲に係る病害虫研究について 2 鉄コーティング直播における直播同時殺虫殺菌剤施薬技術 3 直播向き病害耐性品種の開発動向 4 総合討論
29.1.31	盛岡市 (東北農業研究センター)	○稲課題検討会
29.1.31	盛岡市 (東北農業研究センター)	○作物生産推進部会 本会議 1 検討会・研究会報告 2 「最新農業技術・品種2018」候補の選定 3 技術的課題の検討 4 重点検討事項「作物生産分野におけるICT研究の展開方向」 5 次年度重点検討事項および 共同研究課題の提案
28.8.17～18	秋田県大仙市 (検討会:東北農研大仙拠点) (現地:大仙市現地2ヶ所) (東北農研大仙拠点試験地)	○畑作物栽培研究会 現地検討会(大豆栽培現地ほ場、帰化アサガオ類防除試験圃場) 研究会「水田転換畑圃場での大豆湿害発生とその回避技術」 東北農政局情勢報告、講演、生育状況及び試験概要報告、意見交換
28.9.6	紫波町 (現地ほ場) 盛岡市 (マリオス)	○そば研究会(東北ソバフォーラム) 1 現地検討会 2 話題提供および意見交換
28.8.30	盛岡市 (東北農業研究センター) 台風の影響で検討会は中止・資料配付のみ	○東北地域麦・なたね品種・系統検討会 1 各県の麦・なたね作概況 2 各県における品種の改廃ほか
29.1.30	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物栽培研究会 1 検討会「大豆狭畦栽培の現状と今後の普及」 2 話題提供 「茨城県稲敷市及び筑西市における大豆不耕起狭畦栽培の安定化の取り組み」 「狭畦密植栽培のこれまでとこれから」 3 栽培状況と研究実施状況 4 総合討議 5 成果情報候補課題の検討 6 畑作物の雑草防除に関する情報交換会

開催月日	場 所	内 容
29.1.30	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物品種検討会 1 研究成果情報(畑作物品種関係)の検討 2 夏畑作物の有望品種・系統の成績及び次年度配布計画の検討 (1)奨励品種改廃・採用予定及び有望品種・系統(各県) (2)大豆の有望品種・系統(育成地) (3)特産作物の有望品種・系統(育成地、各県)
29.1.31	盛岡市 (アイーナ)	○畑作物課題検討会
29.2.3	仙台市 (仙台合庁)	○東北ソバ研究会 1 基調報告「国内のそば流通事情と東北のそば産地への期待」 2 情勢報告 3 平成29年度「東北ソバ研究会」事業計画について 4 意見交換
【農業生産基盤推進部会】		
28.7.28	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業経営研究会(夏期) 水田作経営の大規模化に伴う作業管理・労務管理－担い手減少下の耕作放棄と水田地帯への展望－
28.8.25～26	青森県十和田市 (北里大学獣医学部) (現地:十和田市、八戸市)	○作業技術研究会 1 シンポジウム「農業の国際化に向けた野菜の先進的生産技術」 2 現地見学会(ササキコーポレーション、エム・ビー・エム・オペレーション株式会社 検討会(各県の現状と課題、外部資金獲得課題提案等、冬期研究会検討事項ほか)
29.1.30～31	盛岡市 (東北農業研究センター)	○作業技術研究会 重点検討事項「東北地域におけるICT・ロボット技術等の活用に向けた現状と課題」 1 ICTやロボット等活用による農業機械を中心としたスマート農業 2 ドローン利用の現状と今後の展望 ○作業技術研究会検討会 ・平成28年度研究成果情報の検討
29.1.30～31	盛岡市 (東北農業研究センター)	○農業経営研究会 1 平成28年度研究成果情報の紹介 2 平成28年度重点検討事項「集落営農の現状と展開方向」 3 「最新農業技術・品種2018」候補の選定 4 現場段階での重要な技術的課題 5 各県の主要研究課題の検討 6 夏期研究会の次年度開催計画
29.1.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○流通加工研究会 1 情勢報告 2 重点検討事項の検討 3 試験研究「研究成果情報」の検討ほか
【生産環境推進部会】		
28.4.20	岩手県盛岡市 (東北農業研究センター)	○病害虫研究会 1 水稲直播栽培における虫害に関する検討会
28.7.6～7	山形県鶴岡市 (東京第一ホテル鶴岡 他)	○土壌肥料研究会(夏期) 「農産物の市場開放および東日本大震災に対応した土壌肥料研究の展開方向」についての検討及び現地検討会
28.8.25～26	宮城県仙台市 (宮城県自治会館)	○病害虫研究会(夏期) 1 大規模水田輪作における病害虫の発生とその対策 2 分科会 病害分科会 今後発生が問題となる病害とその対策 虫害分科会 東北地域におけるアカスジカスミカメの発生地域の拡大とその要因 3 現地検討会

開催月日	場 所	内 容
29.1.26～27	盛岡市 (アイーナ)	○ 土壌肥料研究会 1 主要研究成果等の検討 2 検討事項 「土壌肥料分野におけるICT研究の今後の展開方向」 「東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題」
29.1.26～27	盛岡市 (アイーナ)	○ 病害虫分科会 病害研究会 1 研究成果情報の検討 2 平成28年度試験研究成績の検討 3 重点検討事項「栽培の大規模化・省力化にともなう病害虫管理上の課題」「ICT利用における生産環境分野での検討方向」の検討 ○ 病害虫分科会 虫害研究会 1 研究成果情報の検討 2 平成28年度試験研究成績の検討 3 重点検討事項「栽培の大規模化・省力化にともなう病害虫管理上の課題」の検討
29.1.27	盛岡市 (アイーナ)	○ 農業気象研究会 1 研究成果情報の検討 2 検討事項 「農業生産にかかわる技術開発・技術普及・現場支援に有用な農業気象情報」 「水稻の面的出穂予測システムの紹介」
29.1.27	盛岡市 (アイーナ)	○ 生産環境推進部会 本会議 1 主要研究成果等の検討 2 現場段階での重要な技術的課題の検討 3 重点検討事項 「ICT利用における生産環境分野での研究方向」 4 各県からの研究情勢報告
【畜産飼料作推進部会】		
28.9.5～9.6	盛岡市 (会議:マリオス) (シンポジウム :アイーナ)	○ 夏期研究会 1 分科会 大家畜分科会、中小家畜分科会、飼料作分科会共通 各県で実施している試験研究を紹介し、連携の可能性を探る 2 全体会議 ①分科会の報告 ②情報交換 ③その他 3 シンポジウム 「東北地方における畜産物市場開放に対応した研究開発」
29.1.30～31	盛岡市 (アイーナ会議室)	畜産飼料作推進部会 本会議 1 重点検討事項 東北地方における畜産ICT研究と今後の展開方向 2 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 3 主要成果の紹介および最新農業技術・品種2017候補の選定 4 平成29年度主要新規試験計画の検討 5 今後の推進会議の運営について 6 外部委員による講評

開催月日	場 所	内 容
29.1.30	盛岡市 (アイーナ会議室)	東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会 大家畜分科会 1 生産性向上に向けた母牛および子牛の栄養管理技術
		東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会 中小家畜分科会 1 各県の地鶏、銘柄豚振興に係る取組み(試験研究課題)について
		東北農業試験研究推進会議 畜産飼料作推進部会 飼料作分科会 1 牧草系統適応性検定試験に関する情報提供 2 子実トウモロコシの現状 3 フォレージテスト再構築事業における飼料用米分析および繊維分析手法のトピックス
【野菜花き推進部会】		
28.7.28～29	秋田県秋田市、能代市	○野菜研究会(夏期) 1 検討課題 大規模水田転換畑における野菜生産 2 話題提供 秋田県における野菜の生産振興について 秋田県の地下灌漑システムの機能と活用について 3 現地研修 地下灌漑システム利用ネギ栽培(能代市) JA育苗施設・集出荷施設(能代市)
28.10.5～6	青森県藤崎町、田舎館村、平川市	○花き研究会(夏期) 1 検討課題 オリンピック・パラリンピックに向けた花き苗生産への取組み 2 研究紹介 キク「精の一世」採穂用親株の温度および日長管理が採穂と採花に及ぼす影響 岩手県農研センターにおける近年のリンドウ品種開発状況について EOD-heating処理がトルコギキョウの開花に及ぼす影響と燃油削減効果 3 現地見学会 アルストロメリア・トルコギキョウ生産事例
29.2.1～2	盛岡市 (東北農業研究センター)	○野菜花き推進部会 本会議 1 重点検討事項 野菜分科会「野菜生産におけるICTの活用と今後の発展方向」 ドローンからの作物成長観測 施設園芸分野におけるICT利用の有効性 花き分科会「花きの安定多収生産に向けた環境調節技術の新しい動向」 花き生産における情報としての光の活用 クラウン部局所加温によるガーベラ冬季収量の確保 2 研究成果情報候補課題の検討・採択 3 「野菜・花きにおけるICT関連研究の推進方向」の検討
【果樹推進部会】		
28.8.23～24	福島県福島市	○果樹研究会(夏期) 1 話題提供 1) モモの低樹高栽培及び連作ほ場における台木の違いによる生育の差異 2) モモせん孔細菌病の効率的な防除に向けた取組み 3) 山形県におけるモモ栽培 4) モモにおける樹体凍害の発生原因と発生軽減対策 2 研究戦略に係わる総合討議
29.1.24～25	盛岡市 (いわて県民情報交流センター(アイーナ))	○果樹推進部会 1 重点検討事項: 東北果樹におけるICT、IoT、AIの活用と今後の発展方向 特別講演: IoT、AIで競争力のある次世代農業を! 2 平成28年度成果情報 3 現場段階での重要な技術的課題 4 主要新規試験研究計画の概要 5 その他

開催月日	場 所	内 容
29.2.2～3	つくば市	○落葉果樹研究会 1 全体会議 気候変動が果樹生産に及ぼす影響と対策技術 1) 農林水産省気候変動適応計画(果樹分野)の策定および推進 2) 果樹の気候温暖化対策に関する普及事業の取り組み 3) 気候変動が果樹生産に及ぼす影響と適応策に関する研究の現状 4) 総合討議 2 樹種別分科会 ナシ、カキ、クリ、核果類、ブドウ、土壌肥料、流通利用
29.2.7～8	盛岡市 (サンセール盛岡)	寒冷地果樹研究会 1 全体会議 リンゴ品種の海外展開を考える 2 分科会 栽培)リンゴの人工授粉に関する最近の話題 病害)最近多発傾向にあるリンゴ黒星病の発生要因と防除対策 虫害)寒冷地果樹栽培におけるフェロモン剤利用の現状と問題点 土壌・肥料)H28年度土壌・肥料の成績検討
【研究戦略会議】		
28.10.12	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 東北地域研究・普及連絡会議への提案事項の検討 (農業新技術200X、国の施策で対応すべき技術的課題候補) 2 東北農政局からの報告 3 今後の東北農業に係る試験研究の推進 (ICT研究の展開方向等)
【本会議】		
29.2.14	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 推進部会報告 2 重点検討事項の検討 テーマ:東北地域におけるICT研究の今後の展開方向 3 その他

キ 東北地域研究・普及連絡会議

開催月日	場 所	内 容
28.10.27	仙台市(合同庁舎)	出席者:企画管理部長 1 「国の施策で対応すべき技術的課題」候補の選定について 2 「新品種・新技術の開発・保護・普及の方針」に基づき導入が期待される品種・技術の普及について 3 農研センターと普及組織の連携について 4 農業新技術200X 等の普及について 5 その他

ク 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
28.6.10～11	北上市(農業研究センター)、陸前高田市	UECS研究会 現地見学会 陸前高田市大規模園芸施設、南部園芸研究室 新施設園芸セミナー 岩手県沿岸の震災復興におけるICT利用への期待 温室メロン栽培におけるコンピュータを利用した環境制御の歴史と将来展望 簡易UECS導入キットの開発 農林水産省のUECSプロジェクトの紹介
28.11.1～2	北上市(農業研究センター)、陸前高田市	第80回日本養液栽培研究会・岩手大会 「被災中山間地域における施設園芸の展開方向」 現地見学会(陸前高田市大規模施設園芸団地、グランパファーム陸前高田、先端プロ中山間施設園芸実証施設)
28.8.18～19	盛岡市(アイーナ)	園芸学会東北支部平成28年度大会 公開シンポジウム「東北地方の園芸分野における革新的技術の開発と展開」 研究発表会(果樹・野菜・花き) 小集会「先端プロ 中山間地域における施設園芸技術の実証研究」におけるイチゴ研究
28.9.6～7	盛岡市 アイーナ	東北畜産学会
28.9.8～9	盛岡市 ホテルメトロポリタン	北海道・東北地区鶏病技術研修会 ・ 北日本養鶏大会

ケ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議

開催月日	場 所	内 容
		(活動なし)

Ⅱ 試験研究の推進

II 試験研究の推進

1 研究活動の概要

岩手県では、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画となる「いわて県民計画」を平成 21 年 12 月に策定した。この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針（以下「技術開発基本方針」という。）を策定した（平成 22 年 3 月）。

農業研究センターでは、技術開発基本方針に基づき、平成 30 年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した（平成 22 年 3 月、研究期間を平成 26 年度までとして策定。平成 24 年 3 月、期間を 30 年度まで延長し改訂）。

技術開発基本方針の 6 つの農業技術開発の方向に即し、17 分野 50 の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的・安定的に生産するための高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

平成 28 年度の試験研究にあたっては、以下の 3 つの基本方針に沿って、新規 15、継続 95、合計 110（小課題数ベースで、分野を重複する小課題はカウントしている）の研究課題に取り組んだ。

1 顧客の視点に立った試験研究等業務の着実な推進

- ・所得向上につながる普及性の高い技術開発
- ・産地づくりをリードする革新的な技術開発など

2 プロジェクト研究の推進によるスピーディーな課題解決

- ・課題設定から普及定着まで、研究、行政、普及、地域が一体的に推進
- ・連携軸強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発

3 情報発信の強化による県民への業務の「見える化」の推進

- ・知的財産の実用化促進
- ・研究成果活用・PR 強化

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災等への対応として設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「震災復興加速プロジェクトチーム」に改組し（平成 25 年 7 月 1 日）、沿岸地域における復興に向けた技術的、経営的ニーズへの積極的対応、実証試験を通じた技術の導入・開発に取り組んだ。

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産部門で 34 課題（うち新規 9 課題）、畜産部門で 13 課題（うち新規 9 課題）、合計 47 課題の共同研究に取り組んだ。中でも、農林水産技術会議の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」並びに「ブランド化を促進する農産物の生産・加工技術の実証研究」の「果樹類」及び「野菜類」の 3 課題については代表機関として、また、共同研究機関として「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」に取り組んだ。

畜産分野では、黒毛和種の新たな基幹種雄牛として、枝肉重量、バラの厚さなどに優れる「絹美継」、ロース芯面積、バラの厚さ、歩留まりに優れる「春北平」を選抜した。また、ICT を活用した牛群管理システムやほ場管理システムなど課題に継続して取組むとともに、転作田における牧草フェストロリウムの利用技術や泌乳量の平準化による生涯乳量向上技術など新たな課題に取り組んだ。

知的財産では、水稻「岩手 118 号（＝金色の風）」、りんどう「EB-2 号」、「MB-2 号」を品種登録出願した。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部（試験研究推進アドバイザー・生産者等）の評価を経て、63 の研究成果（普及区分 8、指導区分 37、行政区分 11、研究区分 7）にとりまとめ公表した。

機関評価委員会については、11 月 18 日に畜産研究所（滝沢市）を会場として開催し、過去 2 年間の評価委員会における意見に対応した本年度の取組状況や試験研究の進捗状況等を報告するとともに、試験研究全般に関し意見交換を行った。

2 トピックス

(1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	(該当なし)	—
種苗登録	水稲 金色の風【出願番号 31551、登録出願 2016/11/1】 ・ねばりが強くやわらかい極良食味品種	技術部 作物研究室
	りんご 雪いわて【出願番号 31153、登録出願 2016/5/24】 ・貯蔵性・着色に優れる赤色系良食味品種	技術部 果樹研究室
	りんどう いわて EB-2 号【出願番号 31653、登録出願 2016/12/12】 ・8 月上中旬咲きの切り花用青色品種 同 いわて MB-2 号【出願番号 31654、登録出願 2016/12/12】 ・8 月中旬咲きの切り花用青色品種	技術部 野菜花き研究室

(2) 表彰等受賞状況

ア 感謝状

病理昆虫研究室ではホップにおける新規農薬の登録を推進するために、適用拡大する農薬の選択、効果試験、限界濃度薬害試験、作物残留試験及び試料調整等に取り組んだ。その結果、アリエッティ水和剤(べと病)、ナリア WDG(べと病、うどんこ病)、オンリーワンフロアブル(うどんこ病)、ランマンフロアブル(べと病)、アグリメック(ハダニ類)の5剤がホップに登録拡大となり、ダニサラバフロアブル(ハダニ類)が農薬登録申請に向けて準備されている。これらの取り組みは、岩手県内のホップ生産者のみならず全国のホップ生産者のホップ安定生産に資する取り組みであり、ビール酒造組合から県に対して、国産ホップ農薬に関する研究継続の要望があった(平成 28 年 4 月 11 日)ほか、全国ホップ連合会(会長:山形県南ホップ農協 樋谷謙滋郎組合長)より、農薬登録推進の貢献に対してお礼状が(平成 28 年 4 月 14 日)、岩手県ホップ連合会(会長:江刺 忽布農協 菊池均組合長)から実務担当者へ感謝状が贈呈された(平成 28 年 6 月 17 日)。

(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進

ア 特定課題検討チーム*

(*多岐にわたる課題あるいは今後重要と見込まれる事項について研究的観点から検討するチーム)

プロジェクト推進室が実施しているプロジェクト研究課題(特定課題)について、第 4 期目となる平成 29 年度以降の課題設定のための検討を実施した。

会議名	日時・場所	参集者	概要
第 2 回特定課題検討会(企画運営会議)	28.5.30 特別会議室	各部長、各研究所長	・第 1 回および第 2 回チーム員会議の検討状況について意見交換を実施。 →ロボット技術や ICT 技術等を活用した生産工学・作業技術分野への取組を進める必要。
第 3 回特定課題調査検討チーム員会議	28.6.14 特別会議室	企画管理部長、本部各研究室長、各研究所次長、中央普及センター(県域)普及課長(オブザーバー)	・以下の項目について意見交換を実施。 ①軽労化、省力化、自動化、制御など、ロボット技術や ICT 技術等に関する技術課題 ②研究体制等に係る意見・要望等
県庁との意見交換	28.7.20 特別会議室	農業振興課、農業普及技術課、農産園芸課	・行政からのニーズ、施策の方向性等について意見交換を実施。
第 3 回特定課題検討会(企画運営会議)	28.7.25 特別会議室	各部長、各研究所長	・第 3 回チーム員会議の検討状況について意見交換を実施。
第 4 回特定課題調査検討チーム員会議	28.9.6 特別会議室	企画管理部長、本部各研究室長、各研究所次長、中央普及センター(県域)普及課長(オブザーバー)	・以下の項目を中心に意見交換を実施した。 ①取組課題(ICT、ロボットなどスマート農業分野で今後取り組むべき課題) ②研究体制(各研究室、プロジェクト推進室の役割分担や連携の在り方)

イ 連携プロジェクト**

(**多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別課題解決	リンドウこぶ症連携プロジェクト 〔H21～〕	◎リンドウこぶ症対策に係る試験研究	環境部 技術部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・中央農業改良普及センター

(イ)取組概要

名称	検討内容	検討結果
リンドウこぶ症	りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路を探索し、こぶ症の発生原因を解明するため、連携プロジェクトを継続。GKaVの病原性について研究を進めている生工研とも連携を図る。 ○第1回チーム会議(H28.5.11) ○第2回チーム会議(H29.2.16)	○第1回チーム会議 平成27年度の試験成績および平成28年度の試験計画の確認。 ○第2回チーム会議 平成28年度試験の進捗状況の確認。 研究期間終了後の体制の維持について検討。

ウ 復興加速プロジェクトチーム

平成23年3月11日に発生した東日本大地震津波で甚大な被害を被った沿岸地域の農業の復旧・復興に向けた具体的な技術支援対策を実施するため設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」を「復興加速プロジェクトチーム」に発展改組し(平成25年7月1日)、農林水産省の委託研究予算(食料生産地域再生のための先端技術展開事業、農林水産省委託、平成25～29年度)を獲得して、復興に資する大規模な実証研究を開始した。

この実証研究は、地域の特徴に合わせた営農技術の実用化並びに経営の姿を6つの経営体における実証を通じて明らかにするものである。農商工連携や観光と結びついた高付加価値化、素材の科学的な評価や新品種を基にしたブランド化、地域の木質資源やICT技術を駆使した低コスト生産技術などを経営面からも評価しつつ総合的に組み立てて普及定着を図っていく内容で、県内外の民間企業・大学・研究機関28機関が取り組んでいる。さらに、沿岸広域振興局、大船渡農業改良普及センター及び中央農業改良普及センターが普及支援組織として協力している。

平成28年度は開始4年目となり、課題によっては一定の研究成果が得られてきた。改良型木骨ハウスの最適化の把握やUECS環境制御によるトマト栽培の安定化、りんご早期成園化のためのフェザー苗養成技術や北限のユズ安定栽培の実証、小型汎用コンバインを核とする低コスト栽培技術の実証など、非常に幅広い取り組みを展開した。また、農業経営面でも、ビジネスモデルの構築に向け、実証経営体の総合的な分析評価やコンサルティングを実施した。

3 研究室・課の動き

(1)プロジェクト推進室

水稲鉄コーティング湛水直播栽培の安定技術の開発、及び水田転換畑における大豆の安定多収を実現する新技術等の開発や春まきタマネギの現地実証を行い、これらを軸に、土地利用型作物・野菜の低コスト生産技術の確立と体系化に取り組んだ。また、沿岸南部地域において「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」を実施し、沿岸地域農業の復興支援に取り組んだ。

業務推進にあたっては、本県の地域特性に合致した技術の、社会実装を見据えた現地実証試験や、普及組織等のビジネスパートナー及び所内他部等との目的の共有化と密接な連携によって、顧客ニーズに即した現場解決型技術の体系化を図った。

<岩手県における水稲鉄コーティング湛水直播栽培の安定栽培技術の開発>

県内で急速に普及拡大している水稲鉄コーティング湛水直播の安定栽培技術体系の確立に向けた課題を遂行し、累年データから「ひとめぼれ(主食用)」、「つぶゆたか(飼料用)」の倒伏低減を主眼に置いた生育指標や栽培条件を明らかにした(研究成果(指導区分))。

また、春作業をより平準化するため代かきを省略する、水稲鉄コーティング湛水直播栽培の無代かき播種技術についての成果(指導区分)をとりまとめた。

<県中南部における大豆難防除雑草の除草体系の構築>

委託プロジェクト研究「水田輪作における大豆・麦類の多収阻害要因の解明と安定多収化技術の確立(代表機関:(独)中央農業総合研究センター、H27～31)」において、2年目の現地試験に取り組んだ。水田転換畑における大豆の難防除雑草に対し、ディスク式除草機による機械除草と除草剤の組み合わせによる効果的な除草体系の構築を目的としているが、本年は、岩手県中南部で発生が目立ってきている帰化アサガオ類について、開花・結実時期を把握して、今後の防除対策の資とした(研究成果(指導区分))。

<東北の水田地域への春まきタマネギを核とした野菜作の導入と実証>

地域戦略プロジェクト「東北の水田地域への春まきタマネギを核とした野菜作の導入と実証」(代表機関:(独)東北農業研究センター、H28～H30)において、春まきタマネギの転換畑における安定生産のための排水対策を現地実証の中で取り組んだ。

<食料生産地域再生のための先端技術展開事業>

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」(中小区画土地利用型営農技術の実証研究)(代表機関:(独)東北農業研究センター、H25～29)に参画し、東日本大震災からの早期復興をねらいとして、土地利用型作物の低コスト・省力・安定生産技術の実証試験を実施した。陸前高田市において水稲直播栽培技術、大豆のディスク式畦立て播種栽培体系、畦畔法面管理の省力化技術を実証し、沿岸地域に適した水稲の直播栽培技術の組み立て、実証地域での大豆の安定多収技術の検証、及びイブキジャコウソウによる畦畔被覆管理技術の現地適応性の確認を行った。

(2)企画管理部

研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

<顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、中央普及センターとの作物別連携会議や現地検討会などを通じて顧客である農業者等のニーズの把握に努めた。

試験研究推進に際しては、研究課題の収集や平成23年度に制度化した試験研究推進アドバイザーを研究会議等に参集し、顧客目線での助言を得ながら課題設定や成果の取りまとめを行った。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会について、11月18日に畜産研究所において、同研究所の研究状況を視察後、過去2年間の評価意見への対応状況や試験研究に関し、質疑と意見交換を行った。

平成 25 年度から実施している食料生産地域再生のための先端技術展開事業を適正に執行するため、職員に対して研究資金等の事務手続きや経理事務研修を行った。

競争的研究資金等への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、農業改良普及センターや県庁関係課との事前調整を行った。

<アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。マスコミでの報道件数は、150 件(前年 74 件)であった。ホームページは、年間 434 万件(前年 459 万件)の閲覧数があり、また、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間 48 件(前年 52 件)発信した。さらに、Twitter による情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数 399 回、フォロー一増加数 362 名、同じく Facebook では投稿数 290 回、いいね！増加数 85 名であった。

センターの取組を広く知らせるため、参観デーや一日子供農業研究員を開催した。

参観デーは、9 月 3 日に生物工学研究センター及び中央農業改良普及センターと合同で開催し、来場者数は約 2,000 人であった。また、一日子供農業研究員は 7 月 29 日に、「イネを学ぶ～新品種『銀河のしずく』を食べてみよう!」をテーマとして開催し、北上市及び花巻市の小学生 15 名が参加した。

また、食料生産地域再生のための先端技術展開事業(先端プロ)における成果の普及を図るため、農業改良普及センターや生産者等を参集した現地検討会を陸前高田市等で開催した。

<専門知識と技術を有する人材育成>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成 19 年 3 月策定、平成 27 年 3 月改定)に基づき、より専門性の高い人材の育成に向け、依頼研究員等(2 名)に研究員を派遣した。

予算管理面では、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

農業経営研究室

「元気な地域農業推進のための農業経営モデルと地域営農システム構築方策の提示」の研究課題については、水稻生産費を取りまとめ、さらに地域資源管理に関する研究活動を開始した。「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」では、実証研究された先端技術の経営経済的評価を実施し、技術の有効性、導入条件、農業経営体における導入効果を明らかにした。

<外部環境の変化に対応できる持続可能な地域営農システムの構築支援>

水田作経営体の経営実態を整理し、経営目的で類型化、各類型の取組の特徴、課題、成立条件等を明らかにするとともに技術体系データ等を用いて、経営発展型個別経営、農地・地域社会維持型集落営農の水田作経営モデルを作成した。

<地域特性を活かした収益性の高い農業経営モデルの提示>

大規模施設園芸経営における労務管理に関する対応方策を明かにした。(研究成果:指導区分 大規模施設園芸経営における労務管理の方向)

<開発技術の経営的評価による効率的な研究推進>

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による実証研究の各実証技術の技術係数・利益係数を整理し、「中小区画土地利用型実証研究」における 2 つの経営モデル(30ha、100ha)を作成するとともに先端技術の導入効果を明らかにした。(研究成果:指導区分 沿岸地域における水稻鉄コーティング湛水直播及び大豆栽培技術の導入効果)

<営農計画作成支援情報の提供>

先端技術等の開発技術に係る作業時間を随時整理するとともに生産技術体系 2020 作成に向けた課題とニーズを提示した。

(3)技術部

果樹研究室

果樹は、りんごを主体に、ぶどう、西洋なし、おうとう、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、「つがる」に代わる早生品種と「ふじ」に匹敵する晩生種の開発を重点課題としている。また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹作業の軽労化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

加えて、東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」を導入し、りんご、ゆず、ぶどうの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市に実証圃場を設置するなどし、被災地復興支援に取り組んでいる。

以上の取り組みから、今年度は以下の4つの研究成果を公表した。

- (1) りんごオリジナル品種「紅いわて」(品種登録名:紅いわて)について、系統販売で輸送する場合、ヨード反応指数 2.0～2.5を目安として収穫することで、果実の食味の良い硬度を維持できることを明らかにした。
- (2) りんご品種「紅ロマン」(品種登録名:高野 1 号)は、自家摘果する特性を持つ「あかね」と同等に早期落果する特性を持ち、摘果剤の効果が低いことを明らかにした。
- (3) 温度変換日数法(DTS 法)を用いたりんごの開花予測について、パソコンで計算できるように Excel ファイルを作成した。さらに、発芽日を起算日にすることで、従来の予測(起算日:2/15)よりも精度が上がることを明らかにした。
- (4) ゆずについて、先端プロ事業を活用し、既存樹をせん定により樹形改善することで、受光体制が改善し結実量が増加すること、低樹高化によって収穫効率が向上することを明らかにした。

作物研究室

<水稲育種チーム>

(水稲品種)

水稲の奨励品種決定調査では、本調査において粳 12 系統(うち非主食用米 5)、糯 1 系統を供試し、現地調査では粳を 15 か所、糯を 2 か所で検討した。

新品種「金色の風(岩手 118 号)」及び「岩手 122 号」の研究成果をとりまとめ、この 2 品種が新たに県奨励品種として採用された。(試験研究成果書(普-02)、(普-03))。金色の風については県産他品種と比較した食味特性を明らかにした(試験研究成果書(指-13))。

29 年度の本調査に早生で「岩手 119 号」、中生で「岩手 120 号」、「岩手 124 号」、「奥羽 424 号」、晩生で、「岩手 121 号」、「岩手 126 号」、「東北 215 号」、「東北 220 号」、非主食用で「岩手 116 号」、「奥羽 427 号」、「奥羽 437 号」を供試する(試験研究成果書(行-03)、(行-04)、(行-05))。

(水稲育種)

いわてブランド米品種開発推進事業に取り組んでいる。生産力検定本試験から、生育・収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手 127 号」(早生の晩、いもち病及び耐冷性極強、良食味)、「岩手 128 号」(中生の早、葉いもち極強、耐冷性極強、良食味、多収)、「岩手 129 号」(晩生の中いもち病及び耐冷性極強、多収)、「岩手 130 号」(中生の晩、耐冷性極強、極多収飼料用米)、「岩手糯 131 号」(早生の晩、いもち極強、耐冷性極強、多収)の系統を選抜した(行-02)。

平成 27 年度から農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「ゲノム育種により有用形質を集積したイネ品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大」および「「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明」に取り組み、(公財)岩手生物工学研究センターなどと連携し、分子マーカーを用いた選抜に取り組んでいる。

<作物栽培・種子チーム>

水稲・畑作物(麦類・大豆)栽培試験、品種選定、作柄解析、主要農作物(水稲・小麦・大麦・大豆)原種・原々種生産に取り組んでいる。

(水稲栽培)

水稲新品種「金色の風(岩手 118 号)」の良食味・高品質安定栽培法をとりまとめ(試験研究成果書(指-12))、「金色の風」栽培マニュアルを作成した。

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北研究所)・現地生育データ(農業改良普及センター)・気象データ(盛岡地方気象台)・土壌栄養(生産環境研究室)・病害虫(病理昆虫研究室)・作柄(東北農政局)・品質情報(同)を総合的に解析し、次年度以降の技術対策指導に供した(試験研究成果書(指-10))。

(麦類)

麦類奨励品種決定調査では、小麦7系統、大麦5系統を供試した。

麦類耐寒雪性特性検定について、(独)次世代作物開発研究センター委託試験として実施した。小麦および大麦をそれぞれ65、43品種・系統を供試した。

(大豆)

大豆奨励品種決定調査では、普通大豆3系統、黒大豆1系統、青大豆1系統を供試した。

農林水産省委託プロジェクトの「実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発」(バリュープロ(大豆))において、晩播密植栽培による大規模現地試験を実施した。品種比較では、東北178号、東北181号ともユキホマレよりコンバイン収量、タンパク含量が高く有望と考えられた。また立枯性病害抵抗性検定試験に、35品種・系統を供試し、黒根腐病抵抗性評価法の確立と抵抗性基準品種の策定を目指している。

多収・高品質・豆腐加工適性に優れる大豆「シュウリュウ」の課題である「青立ち」の発生を抑制するための播種期等を明らかにした(試験研究成果書(指-11))。また、大豆経営面積が増加し中耕培土適期実施ができず倒伏を招く場合の対応策として、摘心による倒伏軽減効果を明らかにした(試験研究成果書(指導-09))。

(種子生産)

水稻種子生産(主要品種)では、原々種はうるち4品種、もち1品種、原種はうるち9品種、もち2品種22,736kgを生産した。また、「金色の風(岩手118号)」の一般種子を6,360kg生産(特別増殖)した。

小麦は原種4品種を11,965kg生産した。大豆は原種1品種を2,670kg生産(見込み)した。

野菜花き研究室

野菜花き研究室では、「農林水産技術立県いわて」の確立のため、以下の基本方針に沿って野菜および花きの2チーム体制で試験研究に取り組んでいる。(1)顧客の視点に立った園芸品目の省力・低コスト生産技術の開発、(2)消費ニーズ及び将来の動向を見越した本県に適する花き(リンドウ)新品種の選抜・育成、(3)生産の安定に直結する優良な原種苗等の正確かつ安定的な供給

<野菜チーム>

野菜は、「主要野菜の収益性を向上する革新技術、高付加価値化技術の開発」を推進するため、果菜類では、雨よけトマトの草勢管理技術、抵抗性台木を用いたピーマンの安定生産技術、ハクサイの新品種・作型の開発、高温による休眠打破を利用した促成アスパラガス栽培技術の確立に向けた課題に取り組んでいる。

また、平成25年度からは東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開研究」を導入し、キュウリ、パプリカ、トマトの生産・加工技術の実証研究として、センター内の他、陸前高田市・大槌町に実証圃場を設置し、被災地復興支援に取り組んでいる。

キュウリでは、安価な「かん水同時施肥装置」を活用し、現地で露地夏秋作型キュウリの栽培を行い、慣行栽培と同等以上の収量が得られることを確認した。また、新形質キュウリであるベイトアルファ型キュウリは、現地の生産者が試作し、地元で青果として試験販売を行ったほか、漬物に加工し販売したところたいへん好評であった。

パプリカは、本県の夏期冷涼な気象を活かすとともに、沿岸被災地域の水稲育苗施設の高度利用を図るため、簡易な隔離床栽培法を考案し、安定生産技術の確立を図っている。これまでの実証結果をもとに収量に及ぼす要因の解析を行い、栽培上の課題を整理した。

トマトでは、省力的で収量が高い栽培技術として、露地放任ネット誘引栽培(ソバージュ栽培)の改良を行い、直立ネット誘引により収量が向上すること、作業性が改善することを明らかにしており、今年度は「岩手県ソバージュ栽培マニュアル(暫定版)」を作成し、当栽培技術の普及拡大を進めているところである。

施設園芸のトマト栽培では既存のパイプハウスに複合環境制御や総合的な環境管理を行う多収化モデルを構築し30tレベルの収量を実現した(平成28年度研究成果)。

<花きチーム>

花きは、「日本一のリンドウ産地を支えるオリジナル新品種の開発、安定生産技術の開発」を目指し、主産地としての優位性を維持するために、リンドウに重点を置いた品種、技術の開発を行っている。特に、市場の需要を満たし、さらには需要を作り出すためのオリジナル品種開発を最重点課題としている。

また、これまでに開発したオリジナル品種の原々種維持、原種増殖と種苗センターへの供給、生産性の高い省力・低コスト安定生産技術の確立に向けた課題を実施している。

本年度はリンドウ極早生品種「いわて夢あおい」における全茎収穫を可能とするジベレリンの処理技術をタイムリーな研究

成果としてまとめた。

リンドウの品種開発では、有望 F₁ 系統の組合せ検定を実施し、品質の低下が見られる既存品種に置き換わる、品質、揃いに優れた新品種を順次開発しており、新たな品種構成による継続した出荷が可能となりつつある。本年度は、9 月中下旬開花の切り花向け青色リンドウ F₁ 品種「いわて LB-5 号」及び「いわて LB-6 号」を育成した(平成 28 年度研究成果)。

純系リンドウと DNA マーカーを利用した品種育成技術を活用し、未受精胚珠の培養により得られた倍加半数体個体から採種し、純系を用いた F₁ 採種を目指して、特性調査を進めている。リンドウ種子供給に関しては、原々種の安定採種、親株の大量増殖と供給に取り組み、ほぼ計画数量どおりの親株を種苗センターに供給した。これら採種親株の管理について、種苗センター採種ほ場を確認しながら、検討会を実施した。

南部園芸研究室

南部園芸研究室では平成 23 年 3 月 11 日に発生した震災により研究施設等が全壊・流失したが平成 26 年 1 月 6 日に再建し、陸前高田市で業務を再開した。夏季冷涼、冬季温暖な気象特性を生かした園芸産地の育成と被災した沿岸地域の農業復興を支援する技術拠点として、地域に密着した研究と技術指導を実施している。

イチゴの品種比較試験は、東北農業研究センターと共同で実施しているものとして、四季成り性品種の夏秋どり作型、低温カット栽培や無加温促成栽培に適した一季成り性品種の選定を行なっている。各系統の特性を明らかにするとともに、一季成り性品種について有望系統を見出し現地適応性を評価するために現地試験を実施した。また、「革新的技術開発緊急展開事業」の共同研究において、種子繁殖型品種「よつぼし」の品種特性把握、岩手県に適した作型や栽培方法の検討を行っている。

「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」は、東日本大地震・大津波被害地域の復興を目的とした、国庫委託事「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」により実施しているものである。4 年目となり、それぞれの目標到達に向けて実証研究を継続している。

木骨ハウスについては、これまでの栽培実証をもとに課題を整理し、構造、工法の改良により採光性等の改善を図った新規木骨ハウスを平成 27 年に建設した。この改良型木骨ハウスの最適化を把握するため、採光性・木材含水率・熱中症指数調査を実施し、採光性は年間を通して軽量鉄骨ハウス並み、含水率は 18%以下で腐朽するレベルではなく、晴天日は鉄骨より 2.8℃低い結果となった。

木質バイオマス加温機については、吸気ダクト・ファンの変更による本体の低コスト化、ファンの運転や停止による燃焼時間等を検討した。燃焼時間は従来の 12 時間程度を維持し、イニシャルコストは 7%、ランニングコストは 37%まで削減した。また、局所加温については、局所加温システムの標準ユニットを作成し、閉鎖型高設栽培システムにおける局所加温技術を検討している。貯水槽加温の有効性が認められる。

トマト、イチゴの総合実証では目標収量に到達できていないものの、トマトではインタープランティングによる長期栽培、イチゴでは四季成り性品種「なつあかり」の 2 年栽培における最適な作型、技術の適応について検討している。

(4) 環境部

生産環境研究室

生産環境研究室では、①土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発、②高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立を柱とした研究課題に取り組んだ。また、東日本大震災の津波によって被災した農地の復旧・復興対策として国庫委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において、復旧水田での水稻直播栽培の安定生産実証に取り組んだ。

土壌養分の蓄積に対応した効率的な施肥管理技術の開発としては、国庫委託事業「収益力向上のための研究開発事業」の構成機関として、雨よけトマトにおける土壌中の可給態窒素を評価した窒素の適正施肥体系確立に取り組み、可給態窒素の簡易評価法を用いて施肥窒素を減肥できる可能性の知見を得た。あわせて、リン酸、カリの既存の減肥基準の検証として、高い交換性カリ水準での影響試験を実施した。他にも、補給型施肥の実証調査として、りんご及びびんどうについて実施した。

高品質な農産物の安定生産・供給のための肥培管理技術の確立としては、県内に広く普及してきた水稻の鉄コーティング湛水直播用の施肥技術確立のため、被覆肥料の組み合わせを検討し、研究成果「水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料の配合」としてとりまとめた。また、極良食味米の「金色の風(岩手 118 号)」の施肥管理法について、作物研究室と連携して研究成果「水稻新品種「金色の風」の良食味・高品質安定栽培法」をとりまとめた。さらに、水田転作での小麦「ゆきちから」について、収量や品質の課題解決にむけて指導区分の研究成果「水稻後 1~2 年目の転換畑での小麦「ゆきちから」の窒素施肥量」をとりまとめた。

また、現地からの要望対応としてなすの鮮度保持について研究成果「包装形態及び保存温度がなすの品質に及ぼす影響」をとりまとめた。加えて鮮度保持について、りんどうの鮮度保持について国庫委託事業「花き振興(品質)コンソーシアム品質保持期間延長技術の開発」の構成機関として参画した。

試験研究以外の取り組みとしては、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う、県産農林水産物の放射性物質検査として、野菜、果実、畜産物、林産物など年間 493 点の測定を実施し、県による検査結果として公表された。加えて、調査研究目的として関係機関からの依頼試料約 350 点の測定を実施した。また、農地土壌のモニタリング調査として、前年までの同一ほ場 73 地点から 10 点を抽出し、6 年目の継続調査を行い、おおむね理論通りに放射性セシウムが減衰していることを明らかにした。

病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産を目指した病害虫制御技術を確認するため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術(IPM)の開発に取り組んだ。水稲分野では、鉄コーティング湛水直播栽培において、鉄コーティング処理が細菌病を抑制する可能性を示唆したほか、いもち病用バック剤の防除効果が安定しない事例を把握するとともに現地圃場においてイネミズボウムシの直播圃場における侵入時期などを調査し、東北農業試験研究推進会議等において話題提供を行った。「銀河のしずく」はいもち病が発生しにくい品種であり、箱施用剤による葉いもち防除 1 回で葉いもち及び穂いもちの発生を抑制できるため、穂いもち防除を省略できることを研究成果(指導)として取りまとめた。また、現在使用されている斑点米カメムシ類の主要な防除剤の中で、ジノテフラン水溶剤が斑点米を抑制する期間が最も長いことを明らかにし研究成果(指導)として取りまとめるとともに学会で発表した(第 70 回北日本病害虫研究会)。

畑作分野では、「銀河のちから」の赤かび病防除は「ナンブコムギ」と同様に開花期の 1 回防除を基本とすることを示し、研究成果(指導)として取りまとめるとともに学会で発表した(第 52 回植物病理学会東北支部会)。ホップでは新たに適用拡大された化学合成農薬を使用した防除体系を構築し、これを研究成果(指導)として取りまとめるとともに学会で発表した(第 70 回北日本病害虫研究会)。

野菜分野では、PMMoV^{L3} 品種抵抗性打破系統にモザイク症状を呈する病原型(P_{1,2,3,4} 型)の発生確認と防除対策の取り組み、いち早く現地と情報を共有するとともに学会で発表した(第 52 回植物病理学会東北支部会)。

果樹分野では、りんご樹体内に食入したヒメボクトウ幼虫の効果的な防除方法を明らかにし研究成果(普及)として取りまとめた。りんご園地内で土着天敵を維持し、ハダニ類の密度を低く抑える防除体系明らかにし研究成果(指導)として取りまとめた。

花き分野では、きくの害虫キクヒメタマバエに対して効果のある殺虫剤を明らかにし、研究成果(指導)として取りまとめるとともに、学会で発表した(第 70 回北日本病害虫研究会)。

なお、学会等には積極的に参加し、日本ダニ学会 1 件、日本応用動物昆虫学会 1 件、北日本病害虫研究会では 4 件について口頭発表、2 件についてポスター発表し、本県の成果を PR した。

(5) 病害虫防除部

病害虫防除課

(病害虫発生予察)

水稲、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察調査等に基づき、7 回の定期情報に加え、防除速報を 13 回(水稲:斑点米カメムシ類(3 回)、取置苗いもち病、葉いもち(2 回)、小麦:赤かび病、りんご:モニア病、野菜・花き類:ヨトウガ、オオタバコガ、ピーマン:PMMoV、りんどう:リンドウホソハマキ、ハダニ類)発行した。これらの情報については、電子メール、印刷物のほか、いわてアグリベンチャーネットにも掲載し、関係機関・団体、共同防除組織等に提供した。

(病害虫防除指導)

効率的な薬剤防除並びに生物的防除法、耕種的防除法および物理的防除法を組み入れた総合防除の地域への定着を図り、環境に配慮した持続的農業を推進するため、病害虫防除員、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら、効率的な防除の実施を推進した。

また、病害虫防除実績検討会を開催し、主要病害虫の発生要因解析を行うとともに、各地域で問題となっている病害虫の発生状況と対策について協議した。

水稲の病害虫防除指導においては、各地方の病害虫防除員協議会および病害虫防除連絡協議会、市町村病害虫防除協議会、稲作部会等が中心となり、地域の一斉点検調査を行い、その結果及び発生予察情報に基づき防除指導を行っているが、これらに対し随時支援・指導を行った。また、巡回調査地点の農家 92 件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、りんごについて地域の防除暦作成にあたって普及センター担当者等とともに、検討を行った。また、県内 71 の共同防除組合等から防除実績を収集、解析して次年度の防除計画の改善に資した。野菜では 22 件、りんごは 14 件の農家の防除実績を収集し同様に次年度の防除計画に資した。

病虫害防除員に対しては、普通作物について、地域における発生予察活動および防除指導の推進に重点をおき、各地域の関係機関等と連携した予察調査および防除指導の展開について指導支援を行った。また、病虫害防除実績検討会および諸会議、研修会等への参加を呼びかけ情報の共有と資質の向上を図った。

重要性が増してきている病虫害診断は、69 件の依頼に対応した。作物別の内訳は、野菜が最も多く(63.8%)、次に花き(29.0%)、普通作物(4.3%)、果樹(2.9%)の順であった。原因別では、病害が 46.4%、虫害が 4.3%等であった。

(農薬適正使用指導)

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を関係機関・団体と共同で開催した(6月20日、参加者230名)。また、農薬取締法に基づき、農薬販売者への立入検査を実施するとともに(286件)、農薬使用基準違反のあった使用者に対し指導を行った(4件)。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

<家畜育種>

(肉用牛) 日本短角種:種雄牛造成ではH27直接検定牛15頭(平均DG1.47kg)から、現場後代検定用6頭(選抜率40%、平均DG1.54kg)を選抜した。現場後代検定ではH24交配種雄牛5頭(「良富」、「松笹良」、「福来」、「福春」、「松風」)の成績を公表した。

また、黒毛和種肥育牛において、1回目肥育試験が終了し、肥育開始月齢を9か月に早め、肥育前期(9~12か月)に大豆粕を添加して飼料乾物中CPを15%に高めることで、肉質に影響を与えず、概ね27か月齢で枝肉重量480kgを達成した。

日本短角種肥育牛において、良好な歩留を確保するための飼料給与・発育指標(肥育前期のDG1.2~1.3kg/日、17か月齢時点の体重600kg、肥育後期DG0.8kg/日、24か月齢体重770kg)を作成した。

(養豚)「低コスト」で「美味しい」パークシャー種豚肉を生産するため、破碎籾米30%、破碎玄米45%飼料を給与した結果、脂肪中オレイン酸が高く、経済性も良好であった。また、TDNの異なる飼料を用いて、背脂肪への影響を調査した結果、TDN68%給与においても、発育は良好であり、背脂肪が薄くなることで、経済性は良好であった。

(養鶏)南部かしわ母鶏生産用ロードアイランドレッド(RIR)を改良するため、(独)家畜改良センター岡崎牧場(YC)からの導入RIR鶏と保有する岩手大型RIR(M)を交配して得られた後代鶏の第一世代(G1)の能力調査を行った。第一世代(G1)の150日齢体重は、雄3,146g、雌2,278gであり、導入RIR鶏(YC)及びG0世代より、増加した。150~270日齢産卵率は、85.0%とヘテロシス効果の見られたG0世代の90.66%より、やや低下した。

<家畜工学>

(遺伝子解析)黒毛和種肥育牛15,317頭のSNP情報の解析、枝肉データの分析し、ゲノム育種価予測式を作成し、正確度0.95以上の推定育種価を持つ種雄牛87頭について、枝肉6形質のゲノム育種価を算出した結果、相関係数0.82~0.91と期待育種価と比較し高い相関が得られた。

(受精卵移植)ホルスタイン種経産牛へ性選別精液を子宮角深部注入し、発情開始から人工授精までの経過時間と受胎率の関係を試験した結果、12~16時間において最も高い受胎率が得られた。

家畜飼養・飼料研究室

<飼養>

子牛への初乳給与を2日間実施するによる発育改善の効果について、300日齢時までの発育(対照区16頭、試験区15頭)は、試験区間で差がなかった。初産分娩月齢も試験区20.6か月(3頭)、対照区21.2か月(3頭)と差が無く、ともに早く良好だった。

トウモロコシ子実サイレージの給与技術の開発において、消化性についてフェステル牛(乳牛)を用いた消化試験を実施した結果、未粉碎区の浸漬48時間後消失率22%に対し粉碎区は92%と高い消失率であった。産乳性について、泌乳中期の搾乳牛で給与飼料中のとうもろこし圧ペンを飼料乾物中22%子実トウモロコシに代替しても、産乳性に差はなかった。

牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した省力牛群管理技術の確立では、生体センサーによる発情牛検知は発情牛39頭のうち39頭について検出できた。体調不良牛検知は、食欲不振14頭、肢蹄障害1頭の15頭全ての牛で反芻減少を検知できた。分娩前の反芻時間が少なく、かつ分娩3週間前から1週間にかけて大きく低下する牛が疾病

発生に危険性が高いことを確認。

泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上については、現地調査農家を2戸選定し、慣行区1頭、短縮強化区1頭について飼養試験を開始した。

<飼料>

近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立については、新検量線の精度検証を行った結果、ADFについて実用可能な精度を確認した。希塩酸抽出法による簡易ミネラル分析は、灰化法と同等の精度で、1/4の測定時間でイネ科乾草、飼料用とうもろこしサイレージ、稲WCS、牧草サイレージについて推定可能であることを確認した。

圃場管理支援システムによる作業実態調査手法の確立については、作業記録を省力的に高い精度で収集できることを確認した。農業公社のとうもろこし収穫作業コントラクター稼働状況を調査し、作業体系別の稼働率を確認した。

不耕起栽培における乾物収量は耕起栽培と概ね同等の傾向であった。また、耕起栽培における乾物収量は可給態窒素が比較的高い圃場では窒素施肥10、15、22kg/10aが同等で、可給態窒素が低い圃場では窒素施肥22kg/10aが最も高くなる傾向であった。播種せ宇度は、株間及び播種深について、耕起播種機の播種精度と同等の精度を備えていた。また、不耕起栽培は耕起栽培と比較して耕起～除草剤処理までの作業時間を30%に削減でき、栽培面積20haの場合、不耕起栽培では耕起栽培より経費を約24千円/ha削減できる可能性が示された。一方、トウモロコシの収量性については苗立率が同等の場合、不耕起栽培が耕起栽培に比べやや劣る傾向があった。

アレチウリ防除技術として、不耕起栽培による3年目の試験を実施したが、不耕起栽培におけるアレチウリの発生本数は、栽培期間を通じて耕起栽培よりも低く推移し、トウモロコシ収穫時にアレチウリが絡みついていたトウモロコシ本数も耕起栽培に比べ不耕起栽培で少なかった。

転作田におけるフェストロリウムの適応性確認について、フェストロリウムは過湿になりやすい圃場において、オーチャードグラスよりも初期生育及び定着が良好であることが確認された。

<牧草の放射線対策>

除染草地に及び耕起困難地におけるカリの表層施肥において、除染草地においては、土壤中交換性カリ含量が改良目標値を下回る圃場では、標準よりカリ施肥量を減らすことにより、牧草中RCs濃度の上昇及び収量の減少が確認された。耕起困難草地の採草利用において、カリ無施肥の場合、牧草中のRCs濃度は2番草で上昇するが、採草地用の県標準量の施肥によりRCs濃度の上昇を抑制した。県標準量より1.75倍(35kg)量のカリを施用するとRCs濃度の上昇はさらに抑制されるがK/(Ca+Mg)当量比が高くなる。緩効性カリ肥料のみではK/(Ca+Mg)当量比は低く推移した。

外山畜産研究室

<子牛の生産状況>

外山畜産研究室では繁殖雌牛105頭(黒毛和種58頭、日本短角種47頭)を飼養している。黒毛和種では、生産された子牛のうち34頭を1頭当たり平均710千円で販売することができた。

同様に日本短角種の子牛は34頭を出荷し、1頭当たり平均価格は280千円ほどであった。

また、家畜育種研究室で実施する肥育試験等の供試牛として、黒毛和種の繁殖雌牛や日本短角種の子牛を提供した。

<成果の発信状況>

本年度は、馬力が比較的小さいトラクタを使用した草地更新技術を確立し、施工コストを抑えながらも完全更新と同等の草地改良効果が得られることを実証し、指導資料として取りまとめた。

また、数年間利用しなかった急傾斜の放牧地を更新する技術として、電気牧柵を用いた小牧区の集約放牧による蹄耕法の効果を実証し、成績を取りまとめた。これは、福島第一原発の事故以来利用できなかった放牧地の中で、放射性セシウムの水準が基準値を下回り放牧再開が可能となった草地に応用できる技術である。

<寄託放牧の状況>

寄託放牧は、日本短角種と馬を生産者から預かり、低コスト生産に寄与している。

日本短角種については、5月20日から10月17日まで150日間放牧を実施し、近隣の生産者4戸から繁殖牛56頭と子牛39頭を受入れた。雄牛を混牧する「まき牛交配」により87.5%の受胎率を得た。

また、馬については5月16日から10月12日まで149日間放牧を実施し、雌馬7頭、雄馬1頭、子馬2頭の合計10頭を受入れた。これらの馬は、6月に行われた「チャグチャグ馬コ」で行進した馬たちであり、200年以上にわたって行われる伝統行事を支援する意義を感じながら、適切な管理に努めた。

種山畜産研究室

<いわて和牛改良増殖対策事業>

過去10年間の和牛子牛市場価格(去勢税抜)は平成22年6月に335千円であったものが、年度平均価格は23、25、27年度でそれぞれ406、518、618千円と上昇を続け、本年度は29年2月に820千円と高騰している。このような中、黒毛和種改良事業の一環として、県内産黒毛和種種雄牛候補8頭を選定するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子等1頭計9頭の直接検定を実施。平成27年度直接検定終了牛から現場後代検定を実施する候補として「桜花富士」「岩洋永克」「飛良智」「沢百合茂」「菊勝」を選抜した。なお、平成28年度直接検定第2～5期の県有種雄牛産子6頭中の1頭が平成29年9月に宮城県で開催される第11回全国和牛能力共進会(第11全共)第1区若雄に出品される。

また、平成23年度の直接検定結果から平成26年度に現場後代検定を開始し、検定終了後の平成28年度に選抜保留していた「雪福秀」を新たに基幹種雄牛として選抜した。平成24年度直接検定により選抜され、平成27年度に現場後代検定開始した「八雲栄」、「辰美継」「八重美福」「菊勝鶴」のうち「辰美継」「八重美福」の2頭は第11全共第8区若雄後代検定牛群の審査結果を待って選抜される。

<県有種雄牛の情報発信>

「岩手県有種雄牛産子市場成績」および「たねやま種雄牛だより」を毎月発行し、ホームページへの公開と家畜市場等での配布を行った。また、毎月の市場開催日に生産者からの要望に応え、育種価情報の提供や交配に関する相談に応じた。

(7) 県北農業研究所

園芸研究室

県北・沿岸地域の立地特性を活用した園芸作物の安定生産技術の確立に向け、野菜では試験研究要望課題に対応して、主要品目のほうれんそうについては、ウリハムシモドキ、アザミウマ類など多様な害虫の発生に応じた防除薬剤の検討及び、軽労生産システムの確立に向けた研究に継続して取り組んだ。また、生食用の露地栽培法について、初夏どりと秋どりの二つの作型における最適な品種と栽植密度や施肥量等について、今年度の試験研究成果として取りまとめた。

露地の主要品目であるキャベツについては、産地の農業改良普及センターからの要望課題に対応して、10月収穫に適する春系品種の選定と、10月収穫に適した栽植密度や施肥量等の栽培法について継続して検討した。また、JA全農いわてからの要望課題に対応して、加工・業務用途向け寒玉キャベツ栽培法の確立に向けた研究を開始し、今年度は加工、業務用に適した品種の選定を行った。

たまねぎ春まき栽培技術については、新規課題「大規模水田経営における簡易地下水水位制御と良質苗・病害虫防除を核とした春まきたまねぎの安定生産技術の開発と実証」に新たに取り組み、今年度は岩手県に適する品種の選定、機械移植に適する448穴ポットを用いた育苗技術の検討、ネギアザミウマを主体とする病害虫防除対策等について検討した。

水稲育苗プールを利用したミズナ、コマツナ、ミニチンゲンサイ等葉菜類の水耕栽培の試験を継続し、出荷規格に適する品質での生産が可能であることが現地試験も含めて明らかになり、簡易な栽培方法の検討や収益性についても検討を行った。

花きについては、リンドウ新品種の育成に技術部野菜花き研究室と連携して取り組み、花が大きく、上位葉の着生角度が鋭角で草姿が良い秋の彼岸需要向け品種「いわてLB-5号」「いわてLB-6号」を共同で育成した。また、リンドウ極早生品種の株養成技術として、全莖収穫後のジベレリン処理について、場内と九戸村の現地圃場において検討を継続した。

これらの研究の過程で、ほうれんそうでは園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会や、普及センターやJAの研修会に積極的に参画し、成果作成に役立てるとともに迅速な普及を図った。また、八幡平、久慈、二戸農業改良普及センターの野菜担当者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、研究課題や地域課題とその解決策について共有を図った。

作物研究室

平成 26 年度から実施している「雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発」については、アワ EMS 突然変異集団 (M5、M4) 及び広島県立大のアワ遺伝資源の形質評価と選抜等を行った。突然変異系統については合計 256 系統から、短稈系統などの有望系統を選抜した。しなのつぶ姫/ゆいこがねの F₃ 集団 897 系統からも個体選抜を実施した。県北研で作成した F₂ 集団から生工研センターで QTL-seq 解析等により短稈遺伝子について解析中。広島県立大のアワ遺伝資源のなかから、玄穀の黄色度 (b*値) の高い系統が 4 系統見いだされたので、今後活用法を検討する。栽培に関する課題では乗用型の水稲用ポット苗田植機の改良を実施し、作業能率等を明らかにした (H28 研究成果)。

農産部門依存から多角化を図ろうとする営農組織を対象に、「県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成」に取り組み、乾田直播の実施およびダイズの多収試験を実施した。乾田直については 3 年連続水田等で雑草が多く、除草剤使用回数の低減等さらなる低コスト・省力化が課題である。大豆については、雑草制御技術については改善が図られたが、全体収量は 120 kg/10a 程度に止まったため、次年度は害虫防除等に改善を加える予定。

H27 から取り組んでいる「大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築」については、難防除雑草であるアレチウリの発生実態を調査した。また、大豆ほ場内のアレチウリは 4 葉までは条間・株間除草機によって効率良く除草できることを明らかにした。また、センキュウに対して条間・株間除草による除草試験を行い、早期からの除草が可能で手取り除草労力を大幅に低減可能であることや、生産物の品質・収量に影響が無いことを明らかにした。トウキは 7 月までは機械除草の実施は困難であり、センキュウとは異なった体系が必要であることが明らかとなった。条間・株間除草機の適用可否判断指標の作成に向けてフォーステージによる引抜抵抗値と除草作業による損傷程度について検討を実施し、引抜抵抗値が 1 kg f を越えると損傷程度が低いことが明らかとなった。

また、今年度より「トウキの生産拡大のための技術開発」に取り組み、トウキの露地育苗において、水稲育苗培土の覆土利用により除草労力が大幅に低減することや、野菜の掘取機の適用によりトウキ苗の掘取労力を軽減できることが明らかとなった。

雑穀の原種生産については、キビ 1 系統、ヒエ 2 系統について採種を行った。昨年多発したヒエの黒穂病の発生を低減させるため、雨除け条件で採種したところ発生率は大幅に低減された。数年おきに実施している水稲品種かけはしの原種生産を行い、今年度は原々種生産も実施した。水稲、小麦、大豆の奨励品種決定調査を実施し、供試した系統の特性を把握した。このなかで水稲のふ系糯 234 号、岩手 122 号については成果として提案し (H28 研究成果)、栽培法についても試験も開始した。また、水稲の作況調査・作柄解析を実施し、本部作物研究室との連名で成果情報を提供した (H28 研究成果)。

また、八幡平、久慈、二戸農業改良普及センターの作物担当者との間でラウンドテーブルをそれぞれ開催し、研究課題や地域課題とその解決方策について共有を図り、各種研修会等へも積極的に参加した。また、INS いわて雑穀研究会を通じて雑穀に関する情報提供を随時行った。

4 平成28年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	総課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		農業構造・経営管理	水稻	畑作物	果樹	野菜	花き	作業技術	生産環境	土壌作物栄養	病害虫制御	乳用牛	肉用牛	中小家畜(豚・鶏)	草地・飼料作物	畜産環境	県北農業振興	震災復興
プロジェクト推進室	13	0	2	0	0	0	0	7	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
企画管理部	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業経営研究室	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
技術部	118	0	38	9	32	18	8	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	7
果樹研究室	38	0	0	0	32	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
作物研究室	47	0	38	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野菜花き研究室	26	0	0	0	0	15	8	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
南部園芸研究室	7	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
環境部	31	0	0	1	1	1	3	0	4	9	11	0	0	0	0	0	0	1
生産環境研究室	15	0	0	1	0	0	1	0	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0
病理昆虫研究室	16	0	0	0	1	1	2	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	1
畜産研究所	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5	3	5	0	0	0
家畜育種研究室	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	3	0	0	0	0
家畜飼養・飼料研究室	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	0
外山畜産研究室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種山畜産研究室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県北農業研究所	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0
園芸研究室	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0
作物研究室	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
総計	204	4	40	10	33	19	11	7	4	14	16	6	5	3	5	0	19	8

※1 複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上

2 複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上

3 細目課題のない課題は小課題を計上

(2) 試験研究課題一覧

凡 例

- ・主査: 小課題の主査研究室
- ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に()表記
- ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1~4まで各桁毎の表記
- ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
- ・予算区分: 国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
- ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
【プロジェクト推進室】						
プロジェクト	1	(H25-11)中小区画土地利用型営農技術の実証研究	H25	H29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-1000)分散する小規模水田における省力・低コスト栽培技術の実証	H25	H29	独法委託	プロジェクト/生産環境/作物(技術)
プロジェクト		(H25-11-2000)ソバなど省力的な土地利用型作物の安定生産技術の実証	H25	H29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-3000)中山間水田における畦畔法面の省力管理技術の実証研究	H25	H29	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H25-11-4000)加工ブランドに適した稲、大豆の新品種の導入と高品質栽培技術の実証	H25	H29	独法委託	作物(技術)
プロジェクト	2	(H26-12)岩手県における鉄コーティング種子の無代かき灌水直播栽培方の確立	H26	H28	民間委託	プロジェクト
プロジェクト	3	(H27-01)岩手県における水稲鉄コーティング湛水直播の安定栽培技術体系の確立	H27	H29	県単研究	プロジェクト/作物(技術)/生産環境/病理昆虫
プロジェクト		(H27-01-1000)安定生産を実現する栽培管理技術の確立	H27	H29	県単研究	プロジェクト/作物(技術)/生産環境
プロジェクト		(H27-01-2000)鉄コーティング湛水直播栽培における病害虫防除技術の確立	H27	H29	県単研究	病理昆虫
【農業経営研究室】						
農業経営	4	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	H21	H30	県単研究	農業経営
農業経営	5	(H24-02)沿岸地域農業の復興に向けた新たなビジネスモデルの構築	H24	H28	県単研究	農業経営
農業経営	6	(H25-15) 農業経営における先端技術導入効果の解明	H25	H29	独法委託	農業経営
農業経営	7	(H27-02)元気な地域農業推進のための農業経営モデルと地域営農システム構築方策の提示	H27	H30	県単研究	農業経営
【技術部果樹研究室】						
果樹	8	(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹		(826-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹	9	(829)キャンベル・紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	H14	H30	独法委託, 令達	果樹
果樹		(829-1000)寒冷地向きぶどうの系統適応性試験	H14	H28	独法委託	果樹
果樹		(829-1400)第12回系統適応性検定試験	H20	H28	独法委託	果樹
果樹		(829-1500)第13回系統適応性検定試験	H22	H28	独法委託	果樹
果樹		(829-1600)第14回系統適応性検定試験	H29	H30	独法委託	果樹
果樹		(829-2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜(生食用、醸造、兼用種等品種の選抜)	H14	H30	令達	果樹
果樹		(829-3000)耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹		(829-4000)選抜品種の安定生産技術の確立	H27	H30	県単研究	果樹
果樹		(829-5000)国内外育成醸造用品種の選抜	H29	H30	県単研究	果樹
果樹	10	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発	H14	H30	令達	果樹
果樹		(830-2000)国内外導入品種の選抜	H14	H30	令達	果樹
果樹	11	(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発	H14	H30	令達	果樹
果樹		(837-1000)国内外導入品種の選抜	H14	H30	令達	果樹

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
果樹	12	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	H14	H30	民間委託	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	H14	H30	民間委託	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	H14	H30	民間委託	果樹
果樹	13	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	H14	H30	県単研究	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	H14	H30	県単研究	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	H14	H30	県単研究	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	H14	H30	県単研究	果樹
果樹		(851-4000)りんごの開花期等生育予測システムの開発	H28	H28	県単研究	果樹
果樹	14	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	H14	H30	令達	果樹
果樹	15	(H21-05)つがる等に優るりんご早生品種の開発	21	H30	令達	果樹
果樹	16	(H22-04)ハダニ類を主体としたリンゴ病害虫防除体系の最適化	H22	H28	国庫補助	果樹
果樹		(H22-04-1000)夏期の防除体系の最適化	H22	H28	国庫補助	病理昆虫
果樹		(H22-04-3000)ナミハダニ薬剤抵抗性個体群の動態把握	26	H28	国庫補助	病理昆虫
果樹		(H22-04-4000)枝幹害虫防除のための薬剤散布条件の解明	H27	H28	国庫補助	果樹
果樹	17	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	23	H28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	23	H28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	23	H28	県単研究	果樹
果樹	18	(H23-04)ぶどうオリジナル品種の安定生産技術の確立	23	H30	県単研究	果樹
果樹		(H23-04-2000)短梢栽培用平棚を利用した栽培方法の確立	23	H30	県単研究	果樹
果樹	19	(H24-16)果樹生産のための省力・軽労化機器の開発	24	H28	独法委託	果樹
果樹		(H24-16-2000)小型幹周草刈機の抑草効果と樹体に及ぼす影響評価	24	H28	独法委託	果樹
果樹	20	(H25-13)ブランド化を促進する果実の生産加工技術の実証研究	25	H29	国庫委託	果樹/生産環境
果樹		(H25-13-1000)リンゴ産地の早期再生をはかる早期成園化・品質向上技術の実証	25	H29	国庫委託	果樹
果樹		(H25-13-2000)「北限のユズ」の加工利用を推進する安定生産技術の実証と商品開発	25	H29	国庫委託	果樹/生産環境
果樹		(H25-13-3000)ブドウ新品種の導入による新たな加工品開発	25	H29	国庫委託	果樹
果樹	21	(H26-15)りんごのわい化栽培における早期収・省力化を目指した栽培法の確立	26	40	県単・独法委託	果樹
果樹		(H26-15-2000)均質なフェザー苗を確保するための育成技術及び幼木管理技術の確立	H28	H30	国庫委託	果樹
果樹	22	(H26-22)りんごの変形果の発生原因と品種(系統)間差の関係の解明	H27	H29	独法委託	果樹
果樹	23	(H27-24)「JM7」台木利用樹の樹勢衰弱発生要因の解明	H27	33	県単	果樹
果樹		(H27-24-1000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の現地実態調査	H27	H28	県単	果樹
果樹		(H27-24-2000)「JM7」台木利用樹衰弱症状の再現性の検証	H27	H30	県単	果樹
果樹		(H27-24-3000)結果期における「JM7」台木と他わい性台木の耐水性	H28	33	県単	果樹
【技術部作物研究室】						
作物(技術)	24	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	H14	H30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	H14	H30	民間委託	作物(技術)
作物(技術)	25	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	H14	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	26	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)	27	(891)畑作物原々種・原種生産	H14	H30	県単採種	作物(技術)

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)	28	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	H19	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県東地域)	H19	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H19	H30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	H19	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	29	(H19-13)麦類奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	H26	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県東地域)	H26	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	H26	H30	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	H26	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)	30	(H22-rb01)主食用米等品種の育成(コシヒカリを超える米)	S59	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-1000)交配母本評価と交配	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-2000)初期世代養成	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-3000)個体選抜	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4000)系統選抜	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5000)生産力検定	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6000)特性検定試験	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-7000)DNAマーカー等先端技術利用	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-8000)育成系統採種	S63	H30	令達	作物(技術)
作物(技術)	31	(H26-19)耐冷性やいもち病を強化した東北オリジナル業務・加工多収品種開発、耐冷性検定、直播生産力検定	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-1000)直播適応性検定	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-19-2000)耐冷性検定	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	32	(H26-21)実需者ニーズに応じた加工適性と広域適応性を持つ大豆品種等の開発	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-21-1000)東北・北陸地域に適した広域適応品種の開発と密植栽培技術の開発・有望系統の晩播密植栽培による大規模現地実証	H26	H30	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H26-21-2000)病虫害抵抗性を強化した安定多収大豆品種の開発を支える基盤技術の開発・有望系統の立枯性病害抵抗性評価	H25	H29	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	33	(H27-03)東北地域中北部やませ地帯向け耐倒伏性強の飼料用米品種の共同育成	H27	H31	県単研究	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(H27-03-3000)個体選抜	H27	H31	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-4000)系統選抜	H27	H31	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-5000)生産力検定試験	H27	H31	県単研究	作物(技術)/作物(県北)
作物(技術)		(H27-03-6000)特性検定試験	H27	H31	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(H27-03-8000)育成系統採種	H27	H31	県単研究	作物(技術)
作物(技術)	34	(H27-04)極良食味新品種の食味・品質の高位平準化に向けた栽培条件の解明	H27	H28	令達	作物(技術)/生産環境
作物(技術)		(H27-04-1000)極良食味新品種の食味関連成分の最適範囲の解明と変動把握	H27	H28	令達	作物(技術)
作物(技術)		(H27-04-2000)極良食味新品種の食味特性を発揮するための施肥基準の策定	H27	H28	令達	生産環境
作物(技術)		(H27-04-3000)極良食味新品種の生育指標の策定	H29	H30	令達	作物(技術)/生産環境
作物(技術)	35	(H27-21)ゲノム育種により有用形質を集積した水稻低コスト生産技術の確立と適地拡大	H27	H29	国庫委託	作物(技術)/生産環境/作物(県北)
作物(技術)		(H27-21-1000)水稻品種「スーパーひとめぼれ」の集積形質を発揮する栽培技術の確立	H27	H29	国庫委託	作物(技術)/生産環境/作物(県北)
作物(技術)		(H27-21-2000)「高度耐冷性・早生スーパーひとめぼれ」系統の育成	H27	H29	国庫委託	作物(技術)/生産環境/作物(県北)
作物(技術)		(H27-21-3000)早生出穂性準同質遺伝子系統および育成系統の東北北部での適応性と直播適性評価	H27	H29	国庫委託	作物(技術)/生産環境/作物(県北)
作物(技術)	36	(H27-22)「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明	H27	H29	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-22-1000)RILsの形質評価	H27	H29	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H27-22-2000)準同質遺伝子系統の作出	H27	H29	国庫委託	作物(技術)

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)	37	(H28-01)オリジナル水稲品種岩手107号の品種特性を活かす栽培方法の確立	H28	H29	県単研究	作物(技術)/生産環境/病理昆虫
作物(技術)		(H28-01-1000)オリジナル水稲品種岩手107号の良食味を発揮させる栽培方法の確立	H28	H29	県単研究	作物(技術)/生産環境
作物(技術)		(H28-01-2000)オリジナル水稲品種岩手107号の品種特性を利用した防除体系の確立	H28	H29	県単研究	病理昆虫
作物(技術)	38	(61)水稲原々種生産	SH29	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	39	(62)水稲原種生産	SH29	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	40	(803)水稲奨励品種決定調査	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1000)予備調査	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2000)本調査	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-3000)現地調査	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-4000)有望系統の栽培法	H14	H30	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	41	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1000)水稲作況調査	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	H14	H30	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	H14	H30	県単研究	作物(技術)
【技術部野菜花き研究室】						
野菜花き	42	(191)りんどうの品種育成	S49	H31	令達	野菜花き/園芸研究室
野菜花き		(191-1000)リンドウの品種開発	S49	H29	令達	野菜花き
野菜花き		(191-2000)親株の安定生産と栄養系品種の維持・増殖	S49	H29	令達	野菜花き
野菜花き		(191-3000)鉢花用八重咲きリンドウ品種の開発	H28	H31	国庫委託	野菜花き
野菜花き	43	(H28-11)リンドウまだら退色症状の発生原因および発生軽減条件の解明	H28	H30	県単	野菜花き
野菜花き	44	(843)りんどうの生育・生態調査	H14	H30	県単研究	野菜花き
野菜花き	45	(H19-09)温度・日長条件に対するリンドウの生育反応	H19	H28	県単研究	野菜花き
野菜花き	46	(H22-07)リンドウ栽培安定化技術の開発	H22	H31	県単研究	野菜花き/園芸研究室
野菜花き		(H22-07-2000)県育成極早生品種の株養成技術の開発	H22	H29	県単研究	野菜花き/園芸研究室
野菜花き		(H22-07-3000) 県育成早生品種の全茎収穫栽培における株養成技術の開発 (H28～H29)	H28	H31	県単研究	野菜花き
野菜花き	47	(H23-08)長期安定収穫が可能なトマト栽培技術の確立	H23	H29	県単研究/独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-08-2000)肥料利用効率の高い新たな窒素施肥基準の策定	H23	H28	県単研究	生産環境
野菜花き		(H23-08-3000)高温期における草勢管理技術の確立	H24	H29	県単研究/独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-08-4000)3段階芯新栽培様式の確立	H23	H29	県単研究/独法委託	南部園芸
野菜花き	48	(H24-03)長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	H24	H29	独法委託	野菜花き
野菜花き	49	(H24-04)岩手型アスパラガス伏せ込み促成栽培安定生産技術の確立	H24	H29	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H24-04-1000)高温及び低温による休眠打破メカニズムの解明	H24	H29	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H24-04-2000)高温による休眠打破を利用した新作型の確立	H24	H29	県単研究	野菜花き
野菜花き	50	(H24-05)新形質キュウリ安定生産技術の確立	H24	H28	県単	野菜花き
野菜花き		(H24-05-2000)露地栽培における安定生産技術の確立	H26	H28	県単研究	野菜花き
野菜花き	51	(H25-14)ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	H25	H29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-1000)露地キュウリと冬春キャベツによる寒冷地高収益モデルの実証研究	H25	H29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-2000)育苗施設等の高度利用によるパプリカの栽培技術実証研究	H25	H29	国庫委託	野菜花き
野菜花き		(H25-14-3000)省力的なトマト栽培による高収益モデルの実証研究	H25	H29	国庫委託	野菜花き
野菜花き	52	(H26-16)野菜類抵抗性台木による安定生産技術の確立	H26	H31	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H26-16-1000)ピーマン用トウガラシ台木の系統適応性試験	H26	H28	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H26-16-2000)なす用台木品種の系統適応性試験	H29	H31	独法委託	野菜花き

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
野菜花き	53	(H26-17)収穫量の時期別変動が小さいパブリカ安定栽培技術の確立	H26	H29	県単研究	野菜花き
野菜花き	54	(H28-02)きゅうり省力・低コスト栽培技術の確立	H28	H32	国庫委託/県単研究	野菜花き
野菜花き		(H28-02-1000)作業が単純で省力的な栽培技術の確立	H28	H32	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H28-02-2000)多離花性品種を利用した省力栽培技術の確立	H28	H32	国庫委託/県単研究	野菜花き
【技術部南部園芸研究室】						
南部園芸	55	(H25-03)地域適応性の高いいちご系統の選定	H25	H30	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-1000)地域適応性の高い半促成栽培向けいちご系統の選定	H25	H30	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-2000)地域適応性の高い夏秋どり栽培向けいちご系統の選定	H25	H30	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H25-03-4000)種子繁殖型品種の特性把握と栽培法の確立	H28	H30	国庫委託	南部園芸
南部園芸	56	(H25-12)中山間地域における施設園芸技術の実証研究	H25	H29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-1000)中山間立地に適応性の高い低コスト耐候性ハウスの実用化と設置技術の実証	H25	H29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-2000)地域木質資源を活用した低コスト暖房技術の実用化実証	H25	H29	国庫委託	南部園芸
南部園芸		(H25-12-3000)分散する中小規模園芸施設の効率的な管理技術の実用化実証	H25	H29	国庫委託	野菜花き
南部園芸		(H25-12-4000)中山間立地特性に適応した収益性の高い園芸品目の技術実用化総合実証	H25	H29	国庫委託	南部園芸
【環境部生産環境研究室】						
生産環境	57	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	H15	H35	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	58	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	H15	H32	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	H15	H32	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	H15	H32	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	59	(H16-22)新肥料の実用化	H16	H37	民間委託	生産環境
生産環境	60	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	H20	H32	独法委託	生産環境
生産環境	61	(H26-02)補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌の蓄養養分量に及ぼす影響調査	H26	H30	県単研究	生産環境/果樹
生産環境	62	(H27-05)小麦の施肥体系の確立	H27	H29	県単研究	生産環境
生産環境	63	(H27-07)野菜・花きの鮮度保持技術の確立	H27	H31	県単研究	生産環境
生産環境		(H27-07-1000)県産野菜の鮮度保持技術の確立	H27	H28	県単研究	生産環境
生産環境		(H27-07-2000)県産花きの鮮度保持技術の確立	H27	H31	県単研究	生産環境
生産環境	64	(H27-08)雨よけトマトにおける新たな施肥基準の策定	H27	H31	独法委託	生産環境
生産環境		(H27-08-1000)肥料利用効率の高い新たな窒素施肥基準の策定	H27	H31	独法委託	生産環境
生産環境		(H27-08-2000)リン酸・カリ減肥基準の検証	H27	H31	独法委託	生産環境
生産環境	65	(H27-09)りんどう新品種適正施肥量の検証	H27	H31	県単研究	生産環境/野菜花き
生産環境	66	(H28-12)ヒ素のリスクを軽減する水稲栽培管理技術の開発	H28	H29	独法委託	生産環境
【環境部病理昆虫研究室】						
病理昆虫	67	(402)新農薬の効果検定と防除指針作成	H9	H30	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)県北地域	H9	H30	民間委託	園芸(県北)
病理昆虫		(402-4000)環境部	H9	H30	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)技術部	H16	H30	民間委託	果樹
病理昆虫	68	(H09-03)【植物防疫事業研究】	H9	H30	令達	病理昆虫
病理昆虫	69	(H15-28)地域特産物における新防除資材の実用化	H15	H30	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-K001)リンドウ炭疽病	H26	H28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	70	(H23-13)耕種的防除と天敵製剤を組み合わせた果菜類害虫の防除技術の開発	H23	H28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-2000)施設栽培ピーマンにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減技術の開発	H23	H28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-3000)施設栽培トマトにおける防虫ネットを活用した化学合成農薬削減技術の開発	H26	H28	国庫補助	病理昆虫

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
病理昆虫	71	(H25-02)大豆のマメシクイガに対する効率的な防除対策の確立	H25	H28	令達	病理昆虫
病理昆虫	72	(H25-04)りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	H25	H29	県単研究	病理昆虫/野菜花き
病理昆虫		(H25-04-1000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の媒介生物、保毒雑草、保毒微生物の探索	H25	H29	県単研究	病理昆虫
病理昆虫		(H25-04-2000)りんどうこぶ症ウイルス(GKaV)の花粉・種子伝染の確認	H25	H29	県単研究	野菜花き
病理昆虫	73	(H26-01)葉効特性を踏まえた斑点米カメムシ防除体系の検討	H26	H28	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	74	(H28-03)夏秋どりトマト栽培で問題となる青枯病の防除体系確立	H28	H30	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	75	(H28-13)二国間輸出解禁協議の加速化のための病害虫防除対策の確立	H28	H29	独法委託	病理昆虫/果樹
病理昆虫		(H28-13-1000)輸出検疫に対応したモモシクイガ防除対策の確立	H28	H29	独法委託	病理昆虫/果樹
【畜産研究所家畜育種研究室】						
家畜育種	76	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	H30	令達	家畜育種
家畜育種	77	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	H17	H30	令達	家畜育種
家畜育種	78	(H26-03)黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	H26	H30	県単研究	家畜育種
家畜育種	79	(H26-05)ゲノムワイド関連解析による肉用牛改良に有用なDNA マーカーの検出	H26	H30	県単研究	家畜育種
家畜育種	80	(H26-06)南部かしわ母鶏生産用ロードアイランドレッド改良のための交配選抜試験	H26	H29	県単研究	家畜育種
家畜育種	81	(H27-13)SNP情報を利用した牛ゲノム選抜手法の確立	H27	H29	令達	家畜育種(いわて和牛)
家畜育種	82	(H27-14)肥育豚へのサイレージ化発芽粗米給与技術の開発	H27	H31	県単+委託	家畜育種
家畜育種	83	(H28-05)性選別精液活用におけるホルスタイン種経産牛の受胎率向上技術の確立	H28	H30	県単研究	家畜育種/家畜飼養・飼料
家畜育種	84	(H28-06)生産農場におけるパークシャー種豚群の産肉能力向上と肥育期の飼料給与体系の確立	H28	H32	県単研究	家畜育種
【畜産研究所家畜飼養・飼料研究室】						
家畜飼養・飼料	85	(H26-07)初乳給与量等が哺育育成期乳牛の増体とその後の産乳性に及ぼす影響の解明	H26	H29	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	86	(H26-08)飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立	H26	H29	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	87	(H27-15)大規模酪農経営における牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した個体管理省力化技術の確立	H27	H29	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	88	(H27-16)外部支援組織の運営効率化支援システムの確立	H27	H30	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	89	(H27-17)近赤外線等を活用した自給飼料の迅速な成分分析手法の確立	H27	H31	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	90	(H27-19)外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発	H27	H31	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	91	(H27-20)子実トウモロコシサイレージの給与技術の開発	H27	H31	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	92	(H28-07)転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の確立	H28	H30	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	93	(H28-08)除染草地と耕起困難草地における利用開始後の維持管理技術の開発	H28	H29	県単/委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	94	(H28-14)泌乳量の標準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	H28	H32	独法委託	家畜飼養・飼料
【畜産研究所外山畜産研究室】						
外山畜産	95	(H27-18)表層攪拌法および簡易硬盤破砕による草地更新技術の確立	H27	H29	県単研究	外山畜産
外山畜産	96	(H28-09)黒毛和種育成牛における自給サイレージを活用したTMR給与技術の確立	H28	H31	県単研究	外山畜産
【畜産研究所種山畜産研究室】						
種山畜産	97	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	H30	管理運営費	種山畜産
種山畜産	98	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	H1	H30	管理運営費	種山畜産
種山畜産	99	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	H14	H30	管理運営費	種山畜産
【県北農業研究所園芸研究室】						
園芸(県北)	100	(H22-28)温暖化が果樹・野菜等の園芸作物および茶に及ぼす影響評価と適応技術の開発	H22	H29	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)	101	(H26-09)生食用露地ほうれんそう栽培法の確立	H26	H28	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)	102	(H27-10)生食用ほうれんそう軽労生産システムの確立	H27	H29	独法委託	園芸(県北)/農業経営
園芸(県北)		(H27-10-1000)生食用ほうれんそう軽労生産システムの確立	H27	H29	独法委託	園芸(県北)/農業経営
園芸(県北)		(H27-10-2000)ほうれんそう調製機の開発	H27	H29	独法委託	園芸(県北)

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
園芸(県北)	103	(H27-11)多様なほうれんそう害虫の発生に応じた防除対策の確立	H27	H29	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)	104	(H27-12)キャベツ長期安定出荷のための10月収穫作型の確立	H27	H29	県単独	園芸(県北)
園芸(県北)	105	(H28-04)加工・業務用途向けの寒玉キャベツ栽培法の確立	H28	H30	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	106	(H28-15)大規模水田経営における簡易地下水位制御と良質苗・病害虫防除を核とした春まきタマネギの安定生産技術の開発と実証	H28	H30	独法委託	園芸(県北)/プロジェクト推進室/野菜花き/農業経営
園芸(県北)		(H28-15-1000)岩手県に適する品種・系統の提示	H28	H30	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H28-15-2000)排水対策・かん水技術	H28	H30	独法委託	プロジェクト推進室/野菜花き
園芸(県北)		(H28-15-3000)全自動移植機に適する良質苗生産	H28	H30	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H28-15-4000)アザミウマを主体とした病害虫防除体系	H28	H30	独法委託/国庫補助(種苗)	園芸(県北)
園芸(県北)		(H28-15-5000)現地実証と経営評価	H28	H30	独法委託	野菜花き/園芸(県北)/プロジェクト推進室/農業経営
【県北農業研究所作物研究室】						
作物(県北)	107	(H26-10)雑穀の高付加価値化に向けた機能性成分の高い品種育成と低コスト栽培技術の開発	H26	H30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-1000)機能性成分の高い雑穀品種育成	H26	H30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)		(H26-10-3000)作業能率の高い雑穀機械移植栽培法の確立	H27	H30	県単研究	作物(県北)
作物(県北)	108	(H26-11)県北・沿岸地域の生産性・収益性の高い組織営農モデルの育成	H26	H30	県単研究	作物(県北)/園芸(県北)/経営
作物(県北)		(H26-11-1000)寒冷地組織営農における実需ニーズに対応する園芸生産技術の確立	H26	H30	県単研究	園芸(県北)
作物(県北)		(H26-11-3000)組織営農モデルの組み立て実証	H27	H30	県単研究	農業経営/作物(県北)/園芸(県北)
作物(県北)	109	(H27-23)大豆・薬用作物における条間・株間除草機を活用した除草体系の構築	H27	H31	国庫委託	作物(県北)/プロジェクト
作物(県北)		(H27-23-1000)大豆難防除雑草の効果的な除草体系の構築	H27	H31	国庫委託	作物(県北)/プロジェクト
作物(県北)		(H27-23-2000)薬用作物栽培における省力的な除草体系の構築	H27	H31	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)	110	(H28-16)ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	H28	H32	国庫委託	作物(県北)
作物(県北)		(H28-16-1000)ミヤマトウキにおける苗の安定生産技術及び省力栽培体系の確立	H28	H32	国庫委託	作物(県北)

(3) 平成28年度試験研究を要望された課題とその措置一覧

連番	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室	措置区分
1	農産	1	中央農業改良普及センター(県域) 大船渡農業改良普及センター	水稲移植栽培における育苗箱数低減技術の確立	プロジェクト推進室	B,A2
2	農産	2	中央農業改良普及センター(県域)、中央農業改良普及センター(地域)	本県における水稲疎植栽培技術の確立と栄養診断基準の策定	技術部 作物研究室	B,C
3	農産	3	奥州農業改良普及センター	フラッグシップ米として期待される水稲有望系統「岩手118号」の栽培技術の早期確立	技術部 作物研究室	B
4	農産	4	全国農業協同組合連合会岩手県本部	大豆圃場における帰化アサガオ類に有効な除草剤の選定	技術部 作物研究室	B,C
5	園芸	1	中央農業改良普及センター(地域)	りんご品種「紅ロマン」「紅いわて」に対する1-MCP処理のタイミングと効果について	技術部 果樹研究室	B
6	園芸	2	全国農業協同組合連合会岩手県本部	りんご品種別の1-MCP利用技術の開発	技術部 果樹研究室	B,C
7	園芸	3	中央農業改良普及センター(県域)	醸造用ぶどうにおける収量構成要素の解明	技術部 果樹研究室	A1
8	園芸	4	中央農業改良普及センター(県域)	ぶどう苗木の効果的な育成法	技術部 果樹研究室	C
9	園芸	5	全国農業協同組合連合会岩手県本部	りんごの新規人工授粉技術による結実率向上及び省力効果の解明	技術部 果樹研究室	A2,C
10	園芸	6	一関農業改良普及センター	日本なしにおける黒星病の発生生態の解明と防除対策の確立	環境部 病理昆虫研究室	A2
11	園芸	7	岩手県農業村指導士協会宮古支部	果樹(りんご)における土着天敵(カブリダニ類)の利用について	環境部 病理昆虫研究室	B
12	園芸	8	奥州農業改良普及センター	ピーマン大規模経営体(施設栽培50a規模)での省力栽培技術の確立	技術部 野菜花き研究室	D,C
13	園芸	9	中央農業改良普及センター(地域)	露地アスパラガスの効果的な改植方法の確立	技術部 野菜花き研究室	D,C
14	園芸	10	大船渡農業改良普及センター	閉鎖型高設栽培システム(二層ハンモック構造底面給液システム)の栽培管理方法の改善	技術部 南部園芸研究室	A1,B
15	園芸	11	宮古農業改良普及センター	しそ栽培における施肥体系の確立	環境部 生産環境研究室	D
16	園芸	12	奥州農業改良普及センター	トマト土壌伝染性病害の被害程度に応じた総合技術対策の確立	環境部 病理昆虫研究室	D,C
17	園芸	13	宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター	畑わさびの害虫ナトビハムシに対する防除薬剤の適用拡大、登録拡大	環境部 病理昆虫研究室	D
18	園芸	14	宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター	わさび種子の貯蔵、休眠打破方法の開発	県北農業研究所 園芸研究室	C,D
19	園芸	15	中央農業改良普及センター(県域) 奥州農業改良普及センター 一関農業改良普及センター 宮古農業改良普及センター	リンドウ黒斑病の発生生態と効果的な防除対策	環境部 病理昆虫研究室	C,A1
20	畜産	1	宮古農業改良普及センター岩泉普及サブセンター	日本短角種の受精卵採卵・移植から哺育・育成技術の確立	畜産研究所 家畜育種研究室	C,C,A1

連番	部会	部会 No.	要望機関	要望課題名	担当研究室	措置 区分
21	畜産	2	全国農業協同組合連合会岩手県本部	県有種雄牛、現場後代検定牛におけるゲノム解析による有用遺伝子マーカーの検出	畜産研究所 家畜育種研究室	B
22	畜産	3	全国農業協同組合連合会岩手県本部	県有種雄牛、種畜、産子におけるオレイン酸(不飽和脂肪酸)データの蓄積、評価利用	畜産研究所 家畜育種研究室	B

5 共同研究等の推進

(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
中小区画土地利用型営農技術の実証研究	東北農業研究センター(*)	H25～29	中小区画水田における土地利用型作物の安定生産技術び地域の気象条件を生かした加工品開発により収益性の向上を図る実証研究	プロジェクト推進室 農業経営 作物(技術部) 生産環境
技術・経営診断技術開発研究	中央農業研究センター(*)	H25～29	実証研究において現地実証された先端技術の有効性を導入効果について分析し、被災地の農業経営の将来像を改善するとともに、開放型研究拠点(オープンラボ)を整備・運営し、技術展示や情報共有を図る	研究企画室 農業経営
中山間地域における施設園芸技術の実証研究	農林水産省大臣官房参事官(経理)	H25～29	木骨ハウスや木質資源を活用した低コスト暖房、ICT導入による分散施設の効率的な管理などによる、中山間地域に適用性の高い施設園芸技術を構築する実証研究	南部園芸 野菜花き
ブランド化を促進する果実等の生産・加工技術の実証研究(果樹)	農林水産省大臣官房参事官(経理)	H25～29	リンゴの早期成園化技術、北限のユズの栽培技術の構築と加工品開発、ブドウの新品種導入、加工品開発、省力栽培技術などによる、付加価値の高い果実の生産・加工技術を構築する実証研究	果樹
ブランド化を促進する果実等の生産・加工技術の実証研究(野菜)	農林水産省大臣官房参事官(経理)	H25～29	露地キュウリと冬春キャベツによる高収益栽培体系の確立、水稻育苗施設を用いたパプリカの高品質生産技術、省力的なトマト栽培技術などにより収益性の高い新たな営農モデルを構築し、産地ブランド化を目指す実証研究	野菜花き

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
実需者等のニーズに応じた加工適性と広域適性を持つ大豆品種等の開発	次世代作物開発研究センター(*)	H26～30	大豆有望系統の黒根腐病に対する抵抗性の判定	作物(技術部)
生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発委託事業	中央農業総合研究センター(*)	H27～31	野菜(トマト)作における土壌可給態窒素の簡易測定に基づく適正施肥技術の開発	生産環境(環境部)
栄養取量の高い国産飼料の低コスト生産・利用技術の開発	畜産研究部門(*)	H27～31	外部支援組織への不耕起栽培導入に向けた実用技術の開発 トウモロコシ子実サイレージの給与技術の開発	家畜飼養・飼料(畜産研究所)
耕畜連携の強化による飼料コスト低減化技術の現地実証	東北農業研究センター(*)	H28-30	フェストロリウムによる牧草生産性向上技術の実証	家畜飼養・飼料
乳用牛の健全性向上のための泌乳平準化技術の開発	北海道農業研究センター(*)	H28-32	泌乳平準化を健全性と乳量生産、省力化を両立させる技術として実証する。	家畜飼養・飼料
除染後農地の省力的維持管理技術の開発	東北農業研究センター(*)	H27～29	除染草地におけるカリ施肥が牧草中放射性セシウム濃度とミネラルバランスに与える影響の調査	家畜飼養・飼料
黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	畜産研究部門(*)	H28-32	黒毛和種肥育牛の出荷月齢を26か月まで短縮する飼料給与体系を確立する。	家畜育種研究室
パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質・高付加価値化技術の開発	畜産研究部門(*)	H28-30	飼料用米の活用による豚肉の差別化技術の開発	家畜育種研究室
多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発	中央農業総合研究センター(*)	H27～31	薬用作物栽培における雑草管理の安定化と軽労化	作物(県北研)
農林業に係る気候変動の影響評価	(国研)農業環境技術研究所	H25～29	温暖化が野菜生産に及ぼす影響評価(ホウレンソウ生育・遮光管理法高温影響評価)	園芸(県北研)

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(3)農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業(委託)

課題名	共同研究機関 (筆頭が中核機関)	研究期間	研究の内容	担当研究室
ゲノム育種により有用形質を集積した水稲品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大	(公財)岩手生物工学研究センター、国立大学法人岩手大学、福島県、沖縄県農業研究センター、(地独)青森県産業技術センター ※岩手県農業研究センターが中核機関	H27～29	「スーパーひとめぼれ」について、岩手、青森、福島、沖縄での栽培試験・特性検定を経て、良食味かつ低コスト栽培の現地実証試験を行う。ゲノム育種により、「高度耐冷性・早生スーパーひとめぼれ」系統を迅速に育成し、東北北部における栽培試験(移植・直播)を行い、広域栽培・作期分散のための適応性を解明する。	作物(技術部) 作物(県北研)
「ひとめぼれ」大規模交配集団を用いた有用遺伝子単離と遺伝子相互作用解明	(公財)岩手生物工学研究センター	H27～29	大規模RILsの形質評価と準同質遺伝子系統作出のうち、(1)「RILsの形質評価」において、RILs 3,078系統の形質評価を行う。(2)「準同質遺伝子系統の作出」において、目的の形質を持つ系統(RIL)と「ひとめぼれ」の交配を行う。	作物(技術部)
新規育種技術を活用した需要拡大のためのリンドウ品種の開発	(公財)岩手生物工学研究センター、八幡平市、国立大学法人岩手大学	H28～31	「新奇性の高いリンドウの育成」のうち、「八重咲きリンドウの育成」において、選抜したF2八重咲き系統の特性評価を行う。また、八重咲きのF1個体やF2個体を用いて未受精胚珠培養等を行い、八重咲き品種候補を育成する。	野菜花き
耐冷性やいもち病を強化した東北オリジナル業務・加工用多収品種の開発	東北農業研究センター(*), (地独)青森産技セ, 秋田農総試, 山形農総セ, 福島農総セ	H26～30	(1)「地域適応性検定、岩手県(直播)では鉄コーティング・湛水表面直播検定技術を開発し、育成系統の直播適性を評価 (2)「東北地域耐冷性新基準品種」を用いて育成系統の評価を行う。	作物(技術部)
地域資源を活かし、気候変動に対応したブドウ新品種の早期育成と気候変動影響評価(ブドウ系適)	果樹茶業研究部門(*), 山梨県, 福岡県, 愛媛県農林水産研究所, 鹿児島県農業開発総合センター	H26～30	(1)選抜系統「山梨48号」の岩手県(東北地域)における地域適応性の解明において、試験栽培により選抜系統の特性評価を行う。 (2)新規需要を生み出す優良赤ワイン系統の選抜において、岩手県内実需者と共に選抜系統のワイン品質および岩手県への適応性評価を行う。	果樹
【地域戦略プロ】自給飼料を活用した豚肉・鶏肉・鶏卵の差別化および低コスト生産技術の開発	畜産研究部門(*), 食品研究部門(*), 中央農業研究センター(*), 山形県農業総合研究センター養豚試験場、岩手県農業研究センター畜産研究所、株式会社フリーデン、長野県畜産試験場、岐阜県畜産研究所、日本大学生物資源科学部、国立大学法人新潟大学、愛知県農業総合試験場、徳島県農林水産総合技術支援センター、千葉県畜産総合研究センター、山梨県畜産試験場、国立大学法人東京農工大学、福岡県農林業総合試験場	H28～30	パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付加価値化技術の開発	畜産研究所 家畜育種研究室

課題名	共同研究機関 (筆頭が中核機関)	研究期間	研究の内容	担当研究室
【地域戦略プロ】耕畜連携の強化による飼料コスト低減技術の現地実証	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター 地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所 岩手県農業研究センター畜産研究所 秋田県畜産試験場山形県農業総合研究センター畜産試験場 株式会社大竹製作所青森県畜産課(協力機関) 岩手県中央農業改良普及センター(協力機関) 秋田県農林水産部農林政策課(協力機関) 山形県村山総合支庁産業経済部北村山農業技術普及課(協力機関)	H28～30	転作田におけるフェストロリウムの適応性確認と採草・放牧利用技術の確立	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室
【先導プロ】黒毛和種の低コストで良質な牛肉生産のための早期肥育技術の開発	国立研究開発法人農研機構 畜産研究部門 国立研究開発法人農研機構 西日本農業研究センター 国立研究開発法人農研機構 九州沖縄農業研究センター 独立行政法人家畜改良センター 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 岩手県農業研究センター畜産研究所 宮城県畜産試験場 秋田県畜産試験場 富山県農林水産総合技術センター畜産研究所 群馬県畜産試験場 島根県畜産技術センター 大分県農林水産研究指導センター畜産研究部 長崎県農林技術開発センター 国立大学法人北海道大学 国立大学法人東北大学 国立大学法人京都大学	H28～32	黒毛和種肥育期間短縮のための素牛育成期を含めた飼料給与体系の確立	畜産研究所家畜育種研究室
【先導プロ】泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上	北海道農業研究センター(*)、畜産研究部門(*)、動物衛生研究部門、独立行政法人家畜改良センター、愛知県、茨城県畜産センター、岩手県農業研究センター、岡山県農林水産総合センター、岐阜県畜産研究所、熊本県、埼玉県、島根県畜産技術センター、千葉県、徳島県、富山県、新潟県農業総合研究所畜産研究センター、福井県畜産試験場、三重県、宮城県畜産試験場、宮崎県畜産試験場	H28～32	泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上技術の開発	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(4) 研究成果最適展開支援事業((国県)科学技術振興機構、委託)

課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
(育成研究) 長日要求性素材と遺伝子解析を応用したアブラナ科(ハクサイ)極晩抽性実用品種の開発	東北農業研究センター(*)、岩手大学、サカタのタネ	H24～29	選抜系統の優良F ₁ 組合わせを用いた新作型の開発	野菜花き

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(5) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
受託研究	次世代作物開発研究センター(*)	H23～30	育成地等からの麦類育成系統の耐寒雪性圃場検定	作物(技術部)
受託研究	果樹茶業研究部門(*)	H23～30	ブドウ育種試験に係る系統適応性・特性検定試験	果樹(技術部)
受託研究	野菜花き研究部門(*)	H26～28	トウガラシの系統、トウガラシ安濃交3号の寒冷地適応性評価	野菜花き(技術部)
受託研究	農業技術革新工学研究センター(*)	H25～28	小型幹周草刈機のわい化リンゴ園での実証試験	果樹
受託研究	農業技術革新工学研究センター(*)	H26～28	軟弱野菜(ホウレンソウ)の高エネルギー調製機の現地試験	園芸(県北研)
受託研究	農業技術革新工学研究センター(*)	H26～28	不耕起トウモロコシ播種機の現地適応試験	家畜飼養・飼料
受託研究	果樹茶業研究部門(*)	H28～	リンゴのモモシクイガ対策として交信攪乱剤等を使用した新たな輸出対応型防除体系の提示	病理昆虫
受託研究	果樹茶業研究部門(*)	H28～	各地域に適したリンゴ早期成園化技術の実証	果樹
受託研究	東北農業研究センター(*)	H28～30	東北の水田地域への春まきタマネギを核とした野菜作の導入と実証	園芸(県北研)、プロジェクト推進室、野菜花き、農業経営
受託研究	三重県農業研究所	H28～30	種子繁殖型イチゴ品種『よつぼし』の全国展開に向けた省力栽培体系とICTによる生産者ネットワークの確立	南部園芸
受託研究	(国研)農業環境技術研究所	H28～	寒冷地のグライ大地土における水管理による玄米ヒ素濃度低減技術の実証	生産環境
受託研究	野菜花き研究部門(*)	H28～	切り花の採花後低品質管理技術の開発	生産環境
受託研究	種苗管理センター(*)	H28～	実施出願品種栽培試験事業(水稲品種「kajin」)	作物(技術部)
受託研究	西日本農業研究センター(*)	H28～	薬用作物(トウキ)の生産拡大のための技術開発	作物(県北研)
受託研究	日本中央競馬会	H28～30	急傾斜草地利用再開技術確立調査	外山畜産
受託研究	東北農政局	H27～	農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	生産環境(環境部)

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(6) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(一社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	作物(技術部)、果樹、家畜飼養・飼料、作物(県北研)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物)水稲、水稲(育苗)、小麦、大豆、りんご、トマト、ピーマン、キャベツ、ほうれんそう、小松菜、園芸(育苗)	プロジェクト推進室、果樹、作物(技術部)、野菜花き、生産環境、園芸(県北研)
大規模水田営農を支える省力・低コスト技術の確立	農食産業技術振興協会(新稲作研究会)	多様なほ場条件に対応した鉄コーティング種子の無代かき湛水直播栽培技術の確立	プロジェクト推進室
耕起困難草地等利用利用開発技術確立調査	日本草地畜産種子協会	傾斜地等の耕起困難草地の利用再開を図るため、放射性セシウムが自然低下した草地での蹄耕法による植生回復技術を実証する。	外山畜産、家畜飼養・飼料

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
ホップ生産における病害虫防除に関する試験	ビール酒造組合	ホップ病害虫の発生生態解明およびその防除技術の確立	病理昆虫
水稲の密苗(高密度播種・短期育苗)栽培技術の実証試験	ヤンマー(株)	水稲の密苗(高密度播種・短期育苗)栽培の生育調査、坪刈収量調査、品質調査	プロジェクト推進室

(7) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲における重要形質のゲノム育種法の開発	ゲノム育種研究部	H26～30	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稲品種の育成	作物(技術部)
リンドウ優良品種育成支援技術の開発 リンドウの安定生産に寄与する生理・生態の解明	園芸資源研究部 (育種栽培技術開発チーム)	H26～30	純系や倍数性を利用した育種技術及びDNAマーカーの開発と新品種育成への応用 越冬性向上や生育調節に係る技術開発及び難培養性系統の培養増殖法開発	野菜花き
現場ニーズに対応した実践的植物病害防除技術の開発	園芸資源研究部 (植物病態分子研究チーム)	H26～30	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)とこぶ症発症との因果関係の解明 分子生物学的な病害虫診断技術を利用した新たな病害虫防除システムの構築	病理昆虫 野菜花き
農林水産物の機能成分解明と活用	生物資源研究部	H26～30	雑穀の在来系統群から抽出した機能成分の同定と評価及び高付加価値を有する雑穀オリジナル品種の育成	作物(県北研)

(8) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	H6～	果樹
県産小麦品種の加工特性評価	工業技術センター	H7～	作物(技術部)

(9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会

ア 研究会

名称	構成	研究期間	担当研究室
1 岩手育種談話会	◎岩手大学農学部・教育学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、岩手生物工学研究センター	H10～	作物(技術部)
2 水稲栽培研究会	◎岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	H11～	作物(技術部)
3 イワテヤマナシ研究会	◎神戸大学大学院農学研究科、岩手大学農学部・教育学部、岩手県農業研究センターほか	H24～	果樹
4 リンドウ研究会	◎岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、八幡平市花き研究開発センター	H11～	野菜花き

※平成24年度協議会(11/16)において継続活動実績のある研究会に整理することを承認。これを受けて当センター職員が参加している研究会のみを掲載した。

イ AFR協議会等の開催

開催月日	場所	内容
(なし)		

(10) FAMS(動物医学食品安全教育研究センター)

開催月日	場所	内容
(なし)		

(11) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
肉用牛における経済形質とDNAマーカーの連鎖解析	(社)畜産技術協会	H13～	岩手県種雄牛の約300頭からなる半きょうだい家系を作成し、DNAマーカーによる連鎖解析を行い、経済形質遺伝子座を明らかにする。また、遺伝的不良形質について、500頭程度の半きょうだいサンプルを追加、原因領域に新たなマーカーの追加等を行い原因となる遺伝子座を明らかにする。	家畜育種
性選別精液活用におけるホルスタイン種経産牛の受胎率向上技術の確立	(一社)家畜改良事業団	H28～30	性選別精液によるホルスタイン種経産牛の受胎率は、34.7%と低く、精液を子宮角深部に注入すると受胎率が向上するとされている。しかし、深部注入の場合の授精適期が明らかになっていないことから、発情発見装置を用いて、より高い受胎率が得られる授精のタイミングを明らかにする。	家畜育種
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	H14～	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター(*)、(地独)青森県産業技術センター、宮城県農業・園芸総合研究所、山形県	H28～30	選抜初期世代から東北各地域における適応性を検定し、安定生産を可能にする寒冷地向けイチゴ品種の育成の効率化を実現する。	南部園芸
「ナンブコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	東北農業研究センター(*)	H27～29	「ナンブコムギ」に縞萎縮病耐病性を付与した系統の育成	作物(技術部)
シードル向きリンゴ品種・系統の選抜と省力・高収量栽培に関する予備研究	果樹茶業研究部門(*)	H27～	加工向けリンゴ新品種・系統の省力化技術の検討	果樹(技術部)

* (国立研究開発法人)農業・食品産業技術総合研究機構

(12) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
第1回 いわて産学官連携推進協議会会議	28.6.29	盛岡市 (岩手大学地域連携推進センター)	平成27年度活動報告および平成28年度事業計画について	研究企画室

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 ゲノム育種により有用形質を集積した水稻品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大	北上市	二子	技術部 作物
リンゴ育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 矢巾町 奥州市 一関市	金田一 内の沢 煙山 江刺区小倉沢 花泉町金沢	技術部 果樹
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する果実の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市	米崎町 広田町	
「革新技術・緊急展開事業(地域戦略プロ)」 各地域に適したリンゴ早期成園化技術の実証	紫波町 奥州市	長岡 江刺区愛宕	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究	陸前高田市 大槌町	竹駒 高田 小友 大槌	技術部 野菜花き
長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	大船渡市	赤崎	
リンドウ栽培安定化技術の開発 (県育成極早生品種の株養成技術の開発) リンドウまだら退色症状発生軽減	奥州市	衣川区	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 中山間地域における施設園芸技術の実証研究	陸前高田市	米崎町	技術部 南部園芸
地域適応性の高いイチゴ系統の選定	陸前高田市 住田町	横田 下有住	
補給型施肥がりんごの樹体生育と果実品質、土壌蓄積養分に及ぼす影響	滝沢市 花巻市	滝沢 石鳥谷滝田 石鳥谷五大堂	環境部 生産環境
水稻に対するケイ酸質肥料の施用効果の確認	花巻市	石鳥谷	
飼料用米新規肥料の施肥効果確認	花巻市	野田	
大豆における粗粒でんろ石灰の土壌pH矯正と土づくり肥料効果の確認	奥州市	江刺区	
麦一発肥料の肥効確認	紫波町	大巻	
ケイ酸、鉄、マンガン含有肥料によるごま葉枯病抑制効果の確認	陸前高田市	広田	
なすの鮮度保持技術確立	一関市	花泉	
「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」 水稻生産の省力・低コスト化技術の実証	陸前高田市	広田、小友	
鉄コーティング湛水直播栽培における病虫害防除技術の確立	①北上市 ②一関市	①藤根 ②千厩	病理昆虫
オリジナル水稻品種「銀河のしずく」の品種特性を利用した防除体系の確立	紫波町	大巻	
大豆のママシクイガに対する効率的な防除対策の確立	①矢巾町 ②紫波町	①南矢幅 ②犬草	
りんどうこぶ症関連ウイルス(GKaV)の伝搬経路の探索	①八幡平市 ②雫石町	①大石平 ②西安庭	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
新農薬の効果試験と防除指針作成	①奥州市 ②軽米町 ③北上市 ④遠野市 ⑤宮古市 ⑥岩泉町 ⑦八幡平市 ⑧盛岡市 ⑨一関市	①江刺、胆沢 ②山内、小軽米 ③二子 ④土淵 ⑤川井 ⑥門 ⑦安代、松尾 ⑧羽場 ⑨狐禅寺	病理昆虫
生産農場におけるパークシャー種豚群の遺伝的改良システムの構築	岩泉町		畜産研究所 家畜育種
パークシャー種における飼料用米活用による豚肉の高品質化・高付加価値化技術の開発			
飼料用トウモロコシの不耕起栽培の現地実証	一戸町	奥中山	家畜飼養・飼料
飼料畑におけるアレチウリ防除技術の確立	八幡平市	前森	
大規模酪農経営における牛加速度センサー・咀嚼計等を活用した牛群管理技術の確立	一戸町	奥中山	
外部支援組織の運営効率化支援システムの確立	滝沢市、奥州市、金ヶ崎町、 花巻市、西和賀町、一関市		
水田におけるフェストロリウム栽培実証	軽米町 奥州市 宮古市	小軽米 江刺区玉里 田代	
表層攪拌法および簡易硬盤破碎による草地更新技術の確立	滝沢市	姥屋敷	外山畜産
生食用ほうれんそうの軽労生産システムの確立	久慈市	洋野	県北農業研究所 園芸
大規模水田経営における簡易地下水位制御と良質苗・病虫害防除を核とした春まきたまねぎの安定生産技術の開発と実証	花巻市	太田	
寒冷地組織営農における実需ニーズに対応する園芸生産技術の確立	宮古市	山田	
多様なほうれんそう害虫の発生生態と防除対策の確立	野田村	野田	
リンドウ極早生品種の株養成技術	九戸村	長興寺 江刺家	
県北・沿岸地域における低コスト稲作技術の確立	二戸市	金田一	県北農業研究所 作物
県北部における大豆難防除雑草の除草体系の構築	二戸市	金田一	
薬用作物の機械除草体系の確立	軽米町 九戸村	上館 江刺家	
ミヤマトウキの生産拡大のための技術開発	岩手町	江刈内	
水稲奨励品種決定調査(2)本調査②早生系統	九戸村	江刺家	
	九戸村	荒谷	
	久慈市	夏井	
	二戸市	安比	
	軽米町	上館	
	久慈市	宇部町	

Ⅲ 試験研究の成果

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)平成28年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理	0	2	0	0	2
2 水稻	3	3	4	0	10
3 畑作物	0	2	0	0	2
4 作業技術	0	6	1	0	7
5 果樹	0	4	0	1	5
6 野菜	1	2	0	3	6
7 花き	1	2	0	1	4
8 生産環境	0	0	0	0	0
9 土壌作物栄養	0	2	0	0	2
10 病虫害制御	1	6	0	0	7
11 乳用牛	0	0	0	1	1
12 肉用牛	0	2	6	0	8
13 中小家畜(豚・鶏)	0	0	0	0	0
14 草地・飼料作物	1	5	0	1	7
15 畜産環境	0	0	0	0	0
16 県北農業振興	1	1	0	0	2
17 震災復興	0	0	0	0	0
[計]	8	37	11	7	63

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本等に関するもの

(2) 平成28年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
10 病虫害制御	(H28-普-01)	りんご樹体内に食入したヒメボクトウ幼虫の効果的な防除方法	環境部病理昆虫研究室
2 水稲	(H28-普-02)	品種 極良食味の主食用晩生粳水稲「金色の風」	技術部作物研究室
2 水稲	(H28-普-03)	品種 耐倒伏性に優れる早生の飼料用米粳水稲「岩手122号」の育成	技術部作物研究室
2 水稲	(H28-普-04)	品種 切り餅加工適性に優れる早生糯水稲「ふ系糯234号」	県北農業研究所作物研究室
16 県北農業振興	(H28-普-05)	乗用型ポット苗田植機を用いた雑穀の機械移植技術	県北農業研究所作物研究室
6 野菜	(H28-普-06)	パイプハウスを用いたトマト多収化モデル	技術部野菜花き研究室
7 花き	(H28-普-07)	9月中下旬開花の切り花向け青色リンドウF ₁ 品種「いわてLB-5号」及び「いわてLB-6号」の育成	技術部野菜花き研究室
14 草地・飼料作物	(H28-普-08)	飼料用トウモロコシ栽培の不耕起対応高速播種機活用による省力不耕起播種技術	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
7 花き	(H28-指-01)	リンドウ極早生品種「いわて夢あおい」における全茎収穫を可能とする収穫後のジベレリン処理技術	技術部野菜花き研究室
4 作業技術	(H28-指-02)	水稲鉄コーティング点播機用溝装置の開発(追補)	プロジェクト推進室
4 作業技術	(H28-指-03)	常時被覆育苗による乳苗移植栽培の特徴	プロジェクト推進室
4 作業技術	(H28-指-04)	「つぶゆたか」の鉄コーティング湛水直播による飼料用米安定生産のための生育指標と栽培法	プロジェクト推進室
4 作業技術	(H28-指-05)	「ひとめぼれ」の鉄コーティング湛水直播による良質米安定生産のための生育指標と栽培法	プロジェクト推進室
4 作業技術	(H28-指-06)	無代かき鉄コーティング湛水直播栽培の特徴	プロジェクト推進室
4 作業技術	(H28-指-07)	岩手県中南部における帰化アサガオ類の発生状況と開花結実時期	プロジェクト推進室
1 農業構造・経営管理	(H28-指-08)	沿岸地域における水稲鉄コーティング湛水直播及び大豆栽培技術の導入効果	企画管理部農業経営研究室
3 畑作物	(H28-指-09)	開花直前の摘心による大豆の倒伏軽減効果	技術部作物研究室
2 水稲	(H28-指-10)	平成28年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	技術部作物研究室
3 畑作物	(H28-指-11)	大豆「シュウリュウ」の青立ち発生を抑制するための播種期・栽植密度および裂莢の発生様態	技術部作物研究室
2 水稲	(H28-指-12)	水稲新品種「金色の風」の良食味・高品質安定栽培法	技術部作物研究室
2 水稲	(H28-指-13)	県産他品種と比較した水稲新品種「金色の風」の食味特性	技術部作物研究室
9 土壌作物栄養	(H28-指-14)	水稲鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料の配合	環境部生産環境研究室

分野	成果番号	成果名	担当研究室
9 土壌作物 栄養	(H28-指-15)	水稲跡1～2年目の転換畑での小麦「ゆきちから」の窒素施肥量	環境部生産環境 研究室
10 病虫害 制御	(H28-指-16)	水稲品種「銀河のしずく」のいもち病圃場抵抗性を利用した穂いもち 防除の省略	環境部病理昆虫 研究室
10 病虫害 制御	(H28-指-17)	小麦品種「銀河のちから」におけるコムギ赤かび病の防除回数	環境部病理昆虫 研究室
10 病虫害 制御	(H28-指-18)	ホップベと病・うどんこ病の効果的かつ低コストな防除体系	環境部病理昆虫 研究室
10 病虫害 制御	(H28-指-19)	水稲出穂期以降のアカスジカスミカメ防除対策（追補）	環境部病理昆虫 研究室
1 農業構 造・経営管 理	(H28-指-20)	大規模施設園芸経営における労務管理の方向	企画管理部農業 経営研究室
5 果樹	(H28-指-21)	りんご「岩手7号（紅いわて）」の収穫適期判断（追補）	技術部果樹研究 室
5 果樹	(H28-指-22)	りんご品種「紅ロマン」の品種特性（追補）	技術部果樹研究 室
5 果樹	(H28-指-23)	温度変換日数法によるりんご開花予測の精度向上	技術部果樹研究 室
5 果樹	(H28-指-24)	ユズ既存樹のせん定による樹形改善が収量および収穫効率に与える影 響	技術部果樹研究 室
7 花き	(H28-指-25)	ササリンドウの主塊茎と副塊茎に着目した株の経年推移	技術部野菜花き 研究室
6 野菜	(H28-指-26)	無加温ハウス栽培に適する促成向けいちご品種	技術部南部園芸 研究室
6 野菜	(H28-指-27)	包装形態及び保存温度がなすの品質に及ぼす影響	環境部生産環境 研究室
10 病虫害 制御	(H28-指-28)	りんご園地内で土着天敵を維持し、ハダニ類の密度を低く抑える防除 体系	環境部病理昆虫 研究室
10 病虫害 制御	(H28-指-29)	きくの害虫キクヒメタマバエに対する数種殺虫剤の防除効果	環境部病理昆虫 研究室
16 県北農 業振興	(H28-指-30)	生食用向け露地ほうれんそうの栽培法	県北農業研究所 園芸研究室
14 草地・飼 料作物	(H28-指-31)	飼料用トウモロコシ6～7葉期におけるトプラメゾン処理の雑草防除効 果	畜産研究所家畜 飼養・飼料研究 室
14 草地・飼 料作物	(H28-指-32)	広域コントラクターにおける圃場管理支援システムを活用した飼料用 トウモロコシ収穫作業の効率化	畜産研究所家畜 飼養・飼料研究 室
14 草地・飼 料作物	(H28-指-33)	希塩酸抽出法による粗飼料のミネラル測定	畜産研究所家畜 飼養・飼料研究 室
14 草地・飼 料作物	(H28-指-34)	土壌中交換性カリが改良目標値以下の除染草地における施肥管理	畜産研究所家畜 飼養・飼料研究 室
14 草地・飼 料作物	(H28-指-35)	硬盤破砕と表層攪拌を組み合わせた草地更新技術の確立	畜産研究所外山 畜産研究室

分野	成果番号	成果名	担当研究室
12 肉用牛	(H28-指-36)	日本短角種肥育牛における良好な歩留を確保するための適正な発育指標と飼料給与方法	畜産研究所家畜畜育種研究室
12 肉用牛	(H28-指-37)	黒毛和種肥育期間短縮のための飼料給与体系の確立	畜産研究所家畜畜育種研究室

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
4 作業技術	(H28-行-01)	水稲品種「銀河のしずく」の鉄コーティング湛水直播栽培への適応性	技術部作物研究室
2 水稲	(H28-行-02)	平成29年度水稲奨励品種決定調査予備調査に供試する「岩手127号」「岩手128号」「岩手129号」「岩手130号」「岩手糯131号」	技術部作物研究室
2 水稲	(H28-行-03)	平成29年度水稲奨励品種決定試験本調査・現地調査新規供試系統	技術部作物研究室
2 水稲	(H28-行-04)	平成28年度水稲奨励品種決定試験本調査・現地調査結果(主食用米)	技術部作物研究室
2 水稲	(H28-行-05)	平成28年度水稲奨励品種決定試験本調査・現地調査結果(飼料用米)	技術部作物研究室
12 肉用牛	(H28-行-06)	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	畜産研究所種山畜産研究室
12 肉用牛	(H28-行-07)	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	畜産研究所種山畜産研究室
12 肉用牛	(H28-行-08)	SNP情報を利用した黒毛和種の牛ゲノム育種価の計算とその精度	畜産研究所家畜畜育種研究室
12 肉用牛	(H28-行-09)	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	畜産研究所家畜畜育種研究室
12 肉用牛	(H28-行-10)	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	畜産研究所家畜畜育種研究室
12 肉用牛	(H28-行-11)	日本短角種種雄牛の選抜指数式の改正	畜産研究所家畜畜育種研究室

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
5 果樹	(H28-研-01)	スピードスプレーヤ散布によるりんご枝幹への薬剤到達性判定方法	技術部果樹研究室
6 野菜	(H28-研-02)	簡易養液栽培システムにおけるパブリカ栽培の収量に及ぼす要因の解析	技術部野菜花き研究室
7 花き	(H28-研-03)	リンドウ1年生株における主塊茎の発達と一次副塊茎の形成	技術部野菜花き研究室
6 野菜	(H28-研-04)	いちごの四季成り性品種‘なつあかり’の2年作における収量特性	技術部南部園芸研究室
6 野菜	(H28-研-05)	トマトの長期栽培におけるインタープランティングを利用した作型開発	技術部南部園芸研究室
11 乳用牛	(H28-研-06)	生体センサーを活用した乳牛の行動と疾病のモニタリング	畜産研究所家畜飼養・飼料研究室
14 草地・飼料作物	(H28-研-07)	蹄耕法を活用した耕起困難草地の更新技術の確立	畜産研究所外山畜産研究室

2 追跡評価

○平成28年度追跡評価の概要

(1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

(2) 追跡評価の調査方法

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成9年度から平成25年度までに公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果(1,129成果)

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

- A: (現在でも)有効
- B: 目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)
- C: 後年度の成果に反映(更新)
- D: 無効(Bの概念に含まないもの)

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

- a 平成25年度に公表した「普及」区分の研究成果(13成果)
- b 平成25年度に公表した「指導」区分の研究成果(38成果)

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

(a) 本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果は、自己評価を実施

- ① 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)
※ 農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象
- ② 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)
- ③ いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)
- ④ 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

(b) 上記(a)以外の成果は、成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼

- ① 評価調査による調査: 成果毎に調査対象者*1を定め、評価調査による調査を依頼
※ 調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

- a 評価調査による調査: 成果毎に調査対象者を定め、評価調査による調査を依頼
※ 調査対象は、中央農業改良普及センターの協力を得て選定

(3) 追跡評価の結果

ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

評価区分	成果数
A	930
B	148
C	48
D	3
合計	1129

イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 「普及区分」

a 自己評価

課題名	農家への普及状況	成果活用による効果
(H25-普-01)「製パン適正に優れ穂発芽に強い超強力小麦『銀河のちから』」	A	A
(H25-普-03)「多収、高品質、豆腐加工適正に優れる大豆『シュウリュウ』」	B	B
(H25-普-07)「9月上旬開花の切り花向け青色リンドウF ₁ 品種『いわてLB-3号』」	C	B
(H25-普-08)「9月上中旬開花の切り花向け青色リンドウF ₁ 品種『いわてLB-4号』」	B	B
(H25-普-10)「乾物収量性に優れた飼料用とうもろこし『ロイヤルデントTH875』」	C	B
(H25-普-11)「乾物収量性に優れた飼料用とうもろこし『ゴールデンデントKD550』」	B	B
(H25-普-12)「穎色が濃い大粒品種「キビ岩手糯1号」の育成」	B	B

注1) 農家への普及状況 A(目標の75%)、B(目標の50%から75%)、C(25%から50%)、D(25%未満)、-(目標値なし)

注2) 成果活用による効果 A(大いにあった)、B(あった)、C(あまりなかった)、D(なかった)

b 生産者による評価

課題名	成果の活用
水稲鉄コーティング湛水直播の最適コーティング量と本田初期管理	3.0
多収、高品質、豆腐加工適正に優れる大豆「シュウリュウ」	2.3
りんご「岩手7号(紅いわて)」の収穫適期判断	3.0
アスパラガス伏せ込み促成栽培に適した品種「ウィンデル」の特性	2.0
鶏ふん堆肥に尿素を添加したL型肥料の開発	2.0
土壌くん蒸剤による難防除雑草ゴウシュウアリタソウの防除対策	2.3

注) 成果の活用は「よく活用」を3、「たまに活用」を2、「活用機会がない」を1、「活用できない」を0として加重平均した。

(イ) 「指導区分」

b 病害虫防除所及び農業改良普及センターによる評価

課題名	指導効果等の向上
水稲鉄コーティング種子作製用鉄粉の造粒・発熱特性の比較	2.7
水稲鉄コーティング湛水直播栽培技術の特徴	3.0
平成25年度岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	3.0
岩手県における水稲品種「ひとめぼれ」の疎植栽培の特徴	3.3
平成25年度における水稲品種「いわてっこ」の障害不稔発生の解析	2.0
水田大豆の畦立て栽培に適応できる改良型ディスク式除草機の効果	2.0
大豆小畦立て播種と同じ仕様でできる小麦の単条広幅小畦立て播種栽培	2.0
除草剤ベンタゾン液剤に対する大豆「シュウリュウ」の反応特性および薬害を軽減する散布方法	4.0
平成25年度岩手県産小麦の雨害による品質低下の要因	3.0
平成25年岩手県産大豆の生育経過と特徴	3.0
りんご新品種に対する摘果剤の効果	3.0
りんご品種「はるか」の栽培特性	3.0
ぶどう品種「エーデルロツ」の花穂整形方法と適正着果量	2.0
おうとう品種「紅秀峰」は垣根仕立て栽培への適応性が高い	2.7
良質で多収の四季成り性イチゴ「すずあかね」の特性	3.0
一季成り性イチゴ品種の夏秋栽培における特性と高温対策技術	1.0
リンドウ種子生産におけるリンドウ子房輪紋症ウイルスの伝搬経路と対策	1.7

課題名	指導効果等の向上
県内水田土壌の30年間の施肥管理と化学性の変化	2.0
県内畑土壌の30年間の施肥管理と化学性の変化	2.8
ホウレンソウ白斑病の病原菌と防除薬剤	3.3
転炉スラグを用いた土壌pH改良によるホウレンソウ萎凋病の被害軽減	3.0
だいこんキスジノミハムシ多発ほ場での防除体系	2.7
施設なすにおける天敵製剤と物理的防除を組み合わせたアザミウマ類・ハダニ類の防除効果	1.3
施設ピーマンにおける天敵製剤と物理的防除を組み合わせたアザミウマ類防除効果	2.7
紫外線カットフィルムが施設ピーマンの作付初期に寄生したミカンキイロアザミウマの密度に与える影響	2.3
施設パプリカにおける天敵製剤と物理的防除を組み合わせたアザミウマ類防除効果	1.7
りんご園地におけるヒメボクトウ若齢幼虫の効果的な防除方法	4.0
黒毛和種去勢肥育牛における給与飼料のNFC/DIPと尿石症発症リスクの関連性	2.3
「菊福秀」産子の母方祖父別枝肉成績	3.0
パークシヤ一種の肥育後期(体重70～110kg)における飼料用米配合飼料給与が発育・肉質に及ぼす影響(追補)	1.5
飼料用とうもろこし栽培におけるリン酸の補給型施肥基準	2.0
新播草地における播種翌年の一番草刈取り前のエンノギシギシに対する効果的な除草剤	3.0
草地更新における前植生の土壌混和状況の違いとカリ追肥量が牧草中放射性セシウム濃度へ与える影響	3.3
県内除染後牧草地におけるカリウム施肥による牧草ミネラルバランスへの影響	3.3
雑草発生量の少ない雑穀畑輪作技術	2.0
加工・業務用に求められるM規格のねぎ栽培に適した栽植密度	1.3
県北地域における無側枝性ギク(露地栽培)の窒素施肥量	2.0
大吟醸酒向け水稲品種「結の香」の栽培の目安	3.0

注) 指導効果等の向上は「大いに向上した」を4、「向上した」を3、「あまり向上しなかった」を2、「向上しなかった」を1、未回答を0として加重平均した。

3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	作物	生産環境	畜産飼料作	野菜花き	果樹	計
研究成果数	1	2	2	1	1	7

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
作物	耐倒伏性に優れる早生の飼料用米新品種候補系統「岩手122号」の育成	普及	作物(技術部)
生産環境	春まきタマネギにおけるアザミウマ被害実態と有効薬剤	研究	園芸(県北)
	水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料の配合	普及	生産環境
畜産飼料作	飼料用トウモロコシ不耕起栽培により作業時間70%、経費24千円/haを削減可能	普及	家畜飼養・飼料
	硬盤破碎と表層攪拌を組み合わせれば、プラウ耕と同じように草地更新できる	研究	外山畜産
野菜花き	リンドウ1年生株における主塊茎の発達と一次副塊茎の形成	研究	野菜花き
果樹	葉面濡れセンサー使用によるリンゴ枝幹への薬剤到達性判定方法	研究	果樹

IV 試験研究成果の発表

IV 試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
企画管理部 経営 28 No.1	平成27年度 試験研究成績書(農業経営研究室)	28.4	221
技術部 技術 28 No.1 技術 26 No.3 技術 27 No.3	平成28年度 水稲関係除草剤試験成績書(技術部作物研究室) 平成26年度 試験成績書(南部園芸研究室) 平成27年度 試験成績書(南部園芸研究室)	28.10 28.9 28.9	77 35 37
環境部 環境 28 No.1	平成28年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	29.4	250
病虫害防除部	平成28年度 植物防疫事業年報	29.5	180
畜産研究所 畜産 28 No.1	平成28年度試験成績書(畜産研究所)	29.3	87
県北農業研究所 県北 28 No.1	平成28年度 試験研究成績書(園芸研究室)	29.3	89

2 研究レポート(平成28年度発行分)

No.	試験研究成果名	担当研究室
822	りんご樹体に食入したヒメボクトウ幼虫の効果的な防除方法	環境部 病理昆虫研究室
823	リンドウ極早生品種「いわて夢あおい」における全茎収穫のためのジベレリン処理技術	技術部 野菜花き研究室
824	極良食味の水稲品種「金色の風」	技術部 作物研究室
825	倒れにくい早生の飼料用米うるち水稲新品種「岩手122号」	技術部 作物研究室
826	切り餅加工適性に優れる早生糯水稲「ふ系糯234号」	県北農業研究所 作物研究室
827	乗用型ポット苗田植機を用いた雑穀の機械移植技術	県北農業研究所 作物研究室
828	パイプハウスによるトマト30tどり技術	技術部 野菜花き研究室
829	9月中下旬開花の切り花リンドウF1品種「いわてLB-5号」及び「いわてLB-6号」の育成	技術部 野菜花き研究室
830	不耕起対応高速播種機によるトウモロコシ省力不耕起播種技術	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
831	水稲鉄コーティング点播機用溝装置の開発(追補)	プロジェクト推進室
832	常時被覆育苗による乳苗移植栽培の特徴	プロジェクト推進室
833	「つぶゆたか」の鉄コーティング湛水直播栽培による飼料用米安定生産のための生育指標と栽培法	プロジェクト推進室
834	「ひとめぼれ」の鉄コーティング湛水直播栽培による良質米安定生産のための生育指標と栽培法	プロジェクト推進室
835	無代かき鉄コーティング湛水直播栽培の特徴	プロジェクト推進室
836	岩手県中南部で発生している帰化アサガオ類の発生状況と開花結実時期	プロジェクト推進室
837	沿岸・集落営農組織における新技術の導入効果～水稲鉄コーティング湛水直播・大豆～	企画管理部 農業経営研究室
838	開花直前の摘心による大豆の倒伏軽減効果	技術部 作物研究室
839	大豆「シュウリュウ」の青立ち発生を抑制するための播種期・栽植密度	技術部 作物研究室
840	水稲新品種「金色の風」の良食味・高品質安定栽培法	技術部 作物研究室
841	県産他品種と比べた水稲新品種「金色の風」の食味特性	技術部 作物研究室
842	水稲鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料	環境部 生産環境研究室
843	水稲後1～2年目の転換畑での小麦「ゆきちから」の窒素施肥量	環境部 生産環境研究室
844	水稲品種「銀河のしずく」の穂いもち防除の省略	環境部 病理昆虫研究室
845	小麦品種「銀河のちから」におけるコムギ赤かび病の防除回数	環境部 病理昆虫研究室
846	ホップベと病・うどんこ病の効果的かつ低コストな防除体系	環境部 病理昆虫研究室
847	水稲出穂期以降のアカスジカスミカメ防除対策(追補)	環境部 病理昆虫研究室
848	大規模施設園芸経営の労務管理の方向	企画管理部 農業経営研究室

No.	試験研究成果名	担当研究室
849	果実軟化を防ぐりんご「紅いわて」の収穫適期	技術部 果樹研究室
850	りんご「紅ロマン」の品質向上に早期摘果が有効	技術部 果樹研究室
851	温度変換日数法によるりんご開花予測の精度向上	技術部 果樹研究室
852	ユズの低樹高化でらくらく作業、収量アップ！！	技術部 果樹研究室
853	ササリンドウの株を維持するポイントは「一次副塊茎」です！	技術部 野菜花き研究室
854	いちご無加温促成栽培には「紅ほっぺ」が適します	技術部 南部園芸研究室
855	包装形態及び保存温度がなすの品質に及ぼす影響	環境部 生産環境研究室
856	土着天敵を維持し、ハダニ類を減らすりんごの防除体系	環境部 病理昆虫研究室
857	きくの害虫キクヒメタマバエに対する数種殺虫剤の防除効果	環境部 病理昆虫研究室
858	生食用向け露地ほうれんそうの栽培法	県北農業研究所 園芸研究室
859	トプラメゾン(アルファード液剤)による雑草防除効果	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
860	省力的で精度の高い作業記録と効率的な収穫作業計画の作成	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
861	希塩酸抽出法による粗飼料のミネラル測定	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
862	土壌中交換性カリ含量が低い除染草地等は必ず標準施肥を！	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
863	硬盤破砕と表層攪拌を組み合わせた草地更新技術の確立	畜産研究所 外山畜産研究室
864	良好な歩留等級を確保するための日本短角種の肥育技術	畜産研究所 家畜育種研究室
865	黒毛和種肥育期間短縮のための飼料給与技術体系の確立	畜産研究所 家畜育種研究室
866	黒毛和種種雄牛候補を選抜！	畜産研究所 種山畜産研究室
867	県基幹種雄牛に肉量の「絹美継」・「春北平」を選抜	畜産研究所 種山畜産研究室
868	SNP情報を利用した黒毛和種の牛ゲノム育種価計算とその精度	畜産研究所 家畜育種研究室
869	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	畜産研究所 家畜育種研究室
870	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	畜産研究所 家畜育種研究室
871	日本短角種「種雄牛選抜指数式」の改正	畜産研究所 家畜育種研究室
872	反芻センサーを活用した乳牛の行動と疾病のモニタリング	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
873	蹄耕法を活用した耕起困難草地の更新技術の確立	畜産研究所 外山畜産研究室

3 岩手県農業研究センター研究報告

第16号(平成29年3月発行)

区分	論文題名	著者	所属
報文	水稻新品種「銀河のしずく」の育成	小 舘 琢 磨	技術部作物研究室
		菅 原 浩 視	元技術部作物研究室 (現 奥州農業改良普及センター)
		佐 々 木 力	元技術部作物研究室 (現 奥州農業改良普及センター)
		太 田 裕 貴	技術部作物研究室
		阿 部 陽	元技術部作物研究室 (現 (公財)岩手生物工学研究センター)
		高 草 木 雅 人	元技術部作物研究室 (現 県北農業研究所)
		阿部(川代)早奈恵	元技術部作物研究室 (退職)
		木 内 豊	旧農産部水稻育種研究室 (退職)
早生の低アミロース新品種「きらほ」の育成		仲 條 眞 介	技術部作物研究室
		佐 々 木 力	元技術部作物研究室 (現 奥州農業改良普及センター)
		菅 原 浩 視	元技術部作物研究室 (現 奥州農業改良普及センター)
		阿部(川代)早奈恵	元技術部作物研究室 (退職)
		木 内 豊	旧農産部水稻育種研究室 (退職)
		田 村 和 彦	旧農産部水稻育種研究室 (現 岩手県生物工学研究所)
		宍 戸 央 子	旧農産部水稻育種研究室 (現 中央農業改良普及センター)
		高 草 木 雅 人	元技術部作物研究室 (現 県北農業研究所)
		阿 部 陽	元技術部作物研究室 (現 (公財)岩手生物工学研究センター)
		遠 藤 あ や	元技術部作物研究室 (退職)
		神 山 芳 典	旧農産部水稻育種研究室 (退職)

区分	論文題名	著者	所属
要報	飼料用米割合を高めた配合飼料がパークシヤー種肥育後期豚の発育・肉質に及ぼす影響	佐々木 康 仁	畜産研究所家畜育種研究室
		細川 泰 子	畜産研究所家畜育種研究室
		齋藤 久 孝	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 岩手県南家畜保健衛生所)
	国産くず大豆の給与が黒毛和種去勢肥育牛の増体および肉質に及ぼす影響	神山 洋	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 沿岸広域振興局農林部)
		児玉 英 樹	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 岩手県農林水産部畜産課)
		米澤 智 恵 美	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター)
		齋藤 久 孝	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 岩手県南家畜保健衛生所)
		細川 泰 子	畜産研究所家畜育種研究室

4 学会等研究報告

(1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

H27年分

Plant Production Science(日本作物学会)

○Akira Yano, Masato Takakusagi, Kazushi Oikawa, Shinsuke Nakajo and Takashi Sugawara
Xanthophyll levels in foxtail millet grains according to variety and harvesting time.
PPS vol.20 no.1:136-143(2017)

H28年分

東北農業研究

○前山 薫 岩手県における水田作経営の経営実態と課題 東北農業研究 69 : 121-122
○千葉 彩香・有馬 宏 イチゴ無加温ハウス栽培におけるクラウン加温の効果 東北農業研究 69 : 83-84
○鈴木 朋代 ¹ ・山田 修 ² ・有馬 宏 ¹ 1岩手県農業研究センター、2岩手県中央農業改良普及センター イチゴ低温カット栽培における低温遭遇方法の検討 東北農業研究 69 : 85-86
○数藤 慶亮 ¹ ・松浦 彩子 ² 1岩手県農業研究センター、2奥州農業改良普及センター 水稲栽培における家畜由来有機物の化学肥料代替効果 東北農業研究 69 : 13-14
○佐々木 康仁・細川 泰子 破碎玄米及びサイレージ化した発芽粳米の給与がバークシャー種肥育豚の発育と肉質に及ぼす影響 東北農業 69:51-52

園芸学研究

○阿部 弘 ¹ 、川勝 恭子 ² 、大友 英嗣 ³ 、西島 隆明 ² エゾリンドウにおける塊茎の発達様式と株齢による花茎生産性の変動 園学研.(Hort.Res.(Japan))15(3):267-273.2016 1 岩手県農業研究センター、2 農研機構野菜花き研究部門、3 一関農業改良普及センター
--

Metabolomics

○Hideyuki Takahashi*1・Hiroshi Abe*2・Kohei Fujita*1・Ken-Taro Sekine*1 The use of metabolome analysis to identify the cause of an unexplained disease of Japanese gentians (<i>Gentiana triflora</i>). Metabolomics 13:51(p1-11).2017 1 岩手県生物工学研究センター、2 岩手県農業研究センター
--

日本作物学会東北支部報

○小館 琢磨 ¹ 、太田 久稔 ² 、福嶋 陽 ² 、太田 裕貴 ¹ 、菅原 浩視 ³ (1岩手農研、2農研機構東北農研、3奥州農業改良普及センター) 岩手県沿岸南部地域の気象条件における直播栽培に適する水稲品種の検討 日本作物学会東北支部報59 : 15-16
○小館 琢磨 ¹ 、仲條 眞介 ¹ 、尾形 茂 ¹ 、小綿 寿志 ² 、菅原 浩視 ³ (1岩手農研、2中央農業改良普及センター、3奥州農業改良普及センター) 岩手県における水稲新品種「銀河のしずく」の品種特性 日本作物学会東北支部報59 : 17-18
○阿部 陽 ¹ 、高木 宏樹 ¹ 、仲條 眞介 ² 、寺内 良平 ¹ 、黒田 栄喜 ³ (1岩手生工研、2岩手農研、3岩手大学農学部) 慣行栽培における水稲耐塩性品種「Kaijin」の収量性および食味関連理化学特性 日本作物学会東北支部報59 : 19-20

日本土壌肥科学雑誌

○ 三浦 憲蔵*1・伊藤 豊彰*2・石黒 宗秀*3・佐藤 喬*4*5・菅野 均志*6・阿部 倫則*7・後藤 逸男*8(2016)
津波被災農地の営農再開における土壌肥料分野の貢献と課題
日本土壌肥科学雑誌 87(2):153-158 資料
*1 東北農業研究センター、*2 東北大学大学院、*3 北海道大学大学院、*4*5 岩手農研(現二戸普及セ)、*6 東北大学大学院、*7 古川農試、*8 東京農大

北日本病害虫研究会報

小山田 早希・菅 広和・阿部 弘・佐藤 成利*1・鹿糠 美雪*2・菅野 千聖*2・館田 知桂*3・富田 麗子*4・関根 健太郎*5(2016)
リンドウこぶ症発生圃場におけるリンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)感染株の分布
北日本病害虫研究会報 67:119-121
*1中央農業改良普及センター *2盛岡農業改良普及センター *3岩手生物工学研究センター *4那覇市在住 *5現琉球大学農学部

羽田 厚・大友 令史(2017)
わい化リンゴ園におけるヒメボクトウ若齢幼虫に対するフルベンジアミド水和剤スピードスプレーヤ散布による防除効果と防除適期
北日本病害虫研究会報 67:190-192

大友 令史・仲谷 房治*(2016)
東北地方の野生リンドウにおけるリンドウグダアザミウマ(新称) *Liothrips miyazakii* Okajima の発生
北日本病害虫研究会報 67:208-211
* 岩手県植物防疫協会

Systematic and Applied Acarology

HIROSHI HADA, NORIHIDE HINOMOTO*1 & TETSUO GOTOH*2(2016)
Genetic structure of *Tetranychus urticae* (Acari: Tetranychidae) populations under acaricide selection pressure assessed using microsatellite markers
Systematic and Applied Acarology 21(7):878-888
*1中央農研 *2 茨城大学

(2)学会発表(発表要旨)

H28年分

東北農業経済学会(第52回青森大会:2016.8.25~26開催・弘前大学)

○田中 英輝
津波被災地域における復興前期5カ年の動向と今後の課題ー岩手県陸前高田市を事例としてー
(個別報告)

日本育種学会(第131回講演会:2017.3.29~3.30)

○仲條 眞介・小館 琢磨・太田 裕貴・藤岡 智明・阿部 陽・寺内 良平(2017)
水稻新品種「金色の風」の育成とその食味特性
育種学研究 19(別1):25

園芸学会(平成28年度秋季大会:2016.9.10~12開催・愛知県 名城大学天白キャンパス 園芸学研究. 15(別2): 2016.9月発行)

○阿部 弘1
リンドウ1~2年生株における主塊茎発達過程の観察
2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 241.
1岩手農研セ

○藤尾 拓也1・吉田 泰1・折笠 貴寛2・加藤 一幾2・小笠原 裕3・法領田 匠3・松浦 拓也1・田代 勇樹1・川村 浩美1
ソバージュ栽培におけるミニトマトの着色段階の違いが貯蔵日数と果実品質へ及ぼす影響
2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 165.
1岩手農研セ, 2岩手大農, 3(株)岩手缶詰

○吉田 泰1・藤尾 拓也1・松浦 拓也1・田代 勇樹1・元木 悟2・北條 怜子3・松永 邦則4・川村 浩美1
ミニトマトの露地栽培におけるソバージュ栽培の2つの誘引法による受光環境の影響
2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 354.
1岩手農研セ, 2明治大農学部, 3明治大院農学研究科, 4パイオニアエコサイエンス(株)

○千葉 彩香1・山田 修2・石村 眞一3・小国 克也3・水戸谷 剛4・赤堀 卓央4・佐藤 良4・田上 栄司4・太田 祐樹1・有馬 宏1
イチゴ閉鎖型高設栽培システムにおける新たな局所加温方法の効果
2016.園学研. 園芸学研究. 15(別2): 338.
1岩手農研セ, 2岩手中央農改セ, 3石村工業(株), 4東日本機電開発(株)

○太田 祐樹1・熊谷 秀明2・鈴木 朋代1・藤尾 拓也1・山崎 浩道3・有馬 宏1
岩手県沿岸部の被災地域における木質ハウスを利用したイチゴの周年栽培(第2報)
2016.園学研. 園芸学研究. 15(別2): 335.
1岩手農研セ, 2木楽創研(株), 3農研機構東北農研セ

○鈴木 朋代・太田 祐樹・有馬 宏
種子繁殖型イチゴ品種「よつぼし」の閉鎖型高設栽培システムでの栽培方法
2016.園学研. 園芸学研究. 15(別2): 332.

○横田 啓
岩手県のタマネギ春まき作型に適する全自動移植機向け良質苗生産技術の開発
(第1報)448穴ポット苗箱における育苗日数および被覆肥料の違いが苗質および収量に及ぼす影響
2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 2: 400.

園芸学会東北支部イチゴ小集会(平成28年度大会:2016.8.19開催・盛岡市アイーナ)

○有馬 宏
先端プロ「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」の概要

○千葉 彩香
イチゴ促成栽培における低コスト暖房技術の開発とその実証

○太田 祐樹
岩手県沿岸地域の気象条件を活用したイチゴ周年栽培技術の開発とその実証(四季成り性品種の周年栽培技術)

東北農業試験研究第59回発表会(2016.8.10 開催・青森市)・東北農業研究(第69号)

○前山 薫 岩手県における水田作経営の経営実態と課題 東北農業研究 69 : 121-122
○千葉 彩香・有馬 宏 イチゴ無加温ハウス栽培におけるクラウン加温の効果 東北農業研究 69 : 83-84
○鈴木 朋代 ¹ ・山田 修 ² ・有馬 宏 ¹ 1岩手県農業研究センター、2岩手県中央農業改良普及センター イチゴ低温カット栽培における低温遭遇方法の検討 東北農業研究 69 : 85-86
○数藤 慶亮 ¹ ・松浦 彩子 ² 1岩手県農業研究センター、2奥州農業改良普及センター 水稲栽培における家畜由来有機物の化学肥料代替効果 東北農業研究 69 : 13-14
○佐々木 康仁・細川 泰子 破砕玄米及びサイレージ化した発芽粳米の給与がパークシャー種肥育豚の発育と肉質に及ぼす影響 東北農業 69:51-52

日本作物学会 第243回講演会(2017.3.29～30 開催・東京大学)

○寺田 道一 水稲品種「銀河のしずく」及び「ひとめぼれ」の鉄コーティング湛水直播への適性と安定生産のための栽培条件 日本作物学会第242回講演会要旨集(2016) :106
○藤岡 智明 ¹ 、渡邊 洋一 ² 、上村 豊和 ³ 、太田 裕貴 ¹ 、小館 琢磨 ¹ 、阿部 陽 ⁴ 、仲條 眞介 ¹ (1岩手農研セ、2福島農総セ、3青森産技セ、4岩手生工研) 半矮性、初期伸長性、耐病性および低アミロース性遺伝子を集積した水稲品種「岩手117号」における導入遺伝子の効果と直播適応性 日本作物学会第243回講演会要旨集 (2017) :101
○藤岡 智明 ¹ 、仲條 眞介 ¹ 、小館 琢磨 ¹ 、太田 裕貴 ¹ 、阿部 陽 ² 、小田中 温美 ¹ (1岩手農研セ、2岩手生工研) やや低アミロース性の主食用水稲品種「金色の風」の品種特性 日本作物学会第243回講演会要旨集 (2017) :129
○太田 裕貴 ¹ ・阿部 陽 ² ・仲條 眞介 ¹ ・藤岡 智明 ¹ ・植村 亜衣子 ² ・及川 香梨 ² ・宇津志 博恵 ² ・寺内 良平 ² (1岩手県農業研究センター、2岩手生工学研究センター) イネNested Association Mapping集団による穂の着粒構造に関するQTL同定 日本作物学会第243回講演会講演要旨集 (2017) :18
○太田 裕貴 ¹ ・小館 琢磨 ¹ ・仲條 眞介 ¹ ・尾形 茂 ¹ ・小田中 温美 ¹ (岩手県農業研究センター) 岩手県における水稲新品種「銀河のしずく」の食味特性 日本作物学会第243回講演会講演要旨集 (2017) :130

日本作物学会東北支部会 第59回講演会(2016.8.22 開催・宮城大学食産業学部)

○小館 琢磨 ¹ 、太田 久稔 ² 、福嶋 陽 ² 、太田 裕貴 ¹ 、菅原 浩視 ³ (1岩手農研セ、2農研機構東北農研セ、3奥州農改セ) 岩手県沿岸南部地域の気象条件における直播栽培に適する水稲品種の検討 日本作物学会東北支部報59 : 15-16
○小館 琢磨 ¹ 、仲條 眞介 ¹ 、尾形 茂 ¹ 、小綿 寿志 ² 、菅原 浩視 ³ (1岩手農研セ、2中央農改セ、3奥州農改セ) 岩手県における水稲新品種「銀河のしずく」の品種特性 日本作物学会東北支部報59 : 17-18
○阿部 陽 ¹ 、高木 宏樹 ¹ 、仲條 眞介 ² 、寺内 良平 ¹ 、黒田 栄喜 ³ (1岩手生工研、2岩手農研セ、3岩手大学農学部) 慣行栽培における水稲耐塩性品種「Kaijin」の収量性および食味関連理化学特性 日本作物学会東北支部報59 : 19-20

日本食品科学工学会第63回大会(2016.8.25~27 開催:名城大学農学部)

○岡留 博司1、齊藤 勲2、安江 紘幸3、太田 久稔3、小館 琢磨4、五月女 格1、佐々木 朋子1、奥西 智哉1、安藤 泰雅1
(1農研機構食品部門、2(株)ナカシヨク、3農研機構東北農研セ、4岩手農研セ)
岩手県産低アミロース米の加工流通条件による米飯物性の変動解析
日本食品科学工学会第63回大会講演要旨集, P153

2016年度農業施設学会大会(2016.8.29~31 開催:高知大学農林海洋科学部物部キャンパス)

○岡留 博司1、齊藤 勲2、安江 紘幸3、太田 久稔3、小館 琢磨4、五月女 格1、佐々木 朋子1、奥西 智哉1、安藤 泰雅1
(1農研機構食品部門、2(株)ナカシヨク、3農研機構東北農研セ、4岩手農研セ)
岩手県産低アミロース米飯の冷凍加工特性の検討
2016年度農業施設学会大会要旨集, P87-88

○千葉 彩香1・山田 修2・石村 眞一3・小国 克也3・水戸谷 剛4・赤堀 卓央4・佐藤 良4・田上 栄司4・有馬 宏1
薪ボイラーを用いたハウス加温及びイチゴ局所加温方法の検討
農業施設学会大会講演要旨集:77.
1岩手農研セ, 2岩手中央農改セ, 3石村工業(株), 4東日本機電開発(株)

○太田 祐樹1・熊谷 秀明2・千葉 彩香1・鈴木 朋代1・藤尾 拓也1・山田 修3・吉越 恆4・松田 周4・有馬 宏1
木質性園芸用ハウスの利用拡大に向けた取り組み
農業施設学会大会講演要旨集:73.
1岩手農研セ, 2木楽創研(株), 3岩手中央農改セ, 4農研機構西日本農研セ

○鈴木 朋代1・熊谷 秀明2・太田 祐樹1・千葉 彩香1・松田 周3・吉越 恆3・有馬 宏1
木質製園芸用ハウスにおける採光性の評価
農業施設学会大会講演要旨集:131.
1岩手農研セ, 2木楽創研(株), 3農研機構西日本農研セ

○松田 周1・吉越 恆1・太田 祐樹2・鈴木 朋代2・千葉 彩香2・有馬 宏2・熊谷 秀明3
骨の太いハウスにおける影面積の算出
農業施設学会大会講演要旨集:75.
1農研機構西日本農研セ, 2岩手農研セ, 3木楽創研(株)

日本農業気象学会2017年全国大会(2017.3.27~30 開催:北里大学獣医学部)

○森田 創哉1、阿部 陽2、仲條 眞介3、太田 裕貴3、鈴木 健策1、黒田 栄喜1、下野 裕之1
(1岩手大学農学部、2(一財)岩手生工研セ、3岩手農研セ)
イネ早生変異体HEv系統の形質評価
日本農業気象学会2017年全国大会講演要旨集, P83

○大久保 さゆり1、長谷川 利紘1、太田 久稔1、小館 琢磨2
(1農研機構東北農研セ、2岩手農研セ)
有色素米着色の登熟期間の気温に対する応答
日本農業気象学会2017年全国大会講演要旨集, P86

園芸学会(平成29年度春季大会:2017.3.19~20開催・日本大学生物資源科学部 園芸学研究. 16(別1): 2017.3月発行)

○大野 浩・佐々木 真人
リンゴ枝幹への薬剤到達性の簡便な判定方法
2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 270.
岩手農研セ

○阿部 弘1・小田島 雅1
ササリンドウ2~4年生株における塊茎と花茎の生育
2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 228.
1岩手農研セ

○藤尾 拓也1・太田 祐樹1・有馬 宏1・安東 赫2・中野 明正2・齊藤 義典2・奥村 堅直3・高橋 克幸3・高木 浩一3・川村 浩美1
トマトの循環式ロックウール栽培における養液管理法の違いが肥料利用効率に及ぼす影響
2017.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 116.
1岩手農研セ, 2農研機構野菜花き部門, 3岩手大工学部

園芸学会(平成29年度春季大会:2017.3.19~20開催・日本大学生物資源科学部 園芸学研究. 16(別1): 2017.3月発行)

○千葉 彩香・有馬 宏 低温条件下でのクラウン加温によるイチゴの開花と収量への効果 2017.園学研. 園芸学研究. 16(別1): 308.
○太田 祐樹1・熊谷 秀明2・鈴木 朋代1・藤尾 拓也1・山崎 浩道3・有馬 宏1 岩手県沿岸部の被災地域における木質ハウスを利用したイチゴの周年栽培(第3報) 2017.園学研. 園芸学研究. 16(別1): 307. 1岩手農研セ, 2木楽創研(株), 3農研機構東北農研セ
○塚崎 光1・村山 徹1・本城 正憲1・横田 啓2・山村 真弓3・本庄 求4・山崎 紀子5・笠井 友美6・門田 敦生6・山崎 篤1 東北5県で栽培したタマネギりん茎に含まれるケルセチン含量の変動 2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 148. 1農研機構東北農研, 2岩手農研セ東北農研, 3宮城農園研, 4秋田農試, 5山形庄内農技普課産地研, 6福島農総セ
○長嶺 達也 ホウレンソウ収穫後の保存条件がルテイン含有量に与える影響 2016.園学研. (Hort. Res. (Japan)) (別) 1: 448.

園芸学会東北支部平成28年度大会(2016.8.18~19開催・盛岡市 アイーナ)

○横田 啓 公開シンポジウム「東北地方の園芸分野における革新的技術の開発と展開」 事例紹介①岩手県における春まきタマネギの安定生産技術の開発と実証

第25回日本ダニ学会(2016.10.14~16開催・札幌市)

○羽田 厚(2016) リンゴ園地でカブリダニの有効な利用方法を考える:Episode II

第70回 北日本病害虫研究発表会(2017.2.23~24開催・仙台市 北日本病害虫研究会報. 68: 印刷中)

○猫塚 修一・田村 恵里佳・高田 真・菅 広和・中西 商量・本田 純悦・阿部 武美(2017) 水稲緑化期の低温が生物農薬によるばか苗病防除効果に及ぼす影響 *1 岩手中央農改セ
○菅 広和・大友 令史(2017) 化学合成農薬を用いたホップベと病・うどんこ病防除体系の検討
○山本 明日香・小山田 早希・千田 裕*1・猫塚 修一(2017) 岩手県の薬用作物カノソウにおけるトマト黄化えそウイルス(TSWV)の発生 *1 八幡平普及セ
○佐藤 美和子・大友 令史(2017) キクヒメタマバエ虫こぶに対する数種殺虫剤の防除効果
○羽田 厚(2017) カブリダニW:最強の天敵は俺か、お前か!
○久保田 真衣(2017) アカスジカスミカメに対する各種防除薬剤の残効期間
○松橋 伊織(2017) 施設栽培トマトにおける数種防虫ネットの害虫飛び込み抑制効果
○横田 啓・福田 拓斗 ほうれんそうのネギアザミウマに対する各種薬剤の防除効果
○福田 拓斗・横田 啓 岩手県北地域における夏秋どりキャベツのコナガに対する殺虫剤の防除効果
○永坂 厚1・横田 啓2・門田 育生1 東北地域の春まきタマネギ栽培に発生する腐敗性病害の症状と分離細菌の病原性 1農研機構東北農研, 2岩手県北農研

平成28年度(第52回)日本植物病理学会東北支部会(2016.9.29~30開催・福島市)

○小山田 早希・菅 広和・白川 明日香*1・藤崎 恒喜*2・山田 修*3・高橋 拓也*3・佐藤 美和子・猫塚 修一(2016) 岩手県内に発生したピーマンの抵抗性品種(L ³ 型)を侵すトウガラシマイルドモットルウイルス(PMMoV)の病原型 平成28年度(第52回)日本植物病理学会東北支部会プログラム・講演要旨集 p8 *1高岡市 *2岩手生物工学研究センター *3中央農業改良普及センター
○猫塚 修一・小山田 早希・藤崎 恒喜*1・佐藤 美和子・山田 修*2・高橋 拓也*2・菅 広和(2016) 岩手県内のピーマンに発生したトウガラシマイルドモットルウイルス(PMMoV) L ³ 抵抗性打破系統の分子疫学解析 平成28年度(第52回)日本植物病理学会東北支部会プログラム・講演要旨集 p9 *1岩手生物工学研究センター *2中央農業改良普及センター
○菅 広和(2016) コムギ品種「銀河のちから」の赤かび病に対する薬剤防除回数検討 平成28年度(第52回)日本植物病理学会東北支部会プログラム・講演要旨集 p11

第61回日本応用動物昆虫学会大会合同大会(2017.3.27~29開催・東京農工大 講演要旨)

○羽田 厚(2017) いつでも天敵W(ダブル):最強のカブリダニは土着か、それとも放飼か! 第61回日本応用動物昆虫学会大会合同大会 講演要旨集:p21
○横田 啓・福田 拓斗(2016) 春まきタマネギにおける殺虫剤の散布頻度がネギアザミウマの発生とタマネギ収量・腐敗に及ぼす影響 第61回日本応用動物昆虫学会大会 講演要旨集:p72

第70回日本栄養・食糧学会(2016.5.14~16開催・武庫川女子大)

○高草木 雅人1、高橋 好範1、矢野 明2 アワ品種「ゆいこがね」玄穀の収穫時期によるルテイン含量の変動 *1生工研センター
--

第130回日本育種学会講演会(2016.9.24~25開催・鳥取大)

○吉津 祐貴1、高草木 雅人2、高木 宏樹3、阿部 陽4、寺内 良平4、畠山 勝徳1、高畑 義人1 QTL-seq 法を用いたアワ(Setaria italica)の出穂期関連遺伝座の同定 1岩手大・農、2岩手農研・東北研、3石川県大、4岩手生物工学研究センター

Plant Production Science

Akira Yano 1, Masato Takakusagi 2, Kazushi Oikawa 3, Shinsuke Nakajo 4 & Takashi Sugawara 3 (2017 VOL . 20, NO . 1, 136-143) Xanthophyll levels in foxtail millet grains according to variety and harvesting time 1 Iwate Biotechnology Research Center 2 Kenpoku Agricultural Research Institute, Iwate Agricultural Research Center 3 Research Institute for Environment Science and Public Health of Iwate Prefecture 4 Iwate Agricultural Research Center
--

第66回東北畜産学会岩手大会(2016.9.6~7開催・盛岡市アイーナ)

○昆野 勝1・児玉 英樹2・細川 泰子1 バーコールPBS溶液によるウシ体内受胎の品質評価 東北畜産学会報 Vol.66 No.2 .23 1岩手畜研,2岩手県畜産課
○神山 洋1・児玉 英樹2・米沢 智恵美3・齋藤 久孝4・細川 泰子1 国産くず大豆の給与が黒毛和種去勢肥育牛の増体および肉質に及ぼす影響 東北畜産学会報 Vol.66 No.2 .24 1岩手県畜研,2岩手県畜産課,3岩手県中央普及センター軽米サブ,4岩手県南家保)
○伊藤 孝浩・越川 志津・藤原 哲雄 高泌乳牛における乾乳期間の短縮が生産性に及ぼす影響 東北畜産学会報 Vol.66 No.2 .30
○山形 広輔1・松尾 守展2・橋 保宏2・尾張 利行3・藤原 哲雄1 不耕起対応高速播種機を用いた異なる圃場条件での飼料用トウモロコシ不耕起栽培について 東北畜産学会報 Vol.66 No.2 .31 1岩手県畜研,2革新工学セ,3岩手農大
○増田 隆晴 蹄耕法を用いた耕起困難放牧地の草地再生技術の実証 東北畜産学会報 Vol.66 No.2 .36

5 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

農業技術大系

阿部 弘
リンドウ 栽培の基礎 生育と生理・生態 (4) 塊茎の発達から見たリンドウの生育
(一社)農山漁村文化協会 2016.花卉編9:512の2-6

(2) 月刊農業普及(平成28年4月号～平成29年3月号)

4月号	大野 浩	農業研究センター試験研究レポート「不織布ポットを用いたりんごJM7台フェザー苗の育成方法」
	松浦 拓也	らぼ・れたあ「光に照らされ『お色直し』～パプリカの光照射追熟技術」
5月号	小原 公則	農業研究センター試験研究レポート「超強力小麦「銀河のちから」の加工特性を引き出す後期窒素追肥法
	吉田 徳子	らぼ・れたあ 「『生産技術体系』の作成に向けて～ただ今調査&検討中！」
6月号	永富 巨人	農業研究センター試験研究レポート「水稲新品種「銀河のしずく」の高品質・良食味米安定栽培法
	伊勢 智宏	らぼ・れたあ 「手のひらに農業研究センターを～ Twitter & Facebookで情報発信拡大中」
7月号	佐々木 忍	農業研究センター試験研究レポート「切花向け青色リンドウ品種「いわてEB-2号」「いわてMB-2号」の育成」
	澤田 建	らぼ・れたあ「新規種雄牛『絹美継』&『春北平』デビュー！！」
8月号	高草木 雅人	農業研究センター試験研究レポート「アワ品種『ゆいこがね』の収穫適期～高品質なアワの生産をめざして」
	吉田 登	らぼ・れたあ『南部かしわ』に新たな“血”を～ロードアイランドレッド改良のための交配選抜試験を開始」
9月号	松浦 拓也	農業研究センター試験研究レポート「伏せ込み床の熱を利用してアスパラガスの休眠を簡単に打破しよう」
	有馬 宏	らぼ・れたあ「めざせ！年間8tどり～イチゴ栽培セミナーを開催しました」
10月号	羽田 厚	農業研究センター試験研究レポート「近年問題となっているりんご枝幹害虫ヒメボクトウの効果的な防除法」
	有馬 宏	らぼ・れたあ「より安く、より強く、より簡単に～トマト長期どり栽培セミナーを開催」
11月号	西田 絵梨香	農業研究センター試験研究レポート「りんご『大夢』の収穫適期判断」
	佐々木 きし子	らぼ・れたあ 「真っ白にあつという間に花盛り～親子で体験『そばづくり学習会』」
12月号	小原 公則	農業研究センター試験研究レポート「超強力小麦『銀河のちから』の高品質安定栽培法
	高橋 好範	らぼ・れたあ 「雑穀を活かした新商品開発と価値の再発見～シリアルサミット2016 in かるまい」
1月号	吉田 宏	農業研究センター試験研究レポート「中小区画圃場における小型汎用コンバインの導入条件」
	松橋 伊織	話題の病害虫講座「シソの害虫 ウリハムシモドキ」
	吉田 登	らぼ・れたあ「生産者が集い、情報交換と生産連携で団結！『南部かしわ研究会』開催」
2月号	菊地 淑子	農業研究センター試験研究レポート「大豆における補給型施肥」
	小山田 早希	話題の病害虫講座「ハウレンソウ白斑病」
	佐々木 康仁	らぼ・れたあ 「県内黒豚の生産振興に向けて『第1回岩手県パークシャー種研究会』を開催しました」
3月号	山形 広輔	農業研究センター試験研究レポート「オーチャードグラス採草地の春期播種技術」
	廣田 志紀子	話題の病害虫講座「リンゴの害虫 ハダニ類」
	長嶺 達也	らぼ・れたあ「加工業務需要に対応した『寒玉キャベツ』栽培法の確立」

(3) 岩手の畜産(平成28年5月号～平成29年3月号)

5月号	越川 志津	飼料用米及び大豆WCSを活用した飼料自給率の高い乳牛の飼料給与技術
9月号	飯村 太一	黒毛和種妊娠牛の冬期屋外飼養技術について
11月号	山形 広輔	春期牧草播種技術と秋の追播による植生改善技術
3月号	佐藤 真	圃場管理システムを活用した作業記録と作業計画の作成

(4) 岩手りんごタイムス(平成28年4月号～平成29年3月号)

4月号	浅川 知則	凍霜害対策について
	大野 浩	マメコバチの利用方法
5月号	羽田 厚	枝幹害虫の防除について
	阿部 洋	幼果期までの防除について
6月号	西田 絵梨香	樹相診断を用いた適正な樹勢の維持
	羽田 厚	枝幹害虫の防除について
	廣田 志紀子	農薬の安全・適正使用について
7月号	柳本 麻衣	夏期管理について
8月号	大野 浩	早生品種の管理について
	廣田 志紀子	収穫期前の防除について
9月号	柳本 麻衣	スマートフレッシュTMについて
	数藤 慶亮	りんごの施肥について
10月号	浅川 知則	「大夢」・「岩手4号」について
11月号	廣田 志紀子	野ネズミ(野そ)対策について
	数藤 慶亮	りんご園の土壌診断
12月号	西田 絵梨香	改植の進め方
1月号	渡辺 芳幸	新年のあいさつ
	大野 浩	せん定について
	中村 太紀	平成29年りんご病虫害防除指針の主な改正点
3月号	阿部 洋	展葉期頃までの防除対策について

(5) その他の雑誌等

施設と園芸

<p>長嶺 達也 ホウレンソウ栽培を高能率化する「4Kハウス」 施設と園芸, 日本農民新聞社, 175(2016):51</p>
--

Functional Food

<p>長澤 孝志¹, 矢野 明², 高草木 雅人 雑穀の食文化と機能性 フジメディカル出版, 30(2016):94-99 ¹岩手大学, ²岩手生工研センター</p>
--

農業

<p>佐藤 明子¹, 及川 和也, 高草木 雅人, 中川 あゆみ² 岩手県二戸地方の雑穀食文化を伝承する 大日本農会, 8月号(2016):56-61 ¹岩手県二戸農林振興センター, ²岩手大学農学部共生環境課程</p>

いわて食・農ネット

<p>高橋 好範 雑穀の栽培技術の開発と新たな魅力の発信 いわて食・農ネット, 36号(2016):6-7</p>

月刊「機械化農業」

<p>太田 祐樹 特集 施設園芸の最新情報 「-メリットを数値化で普及につなげる-木質製園芸用ハウスの開発と特徴」 2016年7月号</p>
--

日本政策金融公庫「技術の窓」

太田 祐樹
営農技術の最前線 「地域木質資源を用いた木質製園芸用ハウス」
2016年10月号

日本養液栽培研究会「ハイドロポニックス」

太田 祐樹
研究の紹介 「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」
2017年3月号

農業総覧 病虫害診断防除編

羽田 厚
ウリ類害虫「アシグロハモグリバエ」
2017年1月号

果実日本

羽田 厚
果実枝幹害虫ヒメボクトウの新しい防除法
2016年10月号

6 新聞等掲載

部所名	記事見出し ●は投込記事 ()は関連・間接情報	掲載紙	掲載年月日
センター共通			
	(県のTPP試算否定 農水省 関係者と意見交換)	岩手日報	28.5.27
	(機能性食品研究へ連携 農林水産振興図る 6月にも研究会発足)	岩手日報	29.2.3
プロジェクト推進室			
	(水田農業確立支援 1ヘクタール圃場で直播実証へ 県南局 加工用ニンジン栽培も)	岩手日日新聞	28.5.1
	草刈り作業軽減に期待 畦畔に「カバープランツ」小友町	東海新報	28.7.9
	広田などで現地研修 水稲生産等の実証研究	東海新報	28.7.21
	東北農業研究センター 畦畔管理に芝活用 津波被害復旧水田 現地検討会で報告 雑草生育を抑制	日本農業新聞(地方版)	28.7.21
	岩手県農業研究センターまとめ 専用機より経費3割減 適期収穫面積の上限 水稲20ヘクタール、大豆25ヘクタール 中小区画に対応	日本農業新聞(地方版)	28.8.4
	先進技術の成果確認 農家対象に圃場研修会(直播栽培、大豆)	東海新報	28.9.16
	高密度播種や湛水直播 花北水稲コスト低減技術研修会 現状と課題学ぶ	岩手日日新聞	29.2.24
	(軽い操作ついていだけ リモコン式電動草刈り機 農研機構と農機メーカー18年度市販化へ 楽々かつ安全)	日本農業新聞(地方版)	29.3.9
企画管理部			
研究企画室			
	●甘いこのコメ 何だ？北上・農研センター “子供研究員”が食味試験	岩手日日新聞	28.7.30
	(保護犬猫の里親募集 県内5カ所出張譲渡会)	岩手日日新聞	28.8.26
○農業科学博物館			
	●親子体験学習が開講	岩手日日新聞	28.7.12
	●野良着に先人の知恵	岩手日日新聞	28.7.25
	●先人の野良着に学ぶ	胆江日日新聞	28.8.2
	●親子でそば作り始動 北上・農業科学博物館 (「農の生け花」交流展 岩手県の愛好会)	岩手日日新聞	28.8.5
	●木の加工と漆塗り展 あすから農業科学博物館	岩手日日新聞	28.10.8
	●親子らソバ収穫体験	岩手日日新聞	28.10.19
	●浄法寺塗中心に100点 北上 漆塗り道具展	読売新聞	28.11.26
	●親子で松飾り作り	読売新聞	28.12.19
	●親子が松飾りに挑戦	岩手日日新聞	28.12.20
	●行ってみよう 第71回企画展「生業と暮らしを支えた農家住宅」	岩手日報	29.1.12
	●往時の農家住宅に光	胆江日日新聞	29.1.23
	●「住」に息づく農の営み 農業科学博物館	岩手日日新聞	29.1.27
	土地・生業に合った農家の工夫 水田・畑作・養蚕・豪雪 農業科学博物館	週刊きたかみ	29.2.2
	●週間ガイド 第71回企画展「生業と暮らしを支えた農家住宅」	岩手日日新聞	29.2.10
技術部			
作物研究室			
	(米 銀河のしずく 種まき JA新いわて 約44ヘクタール作付け予定)	日本農業新聞(地方版)	28.4.20
	(「銀河のしずく」特A願い種まき 花巻農協、育苗スタート)	岩手日報	28.4.21
	(銀河のしずく 播種作業スタート 花巻農協 ブランド米目指す)	岩手日日新聞	28.4.22
	(県オリジナル水稲品種 銀河のしずく 目指せ「特A」 八幡平市に研究会 農協部会員一丸で栽培)	岩手日報	28.5.9
	ブランド米競争 岩手県が参戦 「銀河のしずく」今秋デビュー 栽培指南、5万トン生産	日本経済新聞(地方版)	28.5.19
	第1部 県オリジナル品種の船出 ①迫る違反廃止 コメに懸ける ～岩手の挑戦～早期の評価確立が鍵	岩手日報	28.5.23
	第1部 県オリジナル品種の船出 ②苦戦の歴史 コメに懸ける岩手の挑戦 技術や戦略 教訓多く	岩手日報	28.5.24
	(「銀河のしずく」研究会発足 岩手県新ブランド米 食味向上に向け着々 特A獲得へ 技術確立)	日本農業新聞(地方版)	28.5.25
	(コメに懸ける ～岩手の挑戦～第1部 県オリジナル品種の船出 ③戦略 全国浸透へ三つの柱)	岩手日報	28.5.25
	(銀河のしずく 知事も田植え 岩手の新品種PR)	河北新報	28.5.25
	(コメに懸ける ～岩手の挑戦～第1部 県オリジナル品種の船出 ④つや姫に学ぶ 農家の意識が生命線)	岩手日報	28.5.26
	コメに懸ける ～岩手の挑戦～第1部 県オリジナル品種の船出 ⑤最高級品種 試験順調 食味に自信	岩手日報	28.5.27
	(銀河のしずく 品質向上へ管理学ぶ 北上で栽培指導会)	岩手日日新聞	28.6.22
	除草剤対策で意見交換 水稲直播 生産者らが現地検討会	岩手日日新聞	28.6.25

部所名	記事見出し ●は投込記事 ()は関連・間接情報	掲載紙	掲載年月日
作物研究室(つづき)			
	「銀河のしずく」順調 北上 県が初の栽培研修会	岩手日報	28.7.9
	(コメに懸ける ～岩手の挑戦～第2部 政策転換の現場から ①不透明感 新品種 農家の希望に)	岩手日報	28.7.31
	(「銀河のしずく」PR JAいわてグループ さんさ踊りで米紹介)	日本農業新聞(地方版)	28.8.4
	(銀河のしずく収穫開始 来月市場デビュー)	岩手日報	28.9.20
	(「銀河のしずく」収穫 JAいわて花巻 産地確立へ情報発信)	日本農業新聞(地方版)	28.9.22
	(「銀河のしずく」稲刈り 岩手・矢巾 実りの秋 東北に)	河北新報	28.9.22
	(銀河のしずく 期待込め収穫 矢巾で県セレモニー)	岩手日報	28.9.22
	「銀河のしずく」収穫 岩手県産米 新品種 10月デビュー	日本農業新聞(地方版)	28.9.24
	(東北米ブランド化加速 他県も準備着々「生産調整廃止後」にらむ)	河北新報	28.9.27
	(「銀河のしずく」もうすぐ食卓に 来年4日の県内発売PR)	岩手日報	28.9.28
	(「銀河のしずく」おいしさ太鼓判 盛岡でセレモニー 来月4日県内デビュー)	岩手日日新聞	28.9.28
	(市長、衆議院が稲刈り 銀河のしずくPR JAいわて花巻)	日本農業新聞(地方版)	28.10.4
	(「銀河のしずく」発売 県産オリジナル米 ブランド化へ第一歩 全国デビューは7日)	岩手日日新聞	28.10.4
	(「銀河のしずく」食卓へ 岩手オリジナル米 首都圏へ出発式)	日本経済新聞(地方版)	28.10.5
	(コメ新品種「新しい岩手の顔に」銀河のしずく 県内販売スタート)	毎日新聞(地方版)	28.10.5
	(10年かけ開発の新県産米 「銀河のしずく」発売 JA つや・甘みに自信)	朝日新聞(地方版)	28.10.5
	(銀河のしずく きらめく一歩 岩手米新品種 県内販売始まる)	河北新報	28.10.5
	(「銀河のしずく」発売 県オリジナル水稲品種▲期待乗せ▲岩手の米)	岩手日報	28.10.7
	(銀河のしずく 県外デビュー 東京・大阪でセレモニー)	岩手日報	28.10.8
	(今秋デビュー「銀河のしずく」PR 土曜日限定定食ご飯に 1日100食限定17年1月未まで)	日本農業新聞(地方版)	28.10.15
	(「銀河のしずく」発売 全農いわて トップ率先し米PR)	日本農業新聞(地方版)	28.10.19
	(岩手県やJA全農いわて「銀河のしずく」試食を東京、大阪トップセールス)	日本農業新聞(地方版)	28.10.25
	(県産1等米比率97.6%全国2番目の高水準「銀河のしずく」は全量)	岩手日報	28.10.26
	(銀河のしずく販売好調 初年度3分の1突破 新県産米、浸透が課題)	岩手日報	28.10.26
	(「銀河のしずく」販売JAいわてグループ東京で農産品PR)	日本農業新聞(地方版)	28.11.11
	(16年産米の商戦本格化 新銘柄は高級路線 「新之助」「青天の霹靂」「銀河のしずく」)	日本農業新聞(地方版)	28.11.11
	(銀河のしずく限定朝ご飯に温泉宿8施設がPR)	岩手日報	28.11.11
	(コメに懸ける 岩手の挑戦 第3部 市場を生き抜く①銀河のしずく初参戦 特長説明 販売増やす)	岩手日報	28.11.13
	(コメに懸ける 岩手の挑戦 第3部 市場を生き抜く②産地の確立 首都圏向け戦略急務)	岩手日報	28.11.15
	(コメに懸ける 岩手の挑戦 第3部 市場を生き抜く③二極化 業務用でも続く模索)	岩手日報	28.11.16
	(「銀河のしずく」ふっくら 岩手・雫石給食に登場)	河北新報	28.11.16
	(高級ブランド米「戦国時代」山形に続き青森・岩手が参入)	朝日新聞(地方版)	28.11.17
	(コメに懸ける 岩手の挑戦 第3部 市場を生き抜く④北海道の戦略 CMや売り方に工夫)	岩手日報	28.11.17
	(コメに懸ける 岩手の挑戦 第3部 市場を生き抜く⑤民間の力 普及へPR活動率先)	岩手日報	28.11.18
	(米「銀河のしずく」生消両面でPR強化 管内のホテルと連携、朝食に 岩手県盛岡広域振興局生産者向けシンポ)	日本農業新聞(地方版)	28.11.24
	(新県産米PRに知恵 銀河のしずく確立へ)	岩手日報	28.11.26
	(岩手の「銀河のしずく」「米の甲子園」大賞を受賞)	日経流通新聞	28.11.26
	(「銀河のしずく」大賞 食感や完成度高評価 米のヒット甲子園)	岩手日報	28.12.4
	(ふわり食感豊かな甘み 県産最高級ブランド米は「金色の風」 名称発表会にのんさんも)	朝日新聞(地方版)	28.12.9
	(コメ新品種、2年連続 岩手県、来秋「金色の風」)	日本経済新聞(地方版)	28.12.9
	名称は「金色の風」 平泉の黄金文化連想 最高級オリジナル米「岩手118号」	岩手日報	28.12.9
	(「金銀ブランド」狙う 首都圏で浸透するか)	岩手日報	28.12.9
	(来秋発売の新品種米「岩手118号」 名称「金色の風」に「銀河のしずく」と二枚看板)	河北新報	28.12.9
	(岩手県 あまちゃん「甘〜い」期待の米披露 「金色の風」)	日本農業新聞(地方版)	28.12.9
	(「金銀」の米食べ比べ 盛岡・銀河食堂「金色の風」提供開始)	岩手日報	28.12.10
	(岩手「金色の風」新潟「新之助」・・・ご当地米販促知事自ら奔走 減反廃止にらみ競争激化)	日経流通新聞	28.12.11
	米の新品種「金色の風」ふわり食感と豊かな甘み 来秋デビュー「最高級」全国に	毎日新聞(地方版)	28.12.13
	ふわり食感、甘み売り ブランド米のトップ目指す 「金色の風」今秋デビュー	岩手日日新聞	29.1.3
	「今一番食べてほしいお米」は岩手県の「銀河のしずく」に決定！	日経流通新聞	29.1.9
	(おにぎりに向く米「つや姫」1位 「食味会」で高評価)	日本農業新聞(地方版)	29.1.12

部所名	記事見出し ●は投込記事 ()は関連・間接情報	掲載紙	掲載年月日
作物研究室(つづき)			
	(二枚看板岩手県産米いざ勝負 銀河のしずく 金色の風 減反廃止見据えブランド確立へ)	河北新報	29.1.20
	(新顔米 申請3割増 17年産で42件 有利販売へ導入強化)	日本農業新聞(地方版)	29.1.27
	(岩手県の米新品種「金色の風」本格生産 作付け地限定で500トン 高価格帯めざし独自の出荷条件銘柄確立に全力)	日本農業新聞(地方版)	29.2.1
	(県産米「金色の風」デビューへキックオフ 知事「最高級プレミアム米に」)	朝日新聞(地方版)	29.2.1
	(県最高級オリジナル米「金色の風」いざ出陣 県が生産・販売イベント 関係者、PRへ一丸)	岩手日報	29.2.1
	(第4部描く未来へ①「金色の風」発進 コメに懸ける 産地確立の「切り札」)	岩手日報	29.2.8
	コメに懸ける～岩手の挑戦～第4部 描く未来へ ③環境変化④ 温暖化対応いち早く	岩手日報	29.2.10
	(コメに懸ける～岩手の挑戦～第4部 描く未来へ ④環境変化⑤ 冷害のリスクに対処)	岩手日報	29.2.11
	(コメに懸ける～岩手の挑戦～第4部 描く未来へ ⑤次の一手 生き残り策練る産地)	岩手日報	29.2.12
	(いわて純情米販売戦略学ぶ)	日本農業新聞(地方版)	29.2.14
	(コメに懸ける～岩手の挑戦～第4部 描く未来へ⑥力の結集 魅力広め収益向上を)	岩手日報	29.2.14
	酒米、地方色醸す 相次ぎ復活、新品種開発も 地酒、個性的な味に磨き	日本経済新聞(地方版)	29.2.20
	国内最高目指す 県オリジナル水稲品種「金色の風」栽培研究会を発足 岩手江刺農協技術確立へ情報共有	岩手日日新聞	29.2.22
	今秋デビューの県オリジナル米「金色の風」江刺に栽培研究会 他の産地でも発足へ	岩手日報	29.2.22
	16年産米食味ランキング 「金色の風」特A 本県4品種最高評価 過去最多「銀河のしずく」V2	岩手日報	29.2.24
	歓喜「誇れるコメに」 「金色の風」特A 県産米けん引期待 農家本格栽培へ決意	岩手日報	29.2.24
	(16年産米食味ランキング 金色の風「特A」 県産米4品種で最高評価 銀河のしずく2年連続 県南ひとめぼれ22回目)	岩手日日新聞	29.2.24
	(銀河のしずく3年連続「特A」へ結末 花巻生産者ら育苗管理学ぶ)	岩手日日新聞	29.3.2
	(特Aへ「金色の風」研究会発足 岩手南部で続々ブランドを確立 海外進出にも照準 安全・安心全面に 実証圃設け栽培法確立)	日本農業新聞(地方版)	29.3.4
	(パックご飯登場岩手の特A米「銀河のしずく」老若男女幅広くアピール チンしておいしさ手軽に)	日本農業新聞(地方版)	29.3.17
果樹研究室			
	(ゆず研究会、目標集荷量上回る)	岩手日報	28.6.8
	(26億円達成目指す 今年産リンゴ販売 オリジナル品種強化 全農いわて対策会議・花巻)	岩手日日新聞	28.7.29
	(岩手研究会 リンゴ レベルアップ作戦 「冬恋」増産比率50%へ 先進国で技術磨き)	日本農業新聞(地方版)	28.8.21
	芳醇な味わい全国へ シャインマスカット出発式 販売促進に期待	岩手日日新聞	28.9.22
	(JAいわて花巻 リンゴ「紅いわて」上出来 県オリジナル 甘味が特徴)	日本農業新聞	28.9.23
	(純情りんごコンテスト第2部 3部門の審査スタート)	岩手日日新聞	28.11.25
	(蜜入りプレミアム甘～い「冬恋」 岩手県東京でリンゴPR)	日本農業新聞(地方版)	28.12.18
	(花巻を一大ワイン産地に 岩手初構造改革特区に認定 最低数量緩和 小規模農家参入容易に)	河北新報	29.1.23
	リンゴ早期成園化拍車 苗作り、樹形、雪害対策、地域ごと技術実証	日本農業新聞	29.1.29
	ワイン振興 県が注力 17年度方針 にないて育成へ講座 民間、産地市町村と連携	岩手日報	29.2.5
	(北限のゆず 発信ますます 楽しむ会 新商品を紹介、意見交換)	岩手日報	29.2.15
野菜花き研究室			
	パイプハウス内湿度 飽差利用し最適化 光合成導く5グラム基準に 4パターン制御 岩手農研トマトで実証 収量1.5倍	日本農業新聞	28.5.25
	(全農いわてフラワーコン リンドウ、小菊など119点 吉田さん(西和賀)が最優秀)	岩手日日新聞	28.9.3
	(県の新品種導入を推進 JA岩手ふるさとりんどう専門部)	日本農業新聞(地方版)	28.12.30
	リンドウ海外で花開け 八幡平市・花き研究開発センターと岩手大 主力を改良完成間近に 販路拡大へ期待	岩手日報	29.1.6
	八重リンドウ膨らむ夢 苗から簡易識別技術	岩手日報	29.3.18
南部園芸研究室			
	(暖房燃料使用量を削減 日本型日光温室導入支援マニュアル)	農業共済新聞	28.4.7
	(施設園芸の環境制御におけるICT(情報通信技術)の活用)	日本農業新聞	28.4.28
	(部会全体で経営改善 食・農クラウドAkisai(あきさい))	日本農業新聞	28.5.20
	(日本型日光温室の勧め 布団資材・昼間蓄熱で省エネ 農研機構がマニュアル)	日本農業新聞	28.6.8
	●イチゴの周年栽培に理解 陸前高田市でセミナー	岩手日報	28.6.30
	●周年生産で収益増を イチゴ栽培技術を共有 県が陸前高田でセミナー	東海新報	28.7.1
	(期待高まる国産夏イチゴ 一季成り性・四季成り性最新品種を紹介)	農業共済新聞	28.8.3
	(夏場のイチゴ安定生産へ 果実が大きく良食味「なつあかり」等の普及拡大を目指す)	農業共済新聞	28.9.21

部所名	記事見出し ●は投込記事 ()は関連・間接情報	掲載紙	掲載年月日
南部園芸研究室(つづき)	(甘くて大きいイチゴを夏に 一季成り性イチゴの夏秋どり)	全国農業新聞	28.11.15
	(ポイントは水管理 「よつぼし」技術情報交流会)	日本農業新聞	28.12.16
	(安定出荷に期待込め 自慢のイチゴ連日収穫 米崎町の大規模園芸施設)	東海新報	28.12.31
	(イチゴ「よつぼし」寒冷地の夏秋取りにめど 播種1月15日まで 7月に長日処理)	日本農業新聞	29.1.10
環境部	地球に優しい農業を 北上 専門家らパネル討議	岩手日日新聞	28.12.22
病理昆虫研究室	●害虫防除技術を確立 リンゴ安定生産に期待	岩手日日新聞	28.6.8
	●リンゴ害虫ヒメボクトウ一掃 薬剤併用 効果長く	日本農業新聞	28.6.15
	病害虫防除法学ぶ 水稲直播栽培で現地検討会	岩手日日新聞	28.6.21
	●リンゴ ヒメボクトウの幼虫防除 樹体食入後でも効果	農業共済新聞	28.6.22
病害虫防除部	病害虫防除課		
	水稲育苗箱施用剤の効率的な使い方	日本農業新聞	29.2.14
畜産研究所	家畜育種研究室		
	雫石特産おいしい「えと」 南部かしわ料理に挑戦	岩手日報	29.1.1
	黒毛和種 くず大豆で配合飼料5%代替可能	開拓情報	29.2.15
	黒毛和種の肥育期間 2か月短縮 枝肉重量、成績を確保	日本農業新聞	29.3.21
	家畜飼養・飼料研究室		
	岩手県が「KSAS」中山間地で実証へ	日本農業新聞(地方版)	28.8.30
	外山畜産研究室		
	(牛白血病リスク高い個体 清浄化へ隔離飼育 岩手大など18年度にモデル)	日本農業新聞(地方版)	28.12.22
	種山畜産研究室		
	(肉牛の部成績底上げ)	日本農業新聞(地方版)	29.1.4
県北農業研究所	園芸研究室		
	(加工用タマネギ 春まき栽培初挑戦 太田の農事組合法人 端境期の需要見込む)	岩手日日新聞	28.4.20
	(端境狙い春タマネギ 複合経営の有望品目 JAいわて花巻 技術確立を支援)	日本農業新聞(地方版)	28.4.30
	秋まきより生育早く品薄期に出荷 春まきタマネギ増加 水稲と作業重ならず 複合経営に有望	日本農業新聞(地方版)	28.6.2
	(春タマネギ 栽培期間わずか3ヶ月 JAいわて花巻管内の農事組合法人が初収穫)	日本農業新聞(地方版)	28.8.3
	産地づくりに活発 岩手県北農業研究所 春まきタマネギ確立へ	農経しんぼう	28.8.6
	ハウスのつま面開け機械導入4Kハウス ホウレンソウ雨よけ栽培 岩手県農業研究センター	日本農業新聞(地方版)	28.11.1
	(サラダ用タマネギ 積雪寒冷地で初冬取り 端境期狙い)	日本農業新聞(地方版)	29.3.16
	作物研究室		
	数字で読み解く 農家高齢化減産続く 二戸地域の雑穀 高まる需要も労力ネック	デーリー東北	28.9.27
	(地味にスゴイ岩手雑穀 ホテルシェフ「日本のスパイス」)	朝日新聞(地方版)	29.1.11

7 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	出演者	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部 農業科学博物館	藤原 勝栄	第70回企画展「木の加工と漆塗り」の紹介	NHK	28.11.27	無
技術部 果樹研究室	佐々木 真人	地球温暖化を防ごう！岩手エコ・アクション みんな知らない岩手の異変・リンゴ産地の北上！	IBC岩手放送	28.12.27	無

(2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部 研究企画室	—	岩手県農業研究センター参観デーの開催について(告知)	IBC岩手放送	28.8.19	無

8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
プロジェクト推進室	吉田 宏	水田営農における排水対策	平成28年度畑作物指導指針	29.3
	寺田 道一	大豆の湿害軽減播種技術	平成28年度畑作物指導指針	29.3
	藤田 智美	大豆の小畦立て・ディスク畦立て播種技術	平成28年度畑作物指導指針	29.3
企画管理部 農業経営研究室	吉田 徳子	生産技術体系(2015年度版)	平成29年度畑作物指導指針	29.3
技術部 果樹研究室	浅川 知則	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	平成29年度 岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	29.3
	浅川 知則	リンゴ 基礎編 品種生態と栽培 「各県育成品種」「紅いわて(岩手7号)」	農業技術大系(果樹編)第1-2巻 追録第31号	28.6
作物研究室	尾形 茂	雑草防除(水稲)	平成29年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	29.3
	小原 公則 関村 真梨歩	雑草防除(畑作物)	平成29年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	29.3
	小原 公則 関村 真梨歩	Ⅱ 品目別栽培技術	畑作物指導指針	29.3
	永富 巨人	「金色の風」良食味・高品質 栽培マニュアル	「金色の風」良食味・高品質 栽培マニュアル	29.1
野菜花き研究室	内藤 善美	花き栽培資料(鉢物りんどう)	平成28年度 花き栽培技術指針	29.1
	佐々木 忍	花き栽培資料(切花りんどう)	平成28年度 花き栽培技術指針	29.1
	小田島 雅	花き栽培資料(ヒマワリ)	平成28年度 花き栽培技術指針	29.1
環境部 生産環境研究室	菊地 淑子	土づくり及び補給型施肥	畑作物栽培技術指針	29.3
	菊地 淑子	花きの鮮度保持対策	花き栽培指導指針	29.3
病理昆虫研究室	大友 令史	病虫害管理(防除・農薬)～岩手県における環境に優しい病虫害管理技術～	平成28年度いわてアグリフロンティアスクール講義資料	28.6
	中村 太紀	防除指導資料(果樹・花き病害)	平成29年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	29.3
	中村 太紀	防除指導資料(病害)	花き指導指針	29.3
	羽田 厚	防除指導資料(果樹・花き害虫)	平成29年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	29.3

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
病理昆虫研究室	羽田 厚	防除指導資料(虫害)	花き指導指針	29.3
	菅 広和	防除指導資料(畑作、土壌病害)	平成29年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	29.3
	菅 広和	防除指導資料(水稲病害、資材消毒、展着剤の利用)	平成29年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	29.3
	菅 広和	防除指導資料	畑作物指導指針	29.3
	久保田 真衣	防除指導資料(水稲・畑作害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	平成29年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	29.3
	久保田 真衣	防除指導資料	畑作物指導指針	29.3
	小山田 早希	防除指導資料(野菜病害)	平成29年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	29.3
	小山田 早希	防除指導資料(リンドウこぶ症)	花き指導指針	29.3
	松橋 伊織	防除指導資料(野菜害虫)	平成29年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	29.3
	中村 太紀	防除指導資料(果樹・花き病害)	平成29年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	29.3
	中村 太紀	防除指導資料(病害)	花き指導指針	29.3
	菅 広和	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(病害防除)	平成29年度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	29.3
	久保田 真衣	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(虫害防除)	平成29年度主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	29.3
	菅 広和	ホップ病害虫防除要領	平成29年発行 ホップ栽培暦	29.3
	病害虫防除部 病害虫防除課	高田 真	農薬安全使用指針	平成29年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針
畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	山形 広輔	雑草防除(飼料作物)	平成29年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	29.3
	山形 広輔 佐藤 真 佐々木 睦美	牧草、飼料作物栽培技術指導資料	平成29年度牧草飼料作物生産利用指針	29.3
	佐藤 真	ICTを活用した圃場管理システムの導入について	いわてコントラクター等利用推進協議会開放	29.2
県北農業研究所 作物研究室	高草木 雅人	雑穀の栽培指導資料	平成29年度畑作物指導指針	29.3

9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	72,090 冊
平成28年度収集図書数	367 冊
学会誌	24 冊
資料	73 冊
研究報告	106 冊
気象	4 冊
記録誌	0 冊
国関係刊行物	0 冊
社団法人	2 冊
財団法人	7 冊
図鑑	0 冊
総記	2 冊
単行本	1 冊
定期	0 冊
統計	2 冊
図書	7 冊
洋雑誌	4 冊
CD-ROM	9 冊
雑誌	126 冊
図書室利用者数(延べ)	188 名
同貸し出し冊数	476 冊

※数値はいずれもセンター本部のみ(2017/3/31現在)

10 ホームページ

項目	件数	内訳	
入力件数	研究レポート	70	平成28年度発行分(No.789~823)
	試験研究成果	45	平成28年度試験研究成果書
	研究報告類	4	農業研究センター研究報告 第15号
	らぼ・れたあ	48	No. 1~48(研究トピックス)
	行事予定	4	参観デー、一日子供農業研究員、親子そばづくり体験
	各種資料	46	平成27年度業務年報、高精度直播機新型作溝装置装着マニュアル
	農業科学博物館	6	企画展第68~71回、農業ふれあい公園だより Vol.23~24
	その他	12	月別アクセス状況
アクセス件数	トップページ	27,284	平成28年度分
	総ページビュー	4,344,255	平成28年度分

V 指導・啓発活動

V 指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
農業研究センター主催				
県北農業研究所 園芸研究室	28.7.22	軽米町(県北農業研究所)	平成28年度春まきたまねぎ現地検討会(地域戦略プロ) (春まき作型の栽培法、県内の春まきたまねぎ普及状況、圃場見学)	40名
【新技術・普及活動検討会】(中央農業改良普及センター主催)				
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 種山畜産研究室	29.1.27	滝沢市 (畜産研究所)	平成28年度新技術・普及活動検討会(畜産)	31名
プロジェクト推進室 企画管理部 農業経営研究室 技術部 作物研究室 環境部 生産環境研究室 病理昆虫研究室 県北農業研究所 作物研究室	29.1.25	北上市 (農業研究センター)	平成28年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	39名
技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	29.1.25	北上市 (農業研究センター)	平成28年度新技術・普及活動検討会(花き)	24名
技術部 果樹研究室 環境部 病理昆虫研究室	29.1.18～19	北上市 (農業研究センター)	平成27年度新技術・普及活動検討会(果樹)	25名
企画管理部 農業経営研究室 技術部 野菜花き研究室 南部園芸研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	29.1.24	北上市 (農業研究センター)	平成28年度新技術・普及活動検討会(野菜)	36名
企画管理部 農業経営研究室	29.2.17	北上市 (農業研究センター)	平成28年度新技術・普及活動検討会(経営)	13名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
【普及指導員専門技術研修】(中央農業改良普及センター主催)				
企画管理部 農業経営研究室	29.2.7	北上市 (農業研究センター)	普及指導員手法高度化研修Ⅲ	6名
技術部 果樹研究室	28.5.30 29.3.8	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(核果類)	2名
	28.6.17 28.9.2 29.2.28	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(地域特産果樹)	1名
作物研究室	28.6.20～22	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅰ)	2名
	28.8.17～19	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅱ)	2名
	28.10.17～18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅲ)	2名
	28.11.16～17	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(作物Ⅳ)	2名
	28.10.26	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(畑作)	1名
野菜花き研究室	28.5.25～26	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅰ)	3名
	28.6.9～10	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花きⅠ)	1名
	28.7.5～6	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅱ)	3名
	28.8.23～24	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花きⅡ)	1名
環境部 生産環境研究室	28.10.18	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(花き・鮮度保持)	1名
病虫害防除部 病虫害防除課	28.6.22	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(花き病虫害)	1名
	28.7.27	北上市 (農業研究センター)	スペシャリスト養成研修(果樹病虫害)	2名
畜産研究所 家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	28.7.25～29	滝沢市、盛岡市 (畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修(畜産Ⅰ)	4名
県北農業研究所 園芸研究室	28.8.23～26	軽米町 (県北農業研究所)	普及指導員専門技術基本研修(野菜Ⅲ)	3名

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
プロジェクト推進室				
吉田 宏	平成28年度 東北ソバフォーラム	28.9.6	農研機構 東北農業研究センター	紫波町、盛岡市
寺田 道一	平成28年度 胆江地区水稲直播研修会	29.1.24	奥州農業普及改良センター	奥州地区合同庁舎 江刺分庁舎
寺田 道一	第2回稲作技術対策会議(直播栽培)	29.2.2	農産園芸課	農研センター
吉田 宏	平成28年度 稲作コスト低減研修会	29.2.13	岩手県農業再生協議会・農産園芸課	農研センター
吉田 宏	花北地域水稲直播等コスト低減技術研修会	29.2.23	中央農業改良普及センター 地域グループ	農研センター
寺田道一 吉田 宏	平成28年度 農業機械開発改良試験研究打合せ 会議水田作・畑作分科会(水稲直播・乳苗移植栽培)	29.3.10	農研機構 革新工学センター	さいたま市 (革新工学センター)
吉田 宏 藤田智美	沿岸地域に適した水稲直播等水田農業新技術研修会	29.3.13	大船渡地方農業振興協議会 作物部会	陸前高田市
企画管理部				
農業経営研究室				
及川 浩一	土地改良事業営農推進対策委員会・幹事会合同 現地検討会	28.8.29	農村計画課	一関市
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門) 審査委 員会	28.12.22	農産園芸課	農研センター
及川 浩一	土地改良事業営農推進対策委員会中央幹事会	29.2.6	農村計画課	盛岡市
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(ホップ部門) 表彰式	29.2.15	農産園芸課	盛岡市
及川 浩一	平成28年度岩手県農業経営力向上支援連絡会 議	29.2.16	農業振興課	盛岡市
及川 浩一	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会	29.3.23	陸前高田市	陸前高田市(総合営 農指導センター)
及川 浩一	特産農作物生産振興共進会(タバコ部門) 審査委 員会	29.3.24	農産園芸課	盛岡市
前山 薫	平成28年度第1回農地中間管理事業推進会議	28.5.18	農業振興課	盛岡市
前山 薫	平成28年度第1回稲作生産コスト低減研修会、稲 作生産コスト低減地域行動計画の推進に係る担 当者会議	28.7.15	県産米戦略室(農産園芸課)	農研センター
前山 薫	平成28年度第2回農地中間管理事業推進会議	28.10.14	農業振興課	農研センター
前山 薫	平成28年度岩手県農業農村整備事業地区担い 手育成協議会	28.10.19	農村建設課	盛岡市
前山 薫	平成28年度第2回稲作生産コスト低減研修会	29.2.13	県産米戦略室(農産園芸課)	農研センター
吉田 徳子	花巻農業高校生職場体験研修	28.8.9	花巻農業高校	農研センター
吉田 徳子	キャリアガイダンス	28.9.1	県立盛岡北高等学校	県立盛岡北高等学 校
吉田 徳子	水稲低コスト講習会	29.3.8	みちのくクボタ	矢巾町公民館

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
吉田 徳子 田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第1回WG会議	28.4.26	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第2回WG会議	28.6.30	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第3回WG会議	28.8.29	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第4回WG会議	28.10.25	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会第6回WG会議	29.2.22	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
田中 英輝	陸前高田市大規模施設園芸運営協議会幹事会	29.3.16	陸前高田市	陸前高田市(総合営農指導センター)
技術部				
果樹研究室				
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則 西田 絵梨香 柳本 麻衣	純情りんごコンテスト審査(1期)	28.10.20	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
佐々木 真人 大野 浩 浅川 知則 西田 絵梨香 柳本 麻衣	純情りんごコンテスト審査(2期)	28.11.24～ 25	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
浅川 知則	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	28.11.14	岩手県立農業大学校	金ケ崎町
大野 浩	りんご病害虫防除セミナー 「りんご早期成園化技術」	29.2.21	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
西田 絵梨香	「紅ロマン」「奥州ロマン」栽培技術講習会	29.2.21	県南広域振興局農政部	奥州市江刺区 (ホテルニュー江刺 新館イース)
作物研究室				
渡辺 芳幸 小田中 温美 太田 裕貴	「岩手118号」「銀河のしずく」のブランド化に係る試食会	28.4.28	県産米戦略室	盛岡市 (県庁)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第1回岩手118号栽培方法研究連絡会	28.6.2	県産米戦略室	奥州市江刺区 (奥州合庁江刺分 庁舎)
小原 公則 関村 真梨歩	平成28年度岩手県産麦栽培研修会	28.6.7	岩手県農業再生協議会	一関市
小田中 温美	平成28年度東北ブロック気候変動適応策推進協議会	28.6.30	東北農政局	仙台市 (仙台合同庁舎)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第1回 岩手県銀河のしずく栽培研修会	28.7.8	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)
尾形 茂	平成28年度東北六県主要農作物原種・原原種生産に係わる情報交換会	28.7.14～15	新潟県農業総合研究所作物研究センター	新潟県長岡市 (新潟県農業総合 研究所作物研究セ ンター)
小田中 温美 太田 裕貴 藤岡 智明	いわての美味しいお米生産・販売戦略推進会議PJチーム会議(試食対応含む)	28.7.11	県産米戦略室	盛岡市 (県庁)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第2回岩手118号栽培方法研究連絡会	28.7.12	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
渡辺 芳幸 小田中 温美	いわてオリジナル品種ブランド化戦略(岩手118号)意見交換会	28.7.13	県産米戦略室	奥州市江刺区 (JA江刺) 奥州市胆沢区 (JA岩手ふるさと)
渡辺 芳幸 小田中 温美	サイエンスシンポジウム対応	28.7.18	いわてサイエンスシンポジウム 2016実行委員会 (化学ILC推進室)	盛岡市 (いわて県民情報交 流センター アイ ーナ)
渡辺 芳幸 小田中 温美	いわてオリジナル品種ブランド化戦略岩手118号 意見交換会	28.7.25	県産米戦略室	一関市 (JAいわて平泉)
小原 公則 関村 真梨歩	平成28年度第1回岩手県表民間流通地方連絡協 議会	28.7.26	全農岩手県本部	盛岡市 (産ビル)
小田中 温美	「銀河のしずく」南部鉄器炊き 意見交換会	28.8.31	県産米戦略室	盛岡市 (いわて県民情報交 流センター アイ ーナ)
尾形 茂	水田雑草防除指導(コウキヤガラ調査)	28.9.7	大船渡農業改良普及セン ター	陸前高田市
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第2回 岩手県銀河のしずく栽培研修会	28.9.9	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第3回岩手118号栽培方法研究連絡会	28.9.13	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)
渡辺 芳幸	銀河のしずく及び岩手118号作付推進に係る産地 計画審査委員会	28.11.17	県産米戦略室	盛岡市 (県庁)
仲條 真介	酒米の生産振興に関する意見交換	28.11.28	東北農政局	盛岡市 (東北農政局岩手 県拠点)
鈴木 茂 小田中 温美 太田 裕貴	「岩手118号」名称・ロゴマーク発表会	28.12.8	県産米戦略室	東京都 (時事通信ホール)
小田中 温美	国内産農産物銘柄設定等に係る意見聴取会	28.12.13	東北農政局	盛岡市 (東北農政局岩手 県拠点)
小原 公則	大豆晩播狭畦密植現地試験報告会	28.12.20	東北農業研究センター	紫波町
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	金色の風 第4回研究連絡会	28.12.21	県産米戦略室	一関市 (JAいわて平泉)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	金色の風 第4回研究連絡会	28.12.27	県産米戦略室	奥州市江刺区 (JA江刺) 奥州市胆沢区 (JA岩手ふるさと)
太田 裕貴	炊飯器メーカーとの意見交換(金色の風PR)	28.12.28	県産米戦略室	盛岡市 (県庁)
渡辺 芳幸 小田中 温美 永富 巨人	第3回 岩手県銀河のしずく栽培研修会	29.1.17	県産米戦略室	北上市 (農業研究セン ター)
尾形 茂	平成28年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養 成研修	29.1.17	岩手県	滝沢市 (産業文化セン ター)
尾形 茂	八幡平管内水稲直播栽培実績検討会	29.1.23	八幡平地方直播研究会	八幡平市
尾形 茂	農薬適正販売研修会	29.1.27	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡八幡宮参集殿
永富 巨人	江刺農業・農村活性化研修会	29.2.2	奥州市江刺区認定農業者協 議会	奥州市江刺区 (ホテルニューイ ーズ)
尾形 茂	種子生産者全体研修会	29.2.8	岩手県種子生産部会協議会 岩手県農産物改良種苗セン	盛岡市 (鶯宿温泉)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
小田中 温美 永富 巨人	JA江刺「金色の風」栽培研究会	29.2.21	JA江刺	奥州市江刺区 (JA江刺)
小田中 温美 永富 巨人	JAいわて平泉「金色の風」栽培研究会	29.2.22	JAいわて平泉	一関市 (豊隆会館)
小田中 温美 永富 巨人	JA岩手ふるさと「金色の風」栽培研究会	29.2.24	JA岩手ふるさと	奥州市胆沢区 (JA岩手ふるさと)
鈴木 茂 小田中 温美	金色の風試食・紹介対応(炊飯器マスコミ向けセミナー)	29.3.22～23	パナソニック株式会社	東京都 (ホテルコンラッド東京)
小舘 琢磨	沿岸地域に適した水稻直播等水田農業新技術研修会	29.3.13	大船渡地方農業振興協議会	陸前高田市 (陸前高田市総合 営農指導センター)
渡辺 芳幸	金色の風栽培研究会第1回役員会	29.3.21	県産米戦略室	奥州市(奥州合庁)
野菜花き研究室				
川村 浩美 内藤 善美 佐々木 忍	りんどう採種技術検討会	28.5.25	(公社)岩手県農産物改良種 苗センター	金ヶ崎町 (採種ほ場)
渡辺 芳幸 川村 浩美 松浦 拓也	平成27年度第1回岩手野菜研究会談話会研修会	27.6.23	岩手野菜研究会談話会	盛岡市 (東北農研セン ター)
松浦 拓也	金ヶ崎町促成アスパラ研究会	28.6.24	金ヶ崎促成アスパラ研究会	金ヶ崎町
藤尾 拓也	技術対策部会トマト現地研修会	28.7.21	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市
川村 浩美 内藤 善美 阿部 弘 佐々木 忍	岩手県園芸育種研究会	28.7.29	農産園芸課	北上市 (農研センター)
松浦 拓也	技術対策部会ピーマン現地検討会	28.8.18	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市
田代 勇樹	技術対策部会きゅうり現地研修会	28.8.29	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市
内藤 善美 阿部 弘 佐々木 忍	技術対策部会リンドウ検討会	27.9.1	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市
渡辺 芳幸 川村 浩美	いわてフラワーコンテスト2016審査会	28.9.2	全農岩手県本部、農産園芸 課	北上市 (農研センター)
吉田 泰	技術対策部会なす現地検討会	28.9.12	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	一関市
阿部 弘	第20回りんどう研究会 (AFR) 園芸育種研究会 「塊茎からみたリンドウの多年生ライフ」	28.10.21	りんどう研究会 (AFR) 農産園芸課	盛岡市
田代 勇樹	平成28年度第2回岩手野菜研究会談話会研修会	28.10.24	岩手野菜研究会談話会	盛岡市(岩手大学)
藤尾 拓也	技術対策部会果菜3品実績検討会 「ハウス管理の基本と多収化への第一歩」	28.12.22	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市
藤尾 拓也	園芸ICT勉強会	29.1.19	一関農林振興センター	一関市
藤尾 拓也	一番星育成事業成果発表会	29.1.30	農産園芸課	盛岡市
藤尾 拓也	園芸セミナー 「ハウス管理の基本と多収化への第一歩～多段階 飽差制御の現地導入にあたって～」	29.2.9	農産園芸課	滝沢市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
川村 浩美 田代 勇樹 吉田 泰	平成27年度第3回岩手野菜研究会談話会研修会	29.3.22	岩手野菜研究会談話会	盛岡市 (東北農研センター)
南部園芸研究室				
有馬 宏 千葉 彩香 太田 祐樹 鈴木 朋代	平成28年度合同新施設園芸ICT見学会	28.6.10	UECS研究会	陸前高田市
太田 祐樹	平成28年度合同新施設園芸ICTセミナー	28.6.11	UECS研究会	北上市
千葉 彩香 鈴木 朋代	いちご目揃い会及び研究紹介	28.6.16	JAいわて花巻	西和賀町
有馬 宏 太田 祐樹	岩泉町低コスト耐候性ハウス利用によるイチゴ栽培に関する打合せ	28.8.10	宮古農業改良普及センター	岩泉町
有馬 宏 千葉 彩香 太田 祐樹 鈴木 朋代	技術対策部会トマト現地検討会	28.9.27	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	陸前高田市
有馬 宏 千葉 彩香 太田 祐樹 鈴木 朋代	第80回日本養液栽培研究会岩手大会	28.11.2	日本養液栽培研究会	陸前高田市
有馬 宏	平成28年度大船渡地方農業振興大会	29.2.7	大船渡地方農業振興協議会	陸前高田市
環境部				
生産環境研究室				
島 輝夫	いわてアグリフロンティアスクール	28.6.21	岩手大学	盛岡市 (岩手大学)
数藤 慶亮	「銀河のしずく」栽培研究会研修会	28.7.8	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
数藤 慶亮	「岩手118号」栽培研究会研修会	28.7.12	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
島 輝夫	INS土づくり等合同研究会	28.8.4	INS土づくり研究会	盛岡市 (JAいわて中央)
数藤 慶亮	「銀河のしずく」栽培研究会研修会	28.9.9	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
数藤 慶亮	「岩手118号」栽培研究会研修会	28.9.13	県産米戦略室	北上市 (農研センター)
島 輝夫	平成28年度土づくり施肥改善研修会(基礎)	28.11.7 28.11.14	農業普及技術課	奥州市江刺総合支所 滝沢市(畜産研究所)
島 輝夫	平成28年度土づくり施肥改善研修会(専門)	28.11.21	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
島 輝夫	平成28年度土壌診断処方箋作成研修会	28.11.28	農業普及技術課	紫波町 (JAいわて中央)
島 輝夫	雲南省農業シンポジウム	28.11.30	農業普及技術課	盛岡市
菊地 淑子	普及会花き部会研修会	29.2.7	普及会花き部会	北上市 (農研センター)
菊地 淑子	なす技術対策部会	29.2.21	農産園芸課	一関市
葉上 恒寿	沿岸地域水田農業新技術研修会	29.3.13	大船渡農業振興協議会 東北農業研究センター	陸前高田市

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
病理昆虫研究室				
大友 令史	平成28年度いわてアグリフロンティアスクール	28.6.29	岩手大学農学部地域連携推進室	盛岡市 岩手大学
大友 令史	純情りんごコンテスト審査(2期)	28.11.24～ 25	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
羽田 厚	平成28年度第1回りんご病害虫防除研修会 ヒメボクトウの防除方法について	28.6.8	全国農業協同組合連合会岩手県本部	農研センター会議室
羽田 厚	平成28年度岩手県農業農村指導士協会 果樹部 会研修	28.6.16	岩手県農業農村指導士協会	農研センター会議室
羽田 厚	平成28年度奥州若手りんご生産者現地研修会	28.7.8	奥州農業改良普及センター	農研センター会議室
羽田 厚	平成28年度普及指導員スペシャリスト養成研修	28.7.27	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議室
羽田 厚	第4回北東北連携昆虫学セミナー	28.8.9～10	岩手大学農学部	秋田県大館市 比内ベニヤマ荘
羽田 厚	平成28年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	28.11.17	岩手県植物防疫協会	花巻市 ホテル志戸平
羽田 厚	雲南省農業シンポジウム	28.11.30	農業普及技術課	盛岡市 ホテルメトロポリタン
羽田 厚	平成28年度病害虫防除実績検討会(果樹部会)	28.12.16	病害虫防除所	農研センター会議室
羽田 厚	平成28年度新技術・普及活動検討会(果樹部門)	29.1.18	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議室
菅 広和	北上市水稲直播栽培現地検討会	28.6.20	JA花巻北上地域営農センター・中央農業改良普及センター 地域普及グループ・北上 地方農業振興協議会	農研センター会議室
菅 広和	普及員専門技術基本研修(作物Ⅰ期)	28.6.21	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議室・ほ場
菅 広和	ホップ技術検討会	28.11.17	全国ホップ連合会	仙台市 メルパルク仙台
菅 広和	平成28年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	29.1.25	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議室
菅 広和	平成29年度ホップ栽培歴検討会	28.1.23～24	岩手県ホップ連合会	盛岡市 ホテル愛真館
菅 広和	平成28年度病害虫防除員等防除指導研修会	29.2.2	病害虫防除所 病害虫防除員協議会 病害虫防除連絡協議会	農研センター会議室
菅 広和	秋田県ホップ栽培作業暦編成会議	29.3.2	秋田県ホップ組合連絡協議会	秋田市 ふきみ会館
久保田 真衣	第1回JAいわて中央水稲直播研究会研修会	28.4.5	JAいわて中央直播研究会	紫波町 紫波グリーンホテル
久保田 真衣	平成28年度岩手県病害虫防除員等指導者研修会	28.6.3	病害虫防除所	農研センター会議室
久保田 真衣	普及員専門技術基本研修(作物Ⅰ期)	28.6.21	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議室・ほ場
久保田 真衣	花巻市水稲直播栽培現地検討会	28.6.22	JA花巻営農推進部・中央農業改良普及センター 地域普及グループ・花巻市農業振興 対策本部	農研センター会議室

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
久保田 真衣	平成28年度専門技術基本研修(野菜 第IV期)	28.9.6	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
久保田 真衣	平成28年度病害虫防除実績検討会(水稲・畑作 部会)	28.12.13 28.12.21	病害虫防除所	農研センター会議 室 県北農研会議室
久保田 真衣	平成28年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	29.1.25	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
久保田 真衣	平成28年度東北農業試験研究推進会議作物生 産推進部会 直播研究会	29.1.30	農研機構 東北農業研究セン ター	東北農研センター 会議室
久保田 真衣	農薬適正販売研修会	29.1.31	岩手県農薬卸商業協同組合	盛岡市 八幡宮「参集殿」
小山田 早希	平成28年度園芸産地改革戦略推進会議技術対 策部会・全農産地改革ネットワーク合同「ピーマ ン研修会」	28.8.18	推進会議会長(農産園芸課 総括課長)	農研センター会議 室
小山田 早希	キュウリホモプシス根腐病総合防除対策にかかる 緩衝能曲線作成研修	28.8.29	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター実験 室
小山田 早希	ホクレン主任技師研修「転炉スラグを用いた土壌 ph改良によるホウレンソウ萎凋病の被害軽減技術 に関する研修」	28.8.30	ホクレン農業協同組合連合会	農研センター会議 室
小山田 早希	平成28年度専門技術基本研修(野菜 第IV期)	28.9.6	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
小山田 早希	平成28年度岩手県植物防疫関係者技術研修会	28.11.17	岩手県植物防疫協会	花巻市 ホテル志戸平
小山田 早希	平成28年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養 成研修	29.1.17	農業普及技術課	滝沢市 岩手産業文化セン ター
小山田 早希	第2回園芸学会とウイルス学の異文化融合研究会	29.3.18	園芸学会・日本植物病理学 会	神奈川県藤沢市 日本大学
松橋 伊織	平成28年度新採用職員研修(6月期)「先輩からの メッセージ」	28.6.14	人事課	盛岡市 岩手県産業会館
松橋 伊織	第4回北東北連携昆虫学セミナー	28.8.9～10	岩手大学農学部	秋田県大館市 比内ベニヤマ荘
松橋 伊織	平成28年度専門技術基本研修(野菜 第IV期)	28.9.6	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
松橋 伊織	平成28年度病害虫防除実績検討会(野菜・花き 部会)	28.12.14	病害虫防除所	農研センター会議 室
松橋 伊織	平成28年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養 成研修	29.1.17	農業普及技術課	滝沢市 岩手産業文化セン ター
松橋 伊織	平成28年度新技術・普及活動検討会(野菜部門)	29.1.24	中央農業改良普及センター 県域グループ	農研センター会議 室
病害虫防除部				
病害虫防除課				
高田 真	農薬等の使用に関する講習会	28.8.23	大船渡市応急仮設住宅支援 協議会	大船渡市
高田 真	農薬管理使用アドバイザー更新研修	28.9.21	農業普及技術課	二戸市
高田 真	農薬管理使用アドバイザー養成研修	29.1.17	農業普及技術課	滝沢市
高田 真	(株)花果「青果物出荷促進協議会」	29.2.14	株式会社 花果	花巻市
本田 純悦	農業大学校新規就農者研修会	28.5.19	農業大学校	金ヶ崎町

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
阿部 洋	第1回りんご病害虫防除研修会	28.6.8	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
阿部 洋	第2回りんご病害虫防除研修会	28.7.14	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
阿部 洋	花巻農業高校職場体験	28.8.8	花巻農業高校	北上市 (農研センター)
阿部 洋	農業普及員植物防疫事業専門研修	28.11.11	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
阿部 洋	植物防疫関係者技術研修会	28.11.11	県植物防疫協会	花巻市
阿部 洋	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	28.12.22	盛岡地方農業農村振興協議会	盛岡市
阿部 洋	一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	29.1.16	一関地方農林業振興協議会	一関市
阿部 洋	江刺りんご農薬選定会議	29.1.18	JA江刺	江刺区
阿部 洋	一関地方りんご病害虫防除暦編集会議	29.1.16	一関地方農林業振興協議会	一関市
阿部 洋	江刺りんご農薬選定会議	29.1.18	JA江刺	江刺区
本田 純悦	県無人ヘリコプタ推進協議会研修会	28.4.28	県無人ヘリ協議会(県農済連)	盛岡市
猫塚 修一	病害虫防除員技術研修会	28.6.3	県病害虫防除員協議会	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	普及指導員スペシャリスト養成研修	28.6.22	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	農薬アドバイザー更新研修	28.11.1	農業普及技術課	滝沢市
佐藤 美和子	大船渡市農協きゅうり生産部会研修会	28.12.12	大船渡市農業協同組合、大船渡市農協きゅうり生産部会	住田町
佐藤 美和子	ピーマンにおける農薬の適正使用研修会	28.10.25	岩手ふるさと農業協同組合、岩手ふるさと農協園芸ピーマン専門部	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	新技術・普及活動検討会(野菜部門)	29.1.24	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
佐藤 美和子	新技術・普及活動検討会(花き 部門)	29.1.25	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
田村 恵里佳	農薬管理使用アドバイザー更新研修	28.10.14	農業普及技術課	釜石市
畜産研究所				
家畜育種研究室				
昆野 勝	家畜受精卵移植講習会	28.9.12,14,15,16,20,21,27,	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
細川 泰子	家畜受精卵移植講習会	28.9.8,9,15,16,20,21,27,28,29	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
細川 泰子	畜産技術連盟研修会(黒毛和種繁殖牛の受胎率向上のための飼料給与プログラムと血液検査指標値)	28.11.11	畜産技術連盟	盛岡市
神山 洋	家畜人工授精講習会	28.11.10,28	畜産課	農業大学校
昆野 勝	家畜人工授精講習会	28.11.8,18,3	畜産課	農業大学校
安田 潤平	家畜商講習会	28.12.20	流通課	盛岡市
神山 洋	家畜商協・東北北海道地区枝肉共励会研修会	28.11.12		

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
神山 洋	家畜飼養管理 I (産肉能力検定における肉用牛の飼養管理)	29.1.24	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
安田 潤平	JA新いわてくじ短角肥育部会研修会	29.2.9	JA新いわてくじ短角肥育部会	久慈市
家畜飼養・飼料研究室				
越川 志津	家畜人工授精講習会	28.11.24	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
越川 志津	農業大学校講義(家畜飼養管理 I (酪農):カウコンフォートのための飼養管理技術)	28.11.14	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	農業大学校講義(家畜飼養管理 I (酪農):牛群検定成績見方)	29.1.24	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	家畜人工授精講習会	28.11.28	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
伊藤 孝浩	家畜商協講習会	28.12.19	流通課	盛岡市
佐藤 真	コントラクター等へのICTを活用した圃場管理システムの導入について	28.12.21	いわてコントラクター等利用推進協議会	盛岡市
外山畜産研究室				
大宮 元	家畜人工授精講習会	28.12.1	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
飯村 太一	農業大学校講義(本県の肉用牛放牧管理について)	28.12.7	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
種山畜産研究室				
高畑 博志	宮城全共第7区選抜会(県南)	28.6.28	全共出品対策委員会	奥州市
高畑 博志	宮城全共第7区選抜会(中央)	28.6.29	全共出品対策委員会	雫石町
高畑 博志	宮城全共第3区選抜会(県南)	28.8.30	全共出品対策委員会	奥州市
澤田 建	宮城全共に向けた飼養管理研修会	28.7.19	全共出品対策委員会	滝沢市
澤田 建	岩手県高等学校長協会OB会農業部会総会	28.10.8	岩手県高等学校長協会	盛岡市
羽田 雅紀	JA平泉全共決起大会	28.12.13	JA平泉	一関市
澤田 建	気仙地域和牛研修会	28.12.16		
澤田 建	JA岩手ふるさと和牛改良組合養牛友の会研修会	28.12.22	JA岩手ふるさと和牛改良組合	奥州市
澤田 建	県南・いわて和牛中央育種組合和牛女性研修会	29.2.1	全農岩手県本部	花巻市
澤田 建	JA岩手ふるさと和牛改良組合二の台分会勉強会	29.2.5	JA岩手ふるさと和牛改良組合	奥州市
澤田 建 羽田 雅紀	家畜人工授精講習会	28.11.21~ 22	畜産課	住田町(種山)
高畑 博志 澤田 建	家畜人工授精講習会	28.11.25,29	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
高畑 博志	農業大学校講師	28.8.25, 12.1	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
高畑 博志	家畜人工授精担当者会議	29.3.2	岩手県畜産協会	盛岡市
澤田 建	子牛市場ワンポイント講習会	28.9.7,8	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)
高畑 博志 澤田 建 羽田 雅紀	子牛市場ワンポイント講習会	28.9. 14,15,16	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
澤田 建	子牛市場ワンポイント講習会	28.12.7,8	全農岩手県本部	奥州市 (県南家畜市場)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
高畑 博志 羽田 雅紀	子牛市場ワンポイント講習会	28.12. 14,15,16	全農岩手県本部	雫石町 (中央家畜市場)
県北農業研究所				
作物研究室				
高橋 好範 高草木 雅人 齊藤 智宏	水田営農に係る現地研修会	28.7.22	二戸農業改良普及センター	二戸市金田一地区
高草木 雅人	INS合同現地研究会	28.8.4	INS未利用資源研究会、INS土づくり研究会、INSいわて雑穀研究会、INS岩手県リン資源地産地消研究会	JAいわて中央・盛岡地域営農センター
高橋 好範	一戸町雑穀・栽培ほ場(畑)巡回研修会	28.8.9	一戸町 一戸町五穀会	一戸町鳥海地区ほか
高橋 好範	日本国岩手県・中華人民共和国雲南省農業シンポジウム	28.11.30	岩手県	盛岡市(盛岡市メロポリタンNEWWING)
高草木 雅人	花巻農協 雑穀生産拡大実績検討会	29.1.18	花巻農協協同組合	大迫ふるさとセンター
高橋 好範 高草木 雅人 齊藤 智宏	平成28年度集落営農に係る新技術研修会	29.1.24	二戸農業改良普及センター	二戸市 JA新しいわて北部営農経済センター 会議室
高草木 雅人	平成28年度一戸町雑穀栽培セミナー	29.2.21	一戸町 一戸町五穀会	一戸町町民文化センター
高橋 好範	新岩手農協稲作生産部会九戸支部研修会	29.3.3	新岩手農協稲作生産部会九戸支部	高松魚店
高橋 好範	薬用作物産地振興研修会	29.3.9	八幡平農業改良普及センター	岩手町岩手交流センター「プラザあい」
高草木 雅人	若手雑穀生産者研修会	29.3.10	二戸農業改良普及センター	二戸市(合同庁舎)
園芸研究室				
横田 啓	春まきたまねぎ栽培指導会	28.6.9	二戸青果生産組合	二戸市 (二戸青果市場)
横田 啓	平成28年度東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会 病害虫研究会(夏期)	28.8.25～26	東北農業試験研究推進会議	仙台市 (宮城県自治会館)
横田 啓	岩手県植物防疫関係者技術研修会 (内容 ほうれんそう害虫に関する近年の試験状況)	28.11.17	岩手県植物防疫協会	花巻市
横田 啓	春まきたまねぎ打合会	28.11.22	二戸青果生産組合	二戸市 (二戸青果市場)
横田 啓	花巻玉ねぎ生産組合 平成28年度加工用玉ねぎ実績検討会	28.11.28	花巻玉ねぎ生産組合	花巻市 (ホテル紅葉館)
横田 啓	平成28年度園芸産地改革ネットワーク「加工業務用野菜部会」春植えタマネギ研修会(栽培概要・)	28.12.20	JA全農いわて	矢巾町 (全農いわて)
横田 啓	春まきたまねぎ栽培指導会	29.2.7	二戸青果生産組合	二戸市 (二戸青果市場)
長嶺 達也	平成28年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同「ほうれんそう実績検討会」	28.12.9	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会葉菜リーダー	全農いわて県北園芸センター
長嶺 達也 横田 啓	平成28年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同「ほうれんそう安定生産技術検討会」	28.5.19	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会葉菜リーダー	八幡平農業改良普及センター
長嶺 達也	平成28年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同「ほうれんそう品種検討会」	28.10.18	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会葉菜リーダー	全農いわて県北園芸センター

担 当 部 所 研究室 担当者	内 容	年 月 日	依 頼 者	場 所
長嶺 達也	平成28年度園芸産地改革戦略推進会議技術対策部会・全農産地改革ネットワーク合同「ほうれんそう査定会および中間検討会」	28.7.20	岩手県園芸産地改革戦略会議技術対策部会葉菜リーダー	盛岡中央卸売市場
長嶺 達也	寒玉キャベツ検討会	28.12.13	全農いわて園芸部	全農いわて県北園芸センター

3 視察者、見学者の受け入れ状況

区分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備考
本部	1,368 人	2,000 人	3,368 人	・平成28年4月～平成29年3月
畜産研究所	852 人	816 人	1,668 人	
種山畜産研究室	295 人		295 人	
県北農業研究所	300 人	200 人	500 人	
計	2,815 人	3,016 人	5,831 人	

4 春季一般公開及び参観デー

名称	開催期日	開催場所	参集人員
春季一般公開	28.4.14～19	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	101 名
参観デー(本部)	28.9.3	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	2,000 名
参観デー(畜産研究所)	28.8.25～27	岩手産業文化センター(アピオ)	816 名
一般公開デー(県北農業研究所)	28.9.3	県北農業研究所	200 名

5 技術セミナー等の開催

開催期日	開催場所	主な内容	参集人員	担当室・課
28.12.26	陸前高田市	水稻直播栽培および大豆栽培技術	25名	プロジェクト推
28.6.29	陸前高田市	いちご栽培セミナー	20名	南部園芸
28.7.29	陸前高田市	トマト長期どり栽培セミナー	26名	南部園芸
28.12.26	陸前高田市	種子繁殖型イチゴ‘よつぼし’栽培セミナー	34名	南部園芸
28.7.22	軽米町	「大規模水田経営における簡易地下水位制御と良質苗・病虫害防除を核とした春まきタマネギの安定生産技術の開発と実証」平成28年度現地検討会	40名	園芸(県北)

6 一日子供農業研究員

名称	開催期日	内容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み農業 研究体験～	28.7.29	小学5年生を対象とした研究体験 イネを学ぶ～新品種「銀河のしずく」を食べてみよう！ ・米の食味試験体験 ・稲体の分解調査 講師:技術部作物研究室 職員	15名

7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者

項目	主な内容	開催年月日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	7,622名	
		農業研究センター春季一般公開	28.4.14～19 (101名)	
		農業研究センター参観デー	28.9.3 (847名)	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に合わせて年4回展示紹介		—
		第68回「生活・生業と木の製品」	28.4.10～6.24	
		第69回「いわての野良着～先人の合理的な仕事着に学ぶ」	28.7.3～9.25	
		第70回「木の加工と漆塗り」	28.10.9～12.23	
	イベント	第71回「生業とくらしを支えた農家住宅」	29.1.12～3.29	
		「松飾り作り体験」	28.12.18	6名(3組)
	その他	「そばを作って食べてみよう！」	4回	10名(5組)
学校教育支援活動 30校(社会科実習、校外学習等の受入)		-	1,116名(26校)	
在宅高齢者支援活動(北上市在宅高齢者ふれあいデイサービス事業)		-	104名(3団体)	
農業ふれあい公園 ゲートボール場	ゲートボール、グラウンドゴルフ	利用期間 4月～11月	8,665名 (347件)	
農業ふれあい公園 加工工房	加工試作	そば打ち体験	28.11.6 10名	

8 研修生の受け入れ

(1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(パキスタン国ギルギット・バルティスタン地域高付加価値果実産品振興プロジェクト) 14名	パキスタン国ギルギット・バルティスタン地域	岩手県の農業試験研究に関する技術・知識の習得	企画管理部(研究企画室) 技術部(果樹研究室)	28.11.29

(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
(なし)				

(4) 体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
北上市立飯豊中学校 2年生	職場体験学習	2	研究企画室	28.10.26～27
盛岡市立米内小学校 4年生	山菜の採取、加工及び販売の体験学習(うち採取)	21	外山畜産研究室	28.5.27
滝沢市立滝沢第二中学校2年	職場体験学習	4	家畜飼養・飼料研究室	28.7.6
盛岡市立米内中学校 2年生	職場体験学習	1	外山畜産研究室	28.8.25
軽米町立晴山保育園	サツマイモ作り体験(苗定植)	40	県北農業研究所	28.6.16

イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
花巻農業高等学校	職場体験研修	1	研究企画室 プロジェクト推進室 農業経営研究室 果樹研究室 作物研究室 野菜花き研究室 病理昆虫研究室	28.8.5 28.8.8～9
岩谷堂高等学校 1年生	職場見学	40	研究企画室 プロジェクト推進室 作物研究室 農業科学博物館	28.8.30

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
岩手大学農学部農業生命科学課程 3年	農業研究センターの研究概要(耐冷性検定圃場など)	32	作物研究室ほか	28.7.4
県立農業大学校農業研修生	農業研究センター内の野菜・花きに関する試験実施内容について	10	野菜花き研究室	28.6.23
岩手県立農業大学校生	農業研究センター内の野菜に関する試験実施内容(先端プロ、環境制御技術)について	43	南部園芸研究室	28.10.18
岩手県農林水産部採用2年目職員	職場見学	29	家畜育種研究室	28.5.31
岩手大学農学部動物科学科生物産業科学コース 3年	畜産研究所における研究概要	36	家畜飼養・飼料研究室	28.6.24
県立農業大学校畜産学科 1年事例視察研修	畜産研究所の牛に係る研究概要	17	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	28.7.21
岩手大学農学部・東京農工大学農学部共同獣医学科 1年	畜産研究所における研究概要と乳牛・肉牛管理の見学	76	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	28.9.13
日本大学	畜産研究所における研究概要	17	外山畜産研究室 家畜育種研究室	28.10.5
岩手大学農学部動物科学科 2年	畜産研究所における研究概要と乳牛・肉牛管理の見学	32	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	28.10.6
岩手大学農学部共同獣医学科 5年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	29	種山畜産研究室	28.6.1
岩手大学農学部動物科学課程 4年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	16	種山畜産研究室	28.7.12
岩手県立農業大学校畜産学科 1年	黒毛和種種雄牛造成、凍結精液生産について	17	種山畜産研究室	28.8.23

ウ インターンシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
(新規就農者16名)	農業大学校	新規就農者研修	果樹研究室 作物研究室 野菜花き研究室 他	28.6.23
(新採用職員45名)	岩手県農林水産部	農林水産部新採用職員研修	作物研究室 病理昆虫研究室 他	28.5.31
青柳 美奈子	日本大学生物資源科学部獣医学科4年	・畜産研究所の業務概要 ・岩手県における肉用牛種雄牛造成	種山畜産研究室	28.8.25
小野 歌純	岩手大学農学部共同獣医学科5年	・畜産研究所の業務概要 ・岩手県における肉用牛種雄牛造成	種山畜産研究室	28.9.14
安部 瑠利香	岩手大学農学部動物科学科3年	インターンシップ研修	家畜飼養・飼料研究室	28.9.12～13

9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	商工労働観光部科学・ものづくり振興課
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 副所長 企画管理部長 技術部長 環境部長 病害虫防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	技術部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	農業普及技術課
岩手県農薬管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病害虫防除部長 環境部長	農業普及技術課
放射性物質の農作物等への影響に係る 生産管理指導対策会議	構成員	環境部長 畜産研究所次長	農業普及技術課
特別栽培農産物に係る慣行レベル検討会議	構成員	プロジェクト推進室長 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 病理昆虫研究室長 病害虫防除課長 次長兼園芸研究室長(県 北研) 作物研究室長(県北研)	農業普及技術課
岩手GAP推進チーム	構成員	病理昆虫研究室長	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	技術部長	団体指導課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	技術部長	県産米戦略室
いわての大豆普及推進協議会	委員	技術部長	流通課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 技術部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県 北研)	農村計画課

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県農業農村整備事業地区 担い手育成協議会	委員	農業経営研究室経営 チーム長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 次長兼園芸研究室長(県 北研)	農産園芸課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	技術部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員 技能検定員	プロジェクト推進室長 主任技能員、技能員 (プロジェクト推進室、 技術部、環境部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局員	委員 事務局員	技術部長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
岩手県特産農作物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 病理昆虫研究室 農業経営研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
稲作生産コスト低減推進会議	委員 幹事	企画管理部長 農業経営研究室長	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員 構成員	プロジェクト推進室長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
いわてリーディング経営体育成支援事業等経営発 展計画選定委員会	審査委員	農業経営研究室長	農業振興課
生産技術体系・営農類型策定ワーキングチーム	副チーム長 チーム員	農業経営研究室長 農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
農業担い手対策等課題解決チーム	チーム員	農業経営研究室経営 チーム長	農業振興課
岩手県農業経営力向上支援連絡会議	構成員	農業経営研究室長	農業振興課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	所長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会	専門委員	病害虫防除部長	環境省 水・大気環境局
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	東北農政局
生産資材費低減の観点から踏まえた病害虫防除の 在り方検討会	委員	病理昆虫研究室長	農林水産省
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	大船渡農業改良普及センター
大船渡地方農林水産振興連絡協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
陸前高田市総合農政推進協議会	委員	南部園芸研究室長	陸前高田市
住田町農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	住田町
気仙地域木質バイオマスエネルギー利用促進会 議	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
陸前高田市大規模園芸施設運営協議会	委員	南部園芸研究室長	陸前高田市
農業機械等緊急開発事業推進プロジェクトチーム	チーム委員	プロジェクト推進室長	(独)農研機構・農技術革新工学研究センター
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
園芸学会東北支部	評議員	野菜花き研究室長	山形大学農学部
東北畜産学会	評議員	畜産研究所長、次長	東北大学農学部
岩手農林研究協議会(AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 技術部長	岩手大学農学部

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	環境部長 畜産研究所長 果樹研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 次長兼園芸研究室長(県北研)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	技術部長 果樹研究室長 研究室員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	技術部長 野菜花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合損害評価会	損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (農作物・水稲) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (果樹) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (農作物・麦) 損害評価審議委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価審議委員 (畑作物・麦・ 大豆・ホップ) 損害評価審議委員 (園芸施設) 審議委員(家畜) 家畜診療所運営委 員	主査(病虫害防除課) 上席専門研究員 (技術部作物研究室) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任主査 (病虫害防除課) 主査専門研究員 (技術部作物研究室) 主査 (病虫害防除課) 主査専門研究員 (技術部作物研究室) 主任 (病虫害防除課) 野菜花き研究室長 畜産研究所次長 (研究担当) 畜産研究所次長 (研究担当)	岩手県農業共済組合
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病虫害防除課長	岩手県農業共済組合
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員	作物研究室長(技術部)	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(社)岩手県植物防疫協会	幹事 幹事 幹事 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員 試験委員会委員	技術部長 環境部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 作物研究室長(技術部) 果樹研究室長 野菜花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	(社)岩手県植物防疫協会

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
種子価格設定委員会	委員	作物研究室長(技術部)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	作物研究室長(技術部) 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県飼料増産推進協議会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	畜産課
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 委員	畜産研究所長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種研究会	評議員	家畜育種研究室長	日本短角種研究会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
国産牛肉新需要創出緊急対策事業地方特定品種牛肉検討部会	委員	家畜育種研究室長	(社)全国肉用牛振興基金協会
日本ホルスタイン登録協会岩手県支部	評議員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
土壌医の会全国協議会	幹事	作物研究室長(県北)	(一財)日本土壌協会
農業機械等緊急開発事業推進プロジェクトチーム	委員	上席専門研究員 (県北研園芸研究室)	農研機構 農業技術革新工学研究センター
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所

VI 職員研修

VI 職員研修

1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	リンゴ重点防除害虫の分子生物学的識別と個体群構造の解析	東京農工大学大学院連合農学研究科	25.10～ 28.9
上席専門研究員 増田 隆晴	畜産研究所 外山畜産研究室	高標高・寒冷地域における粗飼料調製技術に関する研究	岩手大学大学院連合農学研究科 (岩手大学)	23.4～

2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
プロジェクト推進室長 高橋 昭善	プロジェクト推進室	雲南省との連携に係る農業分野の可能性調査	中華人民共和国雲南省昆明市	28.7.22～30

3 国内研修への派遣

(1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	数理計画法(線形計画法)による技術評価及び営農モデルの構築	国立研究開発法人・農研機構東北農業研究センター	28.6.1～6.30
主査専門研究員 伊藤 孝浩	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	高泌乳牛における乾乳期間短縮と繁殖成績および周産期疾病発生との関係の解明	国立研究開発法人・農総研機構北海道農業研究センター	28.8.17～ 11.13
専門研究員 福田 拓斗	東北農業研究所 園芸研究室	秋冬どりキャベツ等、葉茎菜類の高品質安定生産技術に関する研究	国立研究開発法人・農総研機構北海道農業研究センター	28.9.20～ 12.22

(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(3) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
(該当なし)				

(5) 農林水産関係研究者研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 廣田 志紀子	病虫害防除部 病虫害防除課	平成28年度病虫害防除所等中央研修	横浜市(横浜植物防疫所)	28.12.6～9

(6) その他

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	東北大豆セミナーinいわて	北上市、奥州市、北上市	28.9.6
上席専門研究員 吉田 宏 主査専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	第31回日本雑草学会シンポジウム	東京都	28.9.26
企画管理部長 島山 俊行 農業経営研究室長 及川 浩一 上席専門研究員 前山 薫 主査専門研究員 吉田 徳子 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	平成28年度「農業経済研究ネットワークいわて」研究会	盛岡市	28.6.11
農業経営研究室長 及川 浩一 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	震災復興研究会	東京都	28.6.17
農業経営研究室長 及川 浩一	企画管理部 農業経営研究室	農林水産政策研究所 研究成果報告会	東京都	28.7.28
農業経営研究室長 及川 浩一 上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	第59回東北農業試験研究発表会	青森県青森市	28.8.10
企画管理部長 島山 俊行 農業経営研究室長 及川 浩一 上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	アグリビジネス創出フェア	東京都	28.12.14～16
農業経営研究室長 及川 浩一	企画管理部 農業経営研究室	県民経済計算、市町村民経済計算及び産業 連関表に係る概要説明会	盛岡市	29.2.10
農業経営研究室長 及川 浩一	企画管理部 農業経営研究室	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) マッチングフォーラム	東京都	29.3.14
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	日本農業普及学会 第7回EXセミナー(平成 28年)	茨城県竜ヶ崎市の	28.8.6
上席専門研究員 前山 薫 主査専門研究員 吉田 徳子 専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	平成28年度日本農業経営学会研究大会	京都府京都市	28.9.15～18
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	平成28年度活力ある東北農業を創造するた めのセミナー第2回プログラム	盛岡市(東北農業研 究センター)	28.10.19
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	地域再生セミナー	盛岡市	29.1.23
上席専門研究員 前山 薫 主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	2017年度日本農業経済学会大会	千葉県千葉市	29.3.28～29
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	農業経営管理支援・経営分析研修会	盛岡市	28.10.27
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	平成28年度第1回いわて復興未来塾	盛岡市	28.6.18
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	平成28年度活力ある東北農業を創造するた めのセミナー	盛岡市	28.7.14
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	GPEC施設園芸・植物工場展	東京都	28.7.27～29
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	第52回東北農業経済学会青森大会	青森県弘前市	28.8.25～26

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	次世代施設園芸フォーラム	高知県高知市	29.1.26～27
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	東北ソバ研究会	宮城県仙台市	29.2.3
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	第38回施設園芸総合セミナー	東京都	29.2.16～17
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITサポート研修会	盛岡市	28.6.2
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITマスタ技術研修会	盛岡市	28.6.24
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ホームページ職員研修会	盛岡市	28.7.26
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	職務発明セミナー	盛岡市(工業技術センター)	28.9.14
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	月刊「農業普及」編集委員研修会	盛岡市	28.9.26
果樹研究室長 佐々木 真人	技術部 果樹研究室	平成28年度園芸学会秋季大会・シンポジウム委員会	愛知県名古屋市(名城大学)	28.9.9～11
果樹研究室長 佐々木 真人 主査専門研究員 大野 浩	技術部 果樹研究室	平成28年度園芸学会春季大会	神奈川県藤沢市(日本大学)	29.3.18～20
果樹研究室長 佐々木 真人 主査専門研究員 大野 浩	技術部 果樹研究室	平成28年度園芸学会東北支部	盛岡市(アイーナ)	28.8.18～19
上席専門研究員 尾形 茂	技術部 作物研究室	平成28年度東北六県原種・原々種生産情報交換会	新潟県長岡市(新潟県農業総合研究所作物研究センター)	28.7.14～15
主査専門研究員 小原 公則	技術部 作物研究室	大豆晩播狭畦密植栽培試験報告会	紫波町(ゆいっこの里犬草)	28.12.20
技師 関村 真梨歩	技術部 作物研究室	東北大豆セミナーinせんだい	仙台市(仙台合同庁舎)	29.2.7
上席専門研究員 尾形 茂	技術部 作物研究室	第18回東北雑草研究会	福島市	28.9.30
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	日本作物学会東北支部第59回講演会	仙台市(宮城大学)	27.8.22
主査専門研究員 小原 公則	技術部 作物研究室	大豆黒根腐病研究会	秋田市	28.8.23
上席専門研究員 仲條 真介 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「ゲノム育種により有用形質を集積した水稲品種の低コスト生産技術の確立と適地拡大」現地検討会	沖縄県石垣市(沖縄県農業研究センター石垣支所)	28.10.17～19
専門研究員 太田 裕貴 専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	日本作物学会第243回講演会	東京都	29.3.29～30
室長 川村 浩美	技術部 野菜花き研究室	園芸学会東北支部平成28年度大会	盛岡市(アイーナ)	28.8.18～19
主査専門研究員 阿部 弘 主査専門研究員 藤尾 拓也 主任専門研究員 吉田 泰 主任専門研究員 田代 勇樹	技術部 野菜花き研究室	園芸学会平成28年度秋季大会	愛知県名古屋市	28.9.9～11

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	日本生物環境工学会2016年金沢大会	石川県	28.9.12～14
主任専門研究員 田代 勇樹 主任専門研究員 吉田 泰	技術部 野菜花き研究室	環境制御技術セミナー	宮城県	28.10.24
主査専門研究員 阿部 弘 主査専門研究員 藤尾 拓也 主任専門研究員 吉田 泰	技術部 野菜花き研究室	園芸学会平成29年度春季大会	神奈川県	29.3.19～20
主任専門研究員 田代 勇樹	技術部 野菜花き研究室	日本農作業学会春季大会	埼玉県	29.3.26～ 28
専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	スマート・メガスケール植物工場ネットワーク公開 シンポジウム	東京都	28.7.15
南部園芸研究室長 有馬 宏	技術部 南部園芸研究室	平成28年度第1回品種マッチングミーティング 「夏の国産イチゴについて」	東京都	28.7.25
専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	スマート農業推進フォーラム	東京都	28.7.26
専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	施設園芸・植物工場展(GPEC)	東京都	28.7.27
主任専門研究員 千葉 彩香 技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	第59回東北農業試験研究発表会	青森県青森市	28.8.9～10
南部園芸研究室長 有馬 宏 主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	園芸学会東北支部平成28年度大会	盛岡市(アイーナ)	28.8.18～19
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	2016年度農業施設学会大会	高知県南国市	28.8.29～31
南部園芸研究室長 有馬 宏 主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	園芸学会平成28年度秋季大会	愛知県名古屋市	28.9.9～11
主任専門研究員 千葉 彩香 技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	第1回植物工場研修会	福岡県久留米市	28.10.12～14
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	イチゴセミナー「閉鎖型植物工場が開く新しい 世界」	東京都	28.11.28
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	研究力向上支援セミナー	盛岡市(岩手大学)	29.1.18
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	施設園芸セミナー・機器資材展	東京都	29.2.16～17

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
南部園芸研究室長 有馬 宏	技術部 南部園芸研究室	「すずあかね」冬季講座2017	花巻市	29.2.16～17
専門研究員 太田 祐樹 技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	第7回トマト・キュウリサミット	栃木県小山市	29.2.27～28
主任専門研究員 千葉 彩香 専門研究員 太田 祐樹 技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	園芸学会平成29年度春季大会	神奈川県	29.3.19～20
専門研究員 太田 祐樹	技術部 南部園芸研究室	農林水産技術会議シンポジウム「AI・IoTの先にある農林水産業の未来」	東京都	29.3.21
環境部長 佐々木 裕二	環境部	いちご栽培セミナー	陸前高田市	28.6.29
環境部長 佐々木 裕二	環境部	第2回東北農研セミナー	盛岡市・花巻市	28.7.8
環境部長 佐々木 裕二	環境部	いわて木質バイオマスエネルギーフォーラム	紫波町	29.1.24
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	稲作コスト低減シンポジウム	東京都 (農林水産省)	28.12.19
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	東北地域施肥技術研究会	東京都	29.2.24
生産環境研究室長 島 輝夫	環境部 生産環境研究室	環境保全型農業推進コンクール講演会	福島市	29.3.7
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	岩手県産麦栽培研修会	一関市	28.6.7
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	園芸学会 秋季大会	愛知県名古屋	28.9.9～11
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	花き研究シンポジウム	つくば市	28.10.24～25
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	国産花きイノベーション事業セミナー	仙台市	28.11.25
上席専門研究員 菊地 淑子	環境部 生産環境研究室	園芸学会 H29年度春季大会	神奈川県藤沢市	29.3.17～20
主査専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会 佐賀大会	佐賀市	28.9.19～23
主査専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	SEG-EMS(ゲルマニウム半導体検出器)セミナー	東京都	28.11.25
主査専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	平成28年度関東地域マッチングフォーラム	さいたま市	28.11.30
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	土壌炭素調査法研修会	沖縄県那覇市	28.10.19～21
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	第22回ヒ素シンポジウム	東京都	28.11.17～18
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	農業インベントリー研究会	つくば市	29.2.23
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	平成28年度家畜ふん処理利用研究会	つくば市	28.11.10～11
技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	平成28年度土づくり研究会	東京都	28.11.18

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
生産環境研究室長 島 輝夫 主査専門研究員 桐山 直盛 技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	土壤肥料学会東北支部大会	山形県鶴岡市	28.7.5～7
環境部長 佐々木 裕二 生産環境研究室長 島 輝夫 主査専門研究員 桐山 直盛 技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	東北土壤肥料研究会(夏期)	山形県鶴岡市	28.7.6～7
主任専門研究員 葉上恒寿 技師 数藤 慶亮	環境部 生産環境研究室	東北土壤肥料研究会(冬期)	盛岡市 (アイーナ)	29.1.26～27
環境部長 佐々木 裕二 主査専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	施設園芸セミナー機器資材展	東京都	29.2.16～17
環境部長 佐々木 裕二	環境部	第21回農林害虫防除研究会	甲府市	28.9.8～9
環境部長 佐々木 裕二	環境部	いわて環境保全型農業セミナー コーディネーター	北上市	28.12.21
環境部長 佐々木 裕二	環境部	第70回北日本病害虫研究発表会	仙台市	29.2.23～24
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	第21回農林害虫防除研究会	甲府市	28.9.8～9
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	第70回北日本病害虫研究発表会 発表	仙台市	29.2.23～24
病理昆虫研究室長 大友 令史	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度宮城県農業・園芸総合研究所、自然保護課共催研修会	名取市	29.3.8
主査専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第21回農林害虫防除研究会	甲府市	28.9.8～9
主査専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日植防シンポジウム「輸出促進戦略と植物防疫」	東京都	28.9.15
主査専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本ダニ学会第25回大会 発表	札幌市	28.10.14～16
主査専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度 寒冷地果樹研究会	盛岡市	29.2.7～8
主査専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第70回北日本病害虫研究発表会 発表	仙台市	29.2.23～24
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第61回日本応用動物昆虫学会大会 発表	東京都	29.3.27～29
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	地域特産作物等農薬適用拡大試験のための技術研修会	仙台市	28.7.27～28
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	第2回ダイズ黒根腐病研究会	秋田市	28.8.23
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	日本植物病理学会東北支部会 発表	福島市	28.9.29～30
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度生態と防除研究会(植物病害カンファレンス)	神戸市	12.19～20
専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度「知」の集積による産官学連携推進事業事業化可能性調査ワークショップ	那覇市	29.1.15～16
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	第70回北日本病害虫研究発表会 発表	仙台市	29.2.23～24

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第21回農林害虫防除研究会	甲府市	28.9.8～9
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度北海道・東北地区病害虫防除所職員等研修会	仙台市	29.2.7
専門研究員 久保田 真衣	環境部 病理昆虫研究室	第70回北日本病害虫研究発表会 発表	仙台市	29.2.23～24
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	日本植物病理学会東北支部会 発表	福島市	28.9.29～30
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度「知」の集積による産官学連携推進事業事業化可能性調査ワークショップ	那覇市	29.1.15～16
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	第70回北日本病害虫研究発表会	仙台市	29.2.23～24
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	地域特産作物等農薬適用拡大試験のための技術研修会	仙台市	28.7.27～28
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第26回天敵利用研究会 発表	徳島市	28.8.24～25
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第21回農林害虫防除研究会	甲府市	28.9.8～9
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度全国農業システム化研究会	鹿児島市	28.12.7
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	いわて環境保全型農業セミナー	北上市	28.12.21
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	日植防シンポジウム「薬剤抵抗性対策の新たな展開」	東京都	29.1.12
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第70回北日本病害虫研究発表会 発表	仙台市	29.2.23～24
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度宮城県農業・園芸総合研究所、自然保護課共催研修会	名取市	29.3.8
技師 松橋 伊織	環境部 病理昆虫研究室	第61回日本応用動物昆虫学会大会	東京都	29.3.27～29
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第12回植物病害診断教育プログラム	東京都	28.8.29～9.2
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第10回植物病害診断研究会	静岡市	28.9.28～29
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	日本植物病理学会東北支部会 発表	福島市	28.9.29～30
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度生態と防除研究会(植物病害カンファレンス)	神戸市	28.12.19～20
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	日植防シンポジウム「薬剤抵抗性対策の新たな展開」	東京都	29.1.12
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度 寒冷地果樹研究会	盛岡市	29.2.7～8
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	第70回北日本病害虫研究発表会	仙台市	29.2.23～24
主任技能員 佐藤 広昭	環境部	第70回北日本病害虫研究発表会	仙台市	29.2.23～24
専門研究員 神山 洋	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修会・自給飼料(飼料A.B)	福島県西郷村	28.8.30～9.2
専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	遺伝子解析技術者研修	福島県西郷村	28.7.24～8.5
専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	遺伝子解析技術者研修	福島県西郷村	28.11.7～15
専門研究員 熊谷 祐宏	畜産研究所 家畜育種研究室	第9回DNA西郷シンポジウム	福島県西郷村	28.9.28

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	食肉の官能評価ワークショップ	茨城県つくば市	28.10.13～14
専門研究員 飯村 太一	畜産研究所 外山畜産研究室	全国和牛登録協会岩手県支部 和牛登記登録審査研修会	雫石町	28.6.1
専門研究員 飯村 太一	畜産研究所 外山畜産研究室	中央畜産技術研修会(放牧)	福島県西郷村	28.9.27～29
専門研究員 飯村 太一 他11 名	畜産研究所	平成28年度岩手県畜産技術連盟研修会	盛岡市	28.11.11
主任専門研究員 高橋 学	畜産研究所 外山畜産研究室	牛ウイルス性下痢・粘膜病対策講習会	盛岡市	28.11.25
主任専門研究員 高橋 学	畜産研究所 外山畜産研究室	獣医師講習会	滝沢市	29.3.7
上席専門研究員 佐々木 睦美	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	第9回放射性物質検査に関する全国研修会	東京都	28.8.24
専門研究員 山形 広輔 主査専門研究員 佐藤 真	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	生研センター研究報告会	埼玉県	29.3.9～10
主査専門研究員 佐藤 真	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	フェストロリウム先進地研修	北海道札幌市他	29.2.23～24
主査専門研究員 越川 志津	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	農場管理技術研修会	家畜改良センター 岩手牧場	28.1.20
主査専門研究員 越川 志津	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	全酪連 酪農セミナー	仙台市	28.2.3
主任主査 村上 昭樹	畜産研究所 種山畜産研究室	県南局会計事務研修会	奥州市	29.2.16
主任主査 村上 昭樹 技師 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	スーパーアイミート先進事例調査	鳥栖市(産総研九州 七)島原市(長崎農 林技術開発七)	29.3.15～18
主査専門研究員 高畑 博志	畜産研究所 種山畜産研究室	平成28年度いわて肉用牛若手・後継者技術向上研修会	盛岡市	28.9.9
主査専門研究員 高畑 博志	畜産研究所 種山畜産研究室	安全運転管理者講習	大船渡市	28.11.11
専門研究員 澤田 建 技師 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	宮城全共に向けた飼養管理研修会	滝沢市	28.7.19
専門研究員 澤田 建 技能員 千葉 弘和	畜産研究所 種山畜産研究室	宮城全共に向けたハンドラー研修会	雫石町	28.10.28
技師 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	ITサポート研修会	盛岡市	28.6.16
主任技能員 松本 徹	畜産研究所 種山畜産研究室	第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習	盛岡市	29.2.21～22
首席専門研究員兼 作物研究室長 高橋 好範	県北農業研究所 作物研究室	水稻用除草剤の試験方法に関する研修会	茨城県つくば市	28.4.26～27

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 小野 直毅	県北農業研究所 作物研究室	平成28年度都道府県農業関係研究員等専門 研修	茨城県つくば市	28.8.30～31
首席専門研究員兼 作物研究室長 高橋 好範 技師 小野 直毅	県北農業研究所 作物研究室	薬用作物の生産拡大に向けた研究開発の方向 性	大阪府大阪市	28.8.1
首席専門研究員兼 作物研究室長 高橋 好範 技師 小野 直毅	県北農業研究所 作物研究室	薬用作物産地視線栽培技術研修	盛岡市	28.9.1～2
技師 小野 直毅	県北農業研究所 作物研究室	平成28年度東北大豆セミナー	北上市、奥州市	28.9.6
首席専門研究員兼 作物研究室長 高橋 好範	県北農業研究所 作物研究室	平成28年度土づくり研究会	東京都	28.11.18
県北農業研究所所 長 小野寺 郁夫 次長兼園芸研究室 長 荻内 謙吾 首席専門研究員兼 作物研究室長 高橋 好範 主任専門研究員 高草木 雅人	県北農業研究所	「農業競争力強化プログラム」を含む農業担い 手支援施策に関する研修会	二戸市	29.1.6
上席専門研究員 長嶺 達也	県北農業研究所 園芸研究室	青果物流通システム高度化事業白ねぎ現地検 討会	秋田県大潟村	28.9.15
上席専門研究員 長嶺 達也 主査専門研究員 星 伸枝 専門研究員 福田 拓斗	県北農業研究所 園芸研究室	園芸学会平成29年度春季大会	神奈川県藤沢市	29.3.19～20

4 所内研修等

(1) 岩手県総務部人事課主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	新任主査研修	人事課主催	28.7.13～15
農業経営研究室長 及川 浩一	企画管理部 農業経営研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	28.4.26～28
農業経営研究室長 及川 浩一	企画管理部 農業経営研究室	管理監督者メンタルヘルスセミナー	人事課主催	28.7.19
農業経営研究室長 及川 浩一	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	28.7.1～ 12.31
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	平成28年度職員のためのメンタルヘルスセミナー	人事課主催	28.6.23
上席専門研究員 前山 薫	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	28.7.1～ 12.31
主査専門研究員 吉田 徳子	企画管理部 農業経営研究室	新任主査研修	人事課主催	28.7.4～6
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	28.7.1～ 12.31
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	eラーニング 企業会計講座〔基礎編〕	人事課主催	28.7.1～ 12.31
専門研究員 田中 英輝	企画管理部 農業経営研究室	能力開発研修 「政策形成能力向上講座」	人事課主催	28.12.16～17
主査 畠山 聡子	企画管理部 総務課	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	28.7.1～ 12.31
主査 畠山 聡子	企画管理部 総務課	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	28.7.1～ 12.31
作物研究室長 小田中 温美	技術部 作物研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	28.5.11～13
技師 関村 真梨歩	技術部 作物研究室	新採用職員研修	人事課主催	28.4.4～8 28.6.14～17 28.11.8～11
上席専門研究員 尾形 茂	技術部 作物研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
主任専門研究員 小館 琢磨	技術部 作物研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
専門研究員 太田 裕貴	技術部 作物研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
専門研究員 藤岡 智明	技術部 作物研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
技師 関村 真梨歩	技術部 作物研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
主査専門研究員 阿部 弘	技術部 野菜花き研究室	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
主任専門研究員 小田島 雅	技術部 野菜花き研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
南部園芸研究室長 有馬 宏	技術部 南部園芸研究室	コンプライアンス推進員研修	人事課主催	28.4.18
南部園芸研究室長 有馬 宏	技術部 南部園芸研究室	新任担当課長等研修	人事課主催	28.4.26～28
主任専門研究員 千葉 彩香	技術部 南部園芸研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 鈴木 朋代	技術部 南部園芸研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
主任専門研究員 葉上 恒寿	環境部 生産環境研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度新採用職員指導者研修	人事課主催	28.4.19
主査専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度 新任主査研修	人事課主催	28.6.13
主任専門研究員 菅 広和	環境部 病理昆虫研究室	eラーニング 理論的思考力向上講座	人事課主催	28.12.14
技師 小山田 早希	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度 採用3年目職員研修	人事課主催	28.5.25～27
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	新採用職員研修	人事課主催	28.4.4～8 28.6.14～17 28.11.14～18
技術主幹兼病害虫 防除課長 本田 純悦	病害虫防除部 病害虫防除課	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
主査 高田 真	病害虫防除部 病害虫防除課	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
主査 佐藤 美和子	病害虫防除部 病害虫防除課	新任主査研修	人事課主催	28.7.27～29
主査 佐藤 美和子	病害虫防除部 病害虫防除課	eラーニング 論理的思考力向上講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
技師 廣田 志紀子	病害虫防除部 病害虫防除課	中堅職員研修	人事課主催	28.6.1～6.3
技師 廣田 志紀子	病害虫防除部 病害虫防除課	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
技師 田村 恵里佳	病害虫防除部 病害虫防除課	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	28.9.1～ 12.31
次長兼種山畜産研 究室長 熊谷 光洋	畜産研究所 種山畜産研究室	新任総括課長等研修	人事課主催	27.4.14～15
技師 羽田 雅紀	畜産研究所 種山畜産研究室	中堅職員研修	人事課主催	28.6.1～3
主任技能員 松本 徹	畜産研究所 種山畜産研究室	新採用職員指導者研修	人事課主催	28.4.19
技能員 千葉 弘和	畜産研究所 種山畜産研究室	新採用職員研修	人事課主催	28.4.4～8 28.6.14～17 27.9.30～
技師 小野 直毅	県北農業研究所 作物研究室	新採用職員研修	人事課主催	28.4.4～4.8 28.6.14～ 6.17
主任専門研究員 高草木 雅人	県北農業研究所 作物研究室	新採用職員指導者研修	人事課主催	28.4.19
主査専門研究員 横田 啓	県北農業研究所 園芸研究室	新任主査研修	人事課主催	28.6.13～15

(2) 岩手県農林水産部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 関村 真梨歩	技術部 作物研究室	平成28年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	28.5.30～31
技師 関村 真梨歩	技術部 作物研究室	平成28年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	28.8.23～29
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	28.5.30～31
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	平成28年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	28.7.25～31
技師 中村 太紀	環境部 病理昆虫研究室	りんご技術継承セミナー	農林水産部農業普及技術課	29.3.22
主任主査 村上 昭樹	畜産研究所 種山畜産研究室	会計事務研修会	農林水産部農林水産企画室主催	28.10.31
技能員 千葉 弘和	畜産研究所 種山畜産研究室	平成28年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	28.5.30～31
技師 小野 直毅	県北農業研究所 作物研究室	平成28年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	28.5.30～31
技師 小野 直毅	県北農業研究所 作物研究室	平成28年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	28.7.17～7.25

(3) 所内研修

研修会名称	所属部所・研究室	研修内容	主催	開催日
情報セキュリティ研修会	本部	情報の安全・安心10のポイント・情報セキュリティ対策 講師:研究企画室員	研究企画室	28.4.8
健康推進研修	本部	健康診断の見方・生かし方 講師:予防医学協会保健師	総務課	28.11.8
交通安全研修	本部	交通安全講話・DVD視聴 講師:北上警察署 交通課長代理	総務課	28.7.21
AED操作研修会	本部	心肺蘇生法及びAEDの操作方法について 講師:北上消防署員	総務課	①28.8.23 ②29.2.6
健康管理研修	畜産研究所	職場における健康管理について	総務課	28.7.27
交通安全研修	畜産研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、交通安全知識 講師:盛岡西警察署交通課	総務課	28.8.24
農業機械作業安全研修	畜産研究所	農業機械の適正管理・操作の基本事項等について	総務課	28.8.30
交通安全研修	畜産研究所・種山畜産研究室	交通事故発生状況、交通事故と救命救急、道路交通の現状と交通事故の実態 講師:安全運転管理者	種山畜産研究室	28.12.5
会計事務等研修会	畜産研究所	会計の基本原則、適正な会計事務処理の方法、経理事務処理方法等 講師:総務課員	総務課	29.1.17
交通安全研修会	県北農業研究所	交通安全の啓発、講話 講師:二戸警察署員	総務課	28.11.14

5 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
【本部】 [プロジェクト推進室] (なし)			
【企画管理部】 農業研究センター全体研修会	29.3.8	岩手県農業研究センターにおける研究活動の不正行為への対応要領について 企画管理部研究企画室 依頼研究員研修報告 伊藤孝浩(家畜飼養・飼料研究室 主査専門研究員) 吉田徳子(農業経営研究室 主査専門研究員) 福田拓斗(県北農業研究所園芸研究室 専門研究員) 学位取得報告 羽田 厚(病理昆虫研究室 主査専門研究員) ベテラン職員からの話題提供 阿部武美(病害虫防除部長) 吉田 力(畜産研究所 次長)	75 名
【技術部】 技術部ゼミ	28.4.27	研究成果と学会 阿部 弘(野菜花き研究室 主査専門研究員)	16 名
	28.7.13	ほ場視察会 仲條真介(作物研究室 上席専門研究員) 阿部 弘(野菜花き研究室 主査専門研究員) 尾形 茂(作物研究室 上席専門研究員) 佐々木真人(果樹研究室長) 田代勇樹(野菜花き研究室 主任専門研究員) 藤尾拓也(野菜花き研究室 主査専門研究員)	15 名
	28.11.11	研究成果の書き方・話し方 ～考えるヒント～ 阿部 弘(野菜花き研究室 主査専門研究員)	14 名
	28.12.27	農家派遣研修報告 関村 真梨歩(作物研究室 技師)	18 名
	29.3.7	ハラスメントの防止等について ～総務部長通知、人事院「パワー・ハラスメント防止ハンドブック」 阿部 弘(野菜花き研究室 主査専門研究員)	16 名
【環境部】 環境部ゼミ	28.6.23	東北農業試験研究発表会報告練習 水稻栽培における家畜由来有機物の化学肥料代替効果 数藤慶亮(生産環境研究室 技師)	10 名
	29.2.12	北日本病害虫研究発表会(2016.2.23～2.24開催・仙台市)の講演予行演習	16 名
環境部・病害虫防除部オープンゼミ	29.2.21	東北農業研究センターにおける生産環境領域の取り組みについて 東北農研 門田育生氏(生産環境領域長)による講話	35 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
【病害虫防除部】 病害虫防除部オープンゼミ	28.6.3	アカヒゲホソミドリカスミカメの発生生態と予察手法について 講師:高橋 明彦(東北農業研究センター) 斑点米カメムシ類の防除対策について 講師:久保田 真衣(環境部病理昆虫研究室 専門研究員) QoI剤耐性イネいもち病菌の発生防止に向けたモニタリング調査方法について 山形県におけるイネばか苗病の発生状況と今後の取組	85 名
	29.2.2	講師:本田 浩央(山形県農業総合研究センター) 水稻の健全種子生産に向けた取組 講師:工藤 佳徳(農産園芸課 主任主査) 生物農薬を使用した大規模育苗施設におけるばか苗病の発生状況 講師:猫塚 修一(病害虫防除所 主査)	約90 名
【畜産研究所】 第1回セミナー(予演会)	28.8.23	破碎玄米及びサイレージ化した発芽粳米の給与がパークシャー種の発育と肉質に及ぼす影響 佐々木 康仁(家畜育種研究室 専門研究員) パーコールPBS溶液によるウシ体内受胎の品質評価 昆野 勝(家畜育種研究室 上席専門研究員) 国産くず大豆の給与が黒毛和種去勢肥育牛の増体および肉質に及ぼす影響 神山 洋(家畜育種研究室 専門研究員) 高泌乳牛における乾乳期間の短縮が生産性に及ぼす影響 伊藤 孝浩(家畜飼養・飼料研究室 主査専門研究員) 不耕起対応高速播種機を用いた異なる圃場条件での飼料用トウモロコシ不耕起栽培について 山形 広輔(飼養飼料研究室 専門研究員) 蹄耕法を用いた耕起困難放牧地の草地再生技術の実証 増田 隆晴(外山畜産研究室 上席専門研究員)	10 名
【県北農業研究所】 第1回所内ゼミ	28.4.22	・小野直毅 技師 「ブランチング処理がパプリカの遠赤外線乾燥過程における乾燥速度および消費電力量に及ぼす影響(岩手大学 卒業論文)」 ・日山将太 臨時職員 「海水利用によるブランド米を目指して(岩手県立農業大学校 卒業研究)」	12 名
	第2回所内ゼミ	28.5.10	・高草木 雅人 主任専門研究員 「アワ品種「ゆいこがね」玄穀の収穫時期によるルテイン含量の変動(日本栄養食糧学会 発表練習)」 ・横田 啓 主査専門研究員 「アザミウマは タマネギ腐敗に関与する? ～殺虫剤の散布頻度がネギアザミウマ密度とタマネギ収量及び腐敗球の発生に及ぼす影響～」 (第60回日本応用動物昆虫学会大会(3/28)一般講演内容)

名 称	開催期日	内 容	参集人員
第3回所内ゼミ	28.6.30	試験圃場検討会 1) 高草木 雅人 主任専門研究員 「栽培特性の優れる(短稈・短穂抽出)アワ品種の育成」(畑No.11) 2) 星 伸枝 主査専門研究員 「リンドウ栽培安定化技術の開発 県育成品極早生品種の株養成技術の開発」(田No.3) 3) 齊藤 智宏 専門研究員 「奨励品種決定調査(飼料用米)」(田 No.8) 4) 横田 啓 主査専門研究員 「全自動移植機に適する良質苗生産(大規模水田経営における簡易地下水水位制御と良質苗・病虫害防除を核とした春まきタマネギの安定生産技術の開発と実証)」(畑 No.16) 5) 長嶺 達也 上席専門研究員 「加工・業務用途向けの寒玉キャベツ栽培法の確立」(畑 No.19) 6) 福田 拓斗 専門研究員 「水稻育苗プールを利用した葉菜類の水耕栽培」(花ハウスNo.1)	12 名
第4回所内ゼミ	29.3.6	・福田 拓斗 専門研究員 「依頼研究員 研修報告(H28.9.20～12.22東北農業研究センター)」 ・下川原 智 技師 「きゅうり葉取り共同雇用の取り組みについて」	14 名

VII 試験研究以外の業務概要

VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備考 (採種場所等)
水稻(うるち)	ひとめぼれ	15	354	農業研究センター
	金色の風(岩手118号)	5	104	〃
	かけはし	5	29	県北農業研究所
水稻(酒米)	結の香	4	6	農業研究センター
水稻(もち)	もち美人	2	29	〃
小麦	銀河のちから	10	355	〃
大豆	—	—	—	—

(2) その他原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(単位)	備考(採種場所等)
りんどう	ETC	—	5(ml)	農業研究センター
	ENg	—	10(ml)	〃
	ITC	—	10(ml)	〃
	Ng	—	10(ml)	〃
	Ho	—	15(ml)	〃
	Ha	—	10(ml)	〃
	Ha II	—	15(ml)	〃
	YRy II	—	15(ml)	〃

2 作物の原種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻うるち	ひとめぼれ	351	11,860	農業研究センター
	あきたこまち	97	3,360	〃
	金色の風(岩手118号)	15	460	〃
	どんびしやり	29	1,000	〃
	かけはし	17	400	県北農業研究所
	銀河のしずく	64	2,460	農業研究センター
酒造好適米	結の香	4	69	農業研究センター
	吟ぎんが	7	199	
水稻非主食用米	つぶゆたか	25	1108	農業研究センター
	岩手122号	15	677	農業研究センター
水稻もち	ヒメノモチ	50	1,500	紫波町
	もち美人	13	320	農業研究センター
小麦	ナンプコムギ	282	5,640	農業研究センター
	ゆきちから	108	3,510	〃
	銀河のちから	100	2,460	〃
大豆	リュウホウ	150	2,670	農業研究センター

(2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(単位)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
小豆	-	-	-	農業研究センター
そば	-	-	-	-
ヒエ	もじゃっぺ	-	0.5	県北農業研究所
	ねばりっこ2号	-	1.3	〃
キビ	田老系	-	1.4	県北農業研究所
アワ	-	-	-	-

3 種苗等の配布

(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち (平成29年採種圃播種用)	ひとめぼれ	10,510	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	あきたこまち	2,340	〃
	いわてっこ	1,380	〃
	どんびしゃり	500	〃
	かけはし	160	〃
	銀河のしずく	780	〃
	金色の風	300	〃
酒造好適米 (平成29年採種圃播種用)	ぎんおとめ	25	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	70	〃
水稻非主食用米 (平成29年採種圃播種用)	つぶゆたか	560	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	岩手122号	360	〃
水稻もち (平成29年採種圃播種用)	ヒメノモチ	1,120	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	もち美人	140	〃
小麦原種 (28年採種圃播種用)	ナンブコムギ	3,885	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	3,390	〃
	ネバリゴシ	240	〃
	銀河のちから	900	〃
大豆原種 (28年採種圃播種用)	ナンブシロメ	170	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	リュウホウ	1,000	〃
	シュウリュウ	490	〃
	ユキホマレ	30	〃
	青丸くん	20	〃
	コスズ	6	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

(2) その他種苗の配布

種 類	品種・系統	数量(単位)	配 布 先
水稻(新形質米等) (平成28年一般播種用)	金色の風	5,940(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	きらほ	357(kg)	〃
	かぐやの舞	6(kg)	〃
	ゆさおとめ	20(kg)	〃
小豆原種	岩手大納言	3(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ベニダイナゴン	1(kg)	〃
ヒエ原種	-	-	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
キビ原種	-	-	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
アワ原種	-	-	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
そば原種	岩手早生	-	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
りんどう	採種用母株(実生苗)		
	ETC(14-5)	164(株)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ENg(14-6)	168	〃
	ITc(13-419)	300	〃
	ITc(13-420)	200	〃
	ITc(13-421)	100	〃
	Ng(15-23)	68	〃
	Ng(15-24)	200	〃
	Ho(13-432)	340	〃
	Ha(14-13)	450	〃
	Ha(15-65)	60	〃
	Ha(15-67)	58	〃
	Ha(15-69)	58	〃
	YRy II (15-104)	296	〃
	EP(13-439)	100	〃
	EP(13-444)	100	〃
	Sen2(02-28B)	220	〃
	TO2S(09-97B)	26	〃
	OK100(14-113)	25	〃
OK100(14-26)	25	〃	
AZP2(14-12)	150	〃	
リンゴ	苗木生産用穂木		
	雪いわて(岩手4号)	1.5(kg)	(公社) 岩手県農産物改良種苗センター

4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:平成29年3月14日現在)

(1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊福秀	396	342	261	435	229	387	373	303	287	277	201		3,491
緑乃大地	140	40	187	125	68	190	158	140	195	160	137		1,540
花安勝	210	235	72	140	55	155	90	50	78	35	48		1,168
花金幸	95	25	178	125	112	110	94	90	90	90	151		1,160
山根雲	8	35	127	56	100	65	152	55	55	60	117		830
百合茂勝	85	47	70	47	69	55	75	95	83	65	35		726
月山桜	105	135	5	60	3	65	40	25	33	40	20		531
雪福秀	99	100	90	60	10	47	5	5	20	0	2		438
古都乃花	75	130	25	20	20	5	10	0	0	10	0		295
北昭国	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		150
八重実福	10	0	20	10	40	2	4	5	30	20	0		141
辰美継	0	20	0	0	0	10	10	0	20	60	10		130
雪乃花	28	0	34	30	0	0	0	0	0	0	0		92
菊安舞鶴	15	0	0	10	20	10	12	5	0	0	15		87
菊勝久	13	10	0	0	10	10	0	0	0	20	20		83
秀福安	20	0	0	20	0	0	5	0	10	0	20		75
春北平	0	0	15	10	10	10	0	0	5	25	0		75
平成舞鶴	0	0	60	0	0	0	10	0	0	0	0		70
その他	30	23	20	35	20	23	25	5	2	85	3		271
計	1,479	1,142	1,164	1,183	766	1,144	1,063	778	908	947	779	0	11,353

(2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
民姫	0	10	26	0	9	0	0	0	0	25	0		70
松福	4	0	0	0	10	0	0	0	0	15	0		29
松秋	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0		10
良川	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0		5
辰福	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0		5
慶一	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0		3
計	4	21	33	0	19	0	0	0	5	40	0	0	122

5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:平成29年3月31日現在)

(1) 種豚の配布

品 種	種 類			配 布 先	
	雌(頭)	雄(頭)	去勢(頭)		
L	2	1	0	3	県内養豚農場
B	24	2	16	42	県内養豚農場
LW	0	0	0	0	県内養豚農場
その他	0	2	2	4	県内養豚農場
計	26	5	18	49	

(2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	3,067	285	3,352	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:平成28年5～10月)

(1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	56	1	39	96

(2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	5	1	4	10

VIII 人事、予算、財産

Ⅷ 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算 (H28年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
【農業費】		
人件費(本部)		739,559
人件費(県北)		9,107
庁舎管理費(本部)		109,429
庁舎管理費(県北)		21,017
ほ場管理費(本部)		49,748
ほ場管理費(県北)		4,321
ふれあい公園管理運営費		13,324
試験研究費(国庫、委託試験等)		252,314
(1)植物防疫研究費	9,893	
(2)土壌対策研究費	3,721	
(3)外部資金等農業試験研究費	238,700	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		16,229
主要農作物採種管理費		19,327
令達事業(本部)		
令達事業(県北)		1,764
合 計		1,236,139
【畜産業費】		
人件費(畜産)		414,217
庁舎管理費		67,729
飼育管理費		150,990
管理運営費(種山畜産研究室分)		116,712
試験研究費(国庫、委託試験等)		19,840
農業関係試験研究委託事業	19,840	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		15,309
令達事業		
合 計		784,797
全 体 計		2,020,936

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (H29.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m ²)		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	27	21		78	16	23	118	81	27,776
北 上	26	18	21		65		18	83	32	17,336
【主な施設面積(内数)】										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	18	13	3,431
南部園芸研究室							1	1	8	1,862
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,306
その他		8			8		0	8	3	841
畜産研究所		99		1,596	1,695	297	35	2,028	150	37,671
滝沢(本所)		93			93	57	30	180	92	24,048
外山畜産研究室		6		1,484	1,490	132	5	1,627	43	7,171
種山畜産研究室				112	112	108	0.4	221	15	6,452
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	137	21	1,596	1,786	313	66	2,166	248	73,530

(2) 飼養家畜頭数 (H29.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		39	39	ホルスタイン種 71
	育成牛(子牛含む)		32	32	
肉用牛	(滝沢)	100 (雄31, 去勢69)	34	134	黒毛和種 88、日本短角種 29、交雑種 4 (子牛除く) 黒毛和種 71、日本短角種 58 (育成牛を含む) 黒毛和種 109 (雌は子牛含む)
	(外山)	0	129	129	
	(種山)	70 (雄41, 去勢29)	39	109	
	牛 計	170	273	443	
豚	種豚	16	31	47	【種豚の内訳】 パークシャー種 68、ランドレース種(イワテハヤチネL2) 45、大ヨークシャー種 1、デュロック種 2、雑種 62
	その他	-	-	114	
	計	16	31	161	
鶏	種鶏	-	-	1,903	岩手地鶏258、岩手大型ロード145、新ロード508、基礎鶏346、ホワイトロックロード587、ホワイトロック59

3 種苗登録、特許等

(1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて	第 311号	S52. 9. 7	育成者権消滅
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	〃
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	〃
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	〃
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	〃
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	〃
りんどう	アルビレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	〃
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	〃
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	〃
ぶどう	エーデルアアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	〃
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	〃
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	〃
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	〃
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	〃
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	〃
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	育成者権消滅
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権消滅
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	〃
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	育成者権消滅
大豆	ちゃげ丸	第11,099号	H15.3.17	
大豆	ぷっくらこ	第11,100号	H15.3.17	
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	
きく	アイمامアアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	育成者権消滅
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	
稲	どんびしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	育成者権消滅
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	〃
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	〃
りんご	岩手7号(商標:紅いわて)	第18,415号	H21. 9.10	
りんどう	いわて夢あおい	第18,762号	H22. 1.14	
りんどう	ももずきんちゃん	第20,210号	H23. 1.25	
りんどう	いわてDPB1号	第20,345号	H23. 2.15	
稲	かぐやの舞	第20,350号	H23. 2.15	
稲	つづみ星	第20,351号	H23. 2.15	
稲	つづみのり	第20,535号	H23. 3. 9	
稲	あけのむらさき	第20,710号	H23. 3.18	
稲	吟さやか	第20,711号	H23. 3.18	
稲	ゆきおとめ	第20,712号	H23. 3.18	
稲	つづゆたか	第20,716号	H23. 3.18	
ひえ	ねばりっこ1号	第21,577号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ2号	第21,578号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ3号	第21,579号	H24. 3. 9	
りんご	大夢	第22,369号	H25. 3. 6	
ぶどう	エーデルロツソ	第22,547号	H25. 3.25	
りんどう	いわて夢みのり	第22,946号	H26. 1.23	
稲	結の香	第23,454号	H26. 6.30	
りんどう	いわて夢みつき	第24,342号	H27. 6. 9	
稲	きらほ	第24,582号	H27.11.19	
あわ	ゆいこがね	第25,234号	H28. 6.10	
きび	ひめこがね	出願番号第29,612号	出願(H26.10. 3)	
りんどう	いわてLB-3号	第25,770号	H29. 3. 1	
りんどう	いわてLB-4号	第25,771号	H29. 3. 1	
稲	岩手117号	出願番号第30,039号	出願(H27. 3.26)	
稲	銀河のしずく	出願番号第30,607号	出願(H27.11. 9)	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわてVEB-7号	出願番号第30,693号	出願(H27.12.14)	
りんどう	いわてEB-1号	出願番号第30,694号	出願(H27.12.14)	
りんご	雪いわて	出願番号第31,153号	出願(H28. 5.24)	
稲	金色の風	出願番号第31,551号	出願(H28.11. 1)	
りんどう	いわてEB-2号	出願番号第31,653号	出願(H28.12.12)	
りんどう	いわてMB-2号	出願番号第31,654号	出願(H28.12.12)	

(2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8) ※H22. 3.19存続期間満了
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の育成状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特開2010-124775(H22. 6.10)	4854045(H23.11. 4)
りんどうの鮮度保持用包装袋及びりんどうの保存方法	特開2010-163197(H22. 7.29)	(公開・拒絶査定)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特開2010-227008(H22.10.14)	4900735(H24. 1.13)
樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土	特開2012-024006(H24. 2. 9)	5013558 (H24. 6.15)
切断器具	特開2014-204881(H26.10.30)	(出願・審査請求中)
植物の栽培方法及び植物の栽培装置	特開2015-173612(H27.10. 5)	(出願・審査請求中)

(3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 大里 達朗)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.3.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)
園芸畑作施肥設計支援シート	平成24年 2月 7日	ver.1.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)

※開発者の所属・職名は、公開当時のもの。

4 表彰

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(外部表彰) 全国農業関係試験 研究場所長会研究 功労者表彰	県北農業研究所	作物研究室	首席専門研究員 兼作物研究室長	高橋 好範	養分収支に基づく施肥技術の 開発と普及	28.6.23
(内部表彰) 平成28年度農林水 産部長表彰	技術部 (奥州農業改良普及センター (奥州農業改良普及センター (中央農業改良普及センター	作物研究室	上席専門研究員 主任専門研究員 専門研究員 専門研究員 主任技能員 主査専門研究員 上席専門研究員 主任技能員 主任技能員 所長 普及課長 上席農業普及員	仲條 真介 小館 琢磨 太田 裕貴 藤岡 智明 菊地 徳章 永富 巨人 尾形 茂 佐藤 洋貴 西野 哲仁 佐々木 力) 菅原 浩視) 小綿 寿志)	岩手県のフラッグシップ米「金色 の風」(岩手118号)の開発	29.3.28
(内部表彰) 平成28年度第1回 農業研究センター 所長表彰 (通算28回)	技術部 環境部 環境部	野菜花き研究室 病理昆虫研究室 病理昆虫研究室 病理昆虫研究室	上席専門研究員 主任専門研究員 室長 主任技能員 主任技能員 主査専門研究員	内藤 善美 ○菅 広和 大友 令史 佐藤 広昭 猪澤 哲哉 羽田 厚	リンドウ極早生品種の全茎収穫 を可能とするジベレリン処理技術 の確立 県産ホップ安定生産のための 農業適用拡大の取り組み リンゴの難防除害虫「ヒメボクト ウ」の被害根絶に向けた防除技 術の確立	28.8.29
(内部表彰) 平成28年度第2回 農業研究センター 所長表彰 (通算29回)	プロジェクト推進 室 企画管理部 企画管理部 企画管理部 企画管理部 企画管理部 技術部 技術部 技術部 技術部 技術部 技術部 技術部 技術部 技術部 技術部 環境部 環境部 環境部 病害虫防除部 病害虫防除部 環境部	農業経営研究室 総務課 総務課 総務課 総務課 果樹研究室 作物研究室 作物研究室 作物研究室 作物研究室 作物研究室 野菜花き研究室 野菜花き研究室 南部園芸研究室 生産環境研究室 生産環境研究室 病理昆虫研究室 病害虫防除課 病害虫防除課 病理昆虫研究室	主査専門研究員 専門研究員 主任主査 主査 庁舎等管理補助員 圃場管理補助員 主任専門研究員 主査専門研究員 主任専門研究員 上席専門研究員 上席専門研究員 専門研究員 専門研究員 主査専門研究員 主査専門研究員 主任専門研究員 上席専門研究員 主査 主査 技師	寺田 道一 田中 英輝 ○小原 正輝 金野 重夫 伊藤 茂 八重樫 武見 浅川 知則 小原 公則 ○小館 琢磨 仲條 真介 尾形 茂 太田 裕貴 藤岡 智明 藤尾 拓也 阿部 弘 千葉 彩香 菊地 淑子 葉上 恒寿 羽田 厚 佐藤 美和子 猫塚 修一 小山田 早希	県内主要水稻品種における鉄 コーティング湛水直播栽培法の 確立 大規模施設園芸経営への労務 管理方策の提示による経営安 定化への貢献 積極的な立木管理対応による 当センターへの信頼及び住民 安全の確保 「北限のユズ」ブランド化への取 組に貢献 シュウリウウの青立ち抑制栽培 法など大豆の生産安定に貢献 耐倒伏性に優れる早生の飼料 用米粳水稻「岩手122号」の育 成 トマト多収化モデルの構築と人 材育成など環境制御技術の向 上に貢献 ササリンドウの主塊茎と副塊茎 に着目した株の経年推移解明 に貢献 促成いちごのハウス無加温栽 培による低コスト栽培実現に貢 献 なすの保存方法が品質に及ぼ す影響を明らかにし、産地の出 荷体系改善に貢献 水稻鉄コーティング湛水直播栽 培に適する肥効調節型肥料の 配合割合の確立 りんご重要病害虫に関する研究 により博士号を取得 ピーマンのPMMoV L3品種抵 抗性打破系統の発生確認と防 除対策の取組	29.2.14

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)			表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(内部表彰) 平成28年度第1回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算14回)	畜産研究所	総務課	主幹兼総務課長 主任主査 主任	千葉 良 小野 演彦 菅原 弘史	国道付近の伐採樹木の処理や 備品など財産管理事務の進展 に貢献	28.9.9
(内部表彰) 平成28年度第2回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算15回)	畜産研究所	総務課	主任主査	小野 演彦	管理財産の迅速な復旧・適性 管理と職場環境整備への貢献	29.2.27
		家畜飼養飼料研究室	専門研究員	山形 広輔	飼料用とうもろこし栽培の国産 不耕起播種機の開発及び新技 術の確立	
		家畜育種研究室 鶏舎グループ	上席専門研究員 主任技能員 主任技能員 主任技能員 技能員 日々雇用職員 日々雇用職員 日々雇用職員 日々雇用職員	吉田 登 ◎右京 隆二 細野 貴樹 鷺見 義信 妻神 大己 高橋 多鶴子 土井尻ヤス子 中村 真弓 角掛 富夫	鶏舎における管理衛生の徹底 と防疫対策強化	
		家畜育種研究室 肉牛グループ	主任技能員 主任技能員 技能員 技能員 非常勤職員 期限付臨時職員 期限付臨時職員 日々雇用職員 日々雇用職員 日々雇用職員 上席専門研究員 主査専門研究員 専門研究員	◎工藤 明彦 菅原 薫 葉木澤 一也 米澤 健治 岩崎 春見 荻間澤 藤夫 廣田 裕誠 菊池 勝敏 高久 しげり 昆野 勝 安田 潤平 神山 洋	未利用地、廃品等を活用した低 コスト簡易放牧地の設置	
		飼養飼料研究室 飼料生産グループ	主任技能員 主任技能員 技能員 技能員 非常勤職員 非常勤職員 日々雇用職員 日々雇用職員 日々雇用職員	◎上野 由克 谷地館 透 中軽米 徳典 武田 溪介 関村 武志 畠山 健成 高橋 ミヨス 佐々木ミネ子 佐藤 順恵	所内生産圃作業と現地実証業 務の円滑実施	
		飼養飼料研究室 乳牛舎グループ	主任技能員 主任技能員 主任技能員 主任技能員 技能員 期限付臨時職員 期限付臨時職員 非常勤職員 日々雇用職員	◎小林 雄二 水澤 博征 鳴海 茂揮 畠山 博文 荒屋 康之 平澤 文香 松澤 研二 齋藤 健 北田 江美子	未利用地を活用した低コスト ロール置場の整備	
		外山畜産研究室	主任技能員 主任技能員 技能員	荒木田 俊一 竹田 政則 ◎上澤 賢輝	作業機械整備点検記録の可視 化による業務効率化	
		種山畜産研究室	主任主査 主任技能員 技能員 技能員	◎村上 昭樹 松本 徹 後藤 克明 千葉 弘和	台風による施設被害への迅速 かつ適切な対応	
総務課	主幹兼総務課長 主任主査 主任 期限付臨時職員 期限付臨時職員	◎千葉 良 小野 演彦 菅原 弘史 布台 真紀子 藤原 愛恵	職員の育成プログラムに基づい た所内職員の資質向上及び健 康管理・労務管理等への貢献			
(内部表彰) 平成28年度第1回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算12回)	(該当なし)					

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(内部表彰) 平成28年度第2回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算13回)	県北農業研究所	総務課	主任行政専門員 主任技能員	向駒木幸悦 ○清水 賢一	平成28年台風第10号の集中豪雨に際し、警戒巡視活動により被害の軽減に努めたほか、所内防災体制の充実強化に多大な貢献。	29.3.6
		園芸研究室	上席専門研究員	長嶺 達也	生食用ホウレンソウの露地栽培における品種の選定、栽植密度や窒素施肥量などの確立に貢献。	
		作物研究室	専門研究員	齊藤 智宏	「ふ系糯234号」の県北地域における適応性の検討により、準奨励品種としての採用に貢献。	
		作物研究室	主任専門研究員	高草木 雅人	雑穀移植機の開発により、雑穀栽培の省力化、生産安定化に貢献。	

5 職員名簿

(平成29年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
所長	鈴木 茂	[作物栽培・種子チーム]	
副所長	(欠 員)	上席専門研究員(総括)	尾 形 茂
プロジェクト推進室長 〔水田農業チーム〕 上席専門研究員(総括) 主査専門研究員 主査専門研究員 主任技能員	高橋 昭 喜 吉 田 宏 寺 田 道 一 藤 田 智 美 菅 野 輝 彦	主査専門研究員 主査専門研究員 技師	永 富 巨 人 小 原 公 則 関 村 真 梨 歩
企画管理部長	畠 山 俊 行	野菜花き研究室長 〔野菜チーム〕 主査専門研究員(総括) 主査専門研究員 主任専門研究員	川 村 浩 美 松 浦 拓 也 藤 尾 拓 也 吉 田 泰 田 代 勇 樹
研究企画室長 〔企画チーム〕 上席専門研究員(総括) 上席専門研究員 主任専門研究員 主任専門研究員 主任専門研究員	鈴木 茂 寿 平 淵 英 利 佐 藤 美 佳 子 伊 勢 智 宏 土 澤 一 博 土 屋 淑 子	主任専門研究員 主任専門研究員 〔花きチーム〕 上席専門研究員(総括) 主査専門研究員 主任専門研究員 主任専門研究員	内 藤 善 美 阿 部 弘 小 田 島 雅 佐 々 木 忍
農業経営研究室長 〔経営チーム〕 上席専門研究員(総括) 主査専門研究員 専門研究員	及 川 浩 一 前 山 薫 吉 田 徳 子 田 中 英 輝	主任専門研究員 専門研究員(任期付) 技師	有 馬 宏 千 葉 彩 香 太 田 祐 樹 鈴 木 朋 代
主幹兼総務課長 〔総務チーム〕 主任主査(総括) 主査 主任 〔管理チーム〕 主任主査(総括) 主査	千葉 和 弘 阿 部 和 夫 畠 山 聡 子 織 田 恭 定 小 原 正 輝 金 野 重 夫	主任専門研究員 主任専門研究員 技師 主任技能員 主任技能員	環境部長 佐々木 裕 二
技術部長	渡 辺 芳 幸	生産環境研究室長 〔環境チーム〕 上席専門研究員(総括) 主査専門研究員 主任専門研究員 技師 主任技能員 主任技能員	島 輝 夫 菊 地 淑 子 桐 山 直 盛 葉 上 恒 寿 数 藤 慶 亮 佐 藤 広 昭 貉 澤 哲 哉
果樹研究室長 〔果樹チーム〕 主査専門研究員(総括) 主任専門研究員 専門研究員 技師 主任技能員 主任技能員 主任技能員 主任技能員	佐々木 真人 大 野 浩 淺 川 知 則 西 田 絵 梨 香 柳 本 麻 衣 佐 藤 洋 貴 菊 地 徳 章 西 野 哲 仁 小 黒 澤 清 人	主任専門研究員(総括) 技師 技師 〔昆虫チーム〕 主査専門研究員(総括) 専門研究員 技師	病理昆虫研究室長 〔病理チーム〕 主任専門研究員(総括) 技師 技師 中 村 大 紀 羽 田 厚 久 保 田 真 衣 松 橋 伊 織
作物研究室長 〔水稲育種チーム〕 上席専門研究員(総括) 主任専門研究員 専門研究員 専門研究員	小 田 中 温 美 仲 條 眞 介 小 舘 琢 磨 太 田 裕 貴 藤 岡 智 明	主査 技師 〔農薬適正使用チーム〕 主査(総括) 主査 技師 技師	病害虫防除部長 阿 部 武 美 技術主幹兼病害虫防除課長 〔予察・防除チーム〕 主任主査(総括) 主査 技師 技師 阿 部 洋 猫 塚 修 一 田 村 恵 里 佳 高 田 眞 佐 藤 美 和 子 山 本 明 日 香 廣 田 志 紀 子

職名	氏名	職名	氏名
畜産研究所長	鈴木 茂	首席専門研究員兼外山畜産研究室長	大 宮 元
次長	平 野 晃	上席専門研究員	増 田 隆 晴
次長	吉 田 力	主任専門研究員	高 橋 学
次長	熊 谷 光 洋	専門研究員	飯 村 太 一
所付	高 橋 涉	主任技能員	荒 木 田 俊 一
主幹兼総務課長	千 葉 良	主任技能員	竹 田 政 則
主任主査	小 野 演 彦	技能員	上 澤 賢 輝
主任	菅 原 弘 史		
主任技能員	小 林 雄 二	種山畜産研究室長(次長兼務)	熊 谷 光 洋
主任技能員	右 京 隆 二	主任主査	村 上 昭 樹
主任技能員	工 藤 明 彦	主査専門研究員	高 畑 博 志
主任技能員	上 野 由 克	専門研究員	澤 田 建
主任技能員	中 村 健	技師	羽 田 雅 紀
主任技能員	菅 原 薫	主任技能員	松 本 徹
主任技能員	永 洞 俊 司	技能員	後 藤 克 明
主任技能員	細 野 貴 樹	技能員	千 葉 弘 和
主任技能員	鳴 海 茂 揮		
主任技能員	鷺 見 義 信		
主任技能員	水 澤 博 征		
主任技能員	畠 山 博 文		
主任技能員	谷 地 舘 透	東北農業研究所長	小 野 寺 郁 夫
技能員	葉 木 澤 一 也	次長	荻 内 謙 吾
技能員	中 軽 米 徳 典	総務課長	近 藤 光 宏
技能員	荒 屋 康 之	主任行政専門員	向 駒 木 幸 悦
技能員	西 野 聖	主任技能員	清 水 賢 一
技能員	武 田 溪 介	運転技士兼技能員	日 山 千 代 司
技能員	米 沢 健 治	技能員	藤 根 寛 道
技能員	妻 神 大 己		
家畜育種研究室長	細 川 泰 子	園芸研究室長(次長兼務)	荻 内 謙 吾
上席専門研究員	昆 野 勝	上席専門研究員	長 嶺 達 也
上席専門研究員	吉 田 登	主査専門研究員	星 伸 枝
主査専門研究員	安 田 潤 平	主査専門研究員	横 田 啓
専門研究員	佐々木 康 仁	専門研究員	福 田 拓 斗
専門研究員	神 山 洋		
専門研究員	熊 谷 祐 宏	首席専門研究員兼作物研究室長	高 橋 好 範
首席専門研究員兼家畜飼養・飼料研究室長	藤 原 哲 雄	主任専門研究員	高 草 木 雅 人
上席専門研究員	佐々木 睦 美	専門研究員	齊 藤 智 宏
主査専門研究員	佐 藤 真	技師	小 野 直 毅
主査専門研究員	越 川 志 津		
主査専門研究員	伊 藤 孝 浩		
専門研究員	山 形 広 輔		

IX 東日本大震災津波への対応

Ⅸ 東日本大震災への対応

1 農業研究センター復興加速プロジェクトチームの活動

(1) チーム会議の開催

会議の名称	開催回数	延べ対応者数
復興加速プロジェクトチーム会議	2	26

(2) 研修会、セミナーの開催

研修会・セミナー・成果展示等	開催日	延べ参加者数
【研修会・セミナー】		
UECS研究会現地見学会(中山間施設園芸)	28.6.10	56
UECS研究会セミナー(中山間施設園芸)	28.6.11	56
畦畔管理技術現地研修会(中小区画土地利用型)	28.6.16	37
イチゴ栽培セミナー(中山間施設園芸)	28.6.29	20
トマト長期どり栽培セミナー(中山間施設園芸)	28.7.29	26
パプリカの簡易隔離床栽培セミナー(ブランド化果実等(野菜))	28.8.25-26	40
東北そばフォーラム(主催:東北農研、東北農政局)(中小区画土地利用型)	28.9.6	61
養液栽培研究会現地見学会(中山間施設園芸)	28.11.2	50
「北限のユズ」加工関係成果報告会(ブランド化果実等(果樹))	28.11.8	15
胆江地域水稻直播栽培等研修会(中小区画土地利用型)	29.1.24	100
りんごセミナー(ブランド化果実等(果樹))	29.2.21	40
「北限のユズ」現地栽培研修会(ブランド化果実等(果樹))	29.2.21	25
沿岸地域に適した水稻直播等水田農業新技術研修会(中小区画土地利用型)	29.3.13	30
【成果展示等】		
いわてサイエンスシンポジウム(共通)	28.7.18	500
岩手県農業研究センター参観デー(共通)	28.9.3	2,000
北海道東北食品関係公設試成果発表会(ブランド化果実等(果樹))	28.9.7	200
JAいわて花巻農業まつり(共通)	28.10.22-23	20,000
いわてまるごとフェア(中山間施設園芸)	28.12.5-8	4,000
アグリビジネス創出フェア(共通)	28.12.14-16	5,000
大船渡地方農業振興大会(共通)	29.2.7	120
農林水産祭「実りのフェスティバル」における先端プロ(ブランド野菜)成果展示(東京都)	28.11.11-12	47,000

(3) 復興支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
復旧水田での地力改善による水稻安定生産実証	100	200

2 農畜産物の放射性物質に測定に係る活動

業務内容	実施日数	延べ対応者数
本部		
県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画に基づく検査等	200	600
農地土壌の放射性物質モニタリング調査	20	20

X 沿革

X 沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正 2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
- 大正 8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫害部(5部制)を新設。
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和 2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和 5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。
農業試験場畜産部を種畜場と併設。
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。
農業試験場に遠野試験地が国から移管。
農業試験場に農業経営研究部門設置。
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫害・経営・農機具・畜産)。
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壌改良科・病虫害科、経営部:経営科・流通経済科)。
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。
園芸試験場に環境部を設置。
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。
- 昭和48年 蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
- 昭和51年 農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
- 昭和53年 蚕業試験場六原試験地を廃止。
蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
- 昭和56年 園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
- 昭和57年 蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。

平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作物蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。
平成25年	技術部南部園芸研究室(陸前高田市)を再建し、研究員は平成26年1月から陸前高田市で勤務。

<所 在>

岩手県農業研究センター		
本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ http://www2.pref.iwate.jp/~hp2088/ E-mail : CE0008@pref.iwate.jp (本部) E-mail : CE0001@pref.iwate.jp (病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎238-4 TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0173	岩手県岩手郡滝沢村字砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 E-mail : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 E-mail : CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 E-mail : CE0009@pref.iwate.jp

平成 28 年度 岩手県農業研究センター年報

平成 29 年 10 月発行

岩手県農業研究センター

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

